

2020年度

**神戸女学院大学 専任教員
教育・研究業績報告集**

神戸女学院大学
FD センター(学長室)

『2020年度 教育・研究業績報告書』の公表にあたって

『2020年度 教育・研究業績報告書』を公表いたします。公表する項目は、大学基準協会の定めるところに準拠しつつ、本学が2007年度に設定したものです。

この報告書には、本学専任教員の教育、研究、社会活動の記録が集められております。どうか一人ひとりの活動内容をご覧くださり、本学が小さいながらも多様な分野で教育研究活動を行う場として機能していることをご確認くださいようお願い申し上げます。記載されている内容は、原則として教員本人の申告によるものであり、個々の教員の自己評価活動の一端を表しています。このような業績の公開が、社会への情報の発信につながり、本学の教員の教育研究活動のいっそうの向上をもたらすことになれば幸いです。

2021年11月

FDセンター・ディレクター
金田 知子

目 次

文学部	英文学科	教授	Shawn BANASICK	-----	1
			Nathaniel CARNEY	-----	2
			栗 栖 和 孝	-----	3
			松 尾 步	-----	4
			溝 口 薫	-----	6
			白 井 由美子	-----	8
			立 石 浩 一	-----	10
			Yolanda TSUDA	-----	12
			和 氣 節 子	-----	14
			准教授	FUKUSHIMA Marcelo	-----
	古 村 敏 明	-----		18	
	南 出 和 余	-----		20	
	中 村 昌 弘	-----		22	
	奥 村 キャサリン	-----		24	
	Goran VAAGE	-----		26	
	Corey WAKELING	-----		27	
	専任講師	Susan JONES		-----	28
	総合文化学科	教授		古 岡 俊 之	-----
			石 川 康 宏	-----	35
金 田 知 子			-----	37	
川 瀬 雅 也			-----	39	
河 島 真			-----	41	
北 川 将 之			-----	43	
藏 中 さやか			-----	45	
三 杉 圭 子			-----	47	
孟 真 理			-----	49	
中 野 敬 一			-----	50	
清 水 学			-----	52	
建 石 始			-----	53	
横 田 恵 子			-----	55	
與那嶺 司			-----	56	
米 田 眞 澄			-----	58	

		准教授	景山佳代子	-----	59
			桐生裕子	-----	61
			小林隆道	-----	62
			栗山圭子	-----	63
			奥野佐矢子	-----	64
			笹尾佳代	-----	66
			戸江哲理	-----	68
			渡部充	-----	69
		専任講師	大澤香	-----	70
			塚島真実	-----	72
音楽学部	音楽学科	教授	松本薫平	-----	73
			なかにしあかね	-----	75
			佐々由佳里	-----	77
			島崎徹	-----	79
			田中修二	-----	81
			津上智実	-----	83
		准教授	古田昌子	-----	85
			Xavier John LUCK	-----	87
			松浦修	-----	90
			岡田将	-----	93
			辻井淳	-----	95
		専任講師	稲本渡	-----	97
			八木澤教司	-----	99
人間科学部	心理・行動科学科	教授	石谷真一	-----	104
			小林知博	-----	106
			國吉知子	-----	108
			三浦欽也	-----	111
			吉益光一	-----	112
		准教授	木村昌紀	-----	114
			須藤春佳	-----	116
			鶴田英也	-----	118
			若佐美奈子	-----	120
			矢野円郁	-----	122

環境・バイオサイエンス学科	教授	出 口 弘	-----	124
		張 野 宏 也	-----	125
		三 宅 志 穂	-----	127
		中 川 徹 夫	-----	129
		野 寄 玲 児	-----	132
		塩 見 尚 史	-----	133
		高 岡 素 子	-----	135
		寺 嶋 正 明	-----	137
横 田 弘 文	-----	138		
体育研究室	准教授	小 坂 美 保	-----	140
	専任講師	安 田 友 紀	-----	143
共通英語教育研究センター	准教授	Kurtis McDONALD	-----	145
	専任講師	田 岡 千 明	-----	147

凡 例

▷ 掲載対象は2021年4月1日現在の在職教員とした（職名は2020年4月1日現在のものを記載）。ただし、新任教員は除く。

▷ 配列は、学部学科ごとに教授、准教授、専任講師、助教の順序とし、それぞれアルファベット順とした。

▷ 記載事項

氏名、学位、専門分野、研究課題

1. 教育活動

担当授業科目／教育活動上特記すべき事項

2. 研究活動

著書・CD／学术论文／学会発表／演奏会*／作曲・編曲*／その他研究発表、演奏／その他の著作・訳書等／研究助成金の受領状況／産官学連携の受領状況

3. 社会活動

学会役員等／公開講座、市民講座等での講演／公開レッスンでの指導*／コンクール等の審査*／学外機関委員等／その他社会活動上特記すべき事項

4. 海外での活動

注) *原則、音楽学部のみ記載

氏名／所属／職名 Shawn BANASICK / 英文学科 / 教授

学位				
B.A., M.A., Ph.D.				
専門分野				
International Relations				
研究課題				
US-Japan security agreement, regional development, US military bases in Okinawa				
教育活動				
担当授業科目(大学)				
Introduction to Global Studies I, Introduction to Global Studies II, English I, Lecture & Discussion: International Relations, International Relations, Topics in International Relations, Graduation Thesis Seminar I, Graduation Thesis Seminar II				
担当授業科目(大学院)				
Global Geopolitical Analysis, American Studies				
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など
著書・CD				
学術論文				
“A Comparison of Centroid Factor Extraction Methods for Q Methodology”	単	2020.12.20	神戸女学院大学論集第67巻第2号	pp.1-17.
学会発表				
その他の研究発表、演奏				
その他の著作、訳書等				
研究助成金の受給状況				
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別
				支給額
				支給年度
産官学連携の受給状況				
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要	
EQ Configurator v1.0.0 (academic software)			https://github.com/shawnbanasick/eq_configurator	
Easy HtmlQ v2.0.0 (academic software)			https://github.com/shawnbanasick/easy-htmlq	
社会貢献活動				
学会役員				
就任期間		学会役員名		
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
その他社会活動上特記すべき事項				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		

氏名／所属／職名

Nathaniel CARNEY / 英文学科 / 教授

学位						
B.A., M.A., MET, Ph.D.						
専門分野						
Education/Applied Linguistics						
研究課題						
Education/Applied Linguistics						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
クローバーゼミ, English I, English II, English III, English III: Research Presentation & Public Speech, Advanced Writing						
担当授業科目(大学院)						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
A diagnostic perspective on L2 listening comprehension	単	2021.03.21	AAAL 2021			
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
Developing personalized automated vocabulary notebooks for L2 English learners	日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)			代	400千円	2020年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要				
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間			学会役員名			
2020.11-present			Coordinator of JALT Testing and Evaluation Group			
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
学外機関委員等						
就任期間			機関名・委員名・役職名			
その他社会活動上特記すべき事項						
海外での活動						
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること						
期間	国名	概要				

氏名／所属／職名

栗栖 和孝 KURISU Kazutaka / 英文学科 / 教授

学位						
学士(外国文化), 修士(英語学), Ph.D.(言語学)						
専門分野						
理論言語学(音韻論・形態論)						
研究課題						
世界の諸言語の音韻体系						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
Introduction to Linguistics I, Introduction to Linguistics II, Phonology I, Phonology II, Graduation Thesis Seminar I, Graduation Thesis Seminar II						
担当授業科目(大学院)						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
学術論文						
"The nature of subtractive processes in morphology"	単	2020.06.30	The Oxford encyclopedia of morphology (Online). Oxford University Press	doi:10.1093/acrefore/9780199384655.013.596		
学会発表						
"Multiple featural morphophonology as evidence for parallelism"	単	2020.08.28	音韻論フォーラム2020. オンライン (Zoom)			
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要			
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間	学会役員名					
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
学外機関委員等						
就任期間	機関名・委員名・役職名					
その他社会活動上特記すべき事項						
海外での活動						
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること						
期間	国名	概要				

氏名／所属／職名

松尾 歩 MATSUO Ayumi / 英文学科 / 教授

学位						
文学士, M.A., Ph.D.						
専門分野						
言語学						
研究課題						
第1言語習得						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
SyntaxI, Psycholinguistics, Graduation Thesis Seminar I, Graduation Thesis Seminar II						
担当授業科目(大学院)						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
学術論文						
“What Do Japanese Learners of English Know About ‘Partial Rules’; Exploring Paradigmatic Gaps in English Wh Questions.”	共	2020年度	In Proceedings of the 19th Annual Hawaii International Conference on Education	共著/N.Duffield.		
学会発表						
“Is the Noun Bias the Default to Children with Down Syndrome?”	共	2020.06.21	Symposium on Research in Child Language Disorders	共同発表/L.Naigles.		
“Does the noun bias develop?”	共	2020.07.21	International Association for the Study of Child Language	共同発表/L.Naigles,小椋たみ子。		
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
言語発達遅滞児の名詞と動詞の構築プロセスについて	日本学術振興会研究費補助金基盤研究(C)			代	800千円	2020年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要			
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間			学会役員名			
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
学外機関委員等						
就任期間			機関名・委員名・役職名			
その他社会活動上特記すべき事項						

海外での活動		
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること		
期間	国名	概要

氏名／所属／職名

溝口 薫 MIZOGUCHI Kaoru/ 英文学科 / 教授

学位						
文学士, 文学修士						
専門分野						
英文学						
研究課題						
イギリス小説, ディケンズ, 都市, アイデンティティと共生						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
クローバーゼミ, Victorian Literature and Culture, British Literature and History, Special Lecture in Literary Studies, The Novel, Graduation Thesis Seminar I, Graduation Thesis Seminar II						
担当授業科目(大学院)						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
『『ドクター・マリゴールドの処方箋』—ディケンズにおける感情と倫理』	単	2020.10.03	ディケンズ・フェロウシップ 日本支部2020年度秋季 総会—ディケンズ没後150 年記念大会	本短編小説の歴史的背景には、当時の英国において起こった口話中心の聾啞教育改革運動があり、作品はそれに対する作家なりの批判である可能性を指摘した。特に物語において手話を介して深い共感的関係を構築する聾啞者と健常者の内面をアフェクト研究の手法を用いて分析し、当該の問題をめぐる作家の倫理的姿勢に言及した。		
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要			
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間		学会役員名				
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
学外機関委員等						
就任期間		機関名・委員名・役職名				
2020.04-2021.03		日本英文学会関西支部編集委員				
2020.04-2021.03		神戸女学院中学部・高等学部学校関係者評価委員				
2020.04-2021.03		神戸女学院教育振興会委員				

その他社会活動上特記すべき事項		
海外での活動		
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること		
期間	国名	概要

氏名／所属／職名 白井 由美子 SHIRAI Yumiko / 英文学科 / 教授

学位																																		
文学士, P.G.Diploma, M.A.																																		
専門分野																																		
英語教育																																		
研究課題																																		
英語科教授法, 早期英語教育, 誤答分析																																		
教育活動																																		
担当授業科目(大学)																																		
クローバーゼミ, 初期神戸女学院, English Proficiency IA, English Proficiency II, 英語科教育法 I, 英語科教育法 II, 英語科教育法 III, 英語科教育法 IV, 教職実践演習(中・高), 教育実習 I, Graduation Thesis Seminar I, Graduation Thesis Seminar II																																		
担当授業科目(大学院)																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>その他教育活動上特記すべき事項</th> <th>年月</th> <th>対象者</th> <th colspan="2">概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教育実習事前指導・反省会</td> <td>2020.07.31 2020.12.24</td> <td>英文学科教育実習生</td> <td colspan="2">2019年度に教育実習に行く英文学科の学生を対象に、事前指導を行い、教育実習に対する姿勢、心構えを改めて指導した。また、実習後の反省会も行い、今後教職についた時の意識を高める機会とした。</td> </tr> <tr> <td>西宮市立山口小学校、西宮浜小学校における英語活動授業参観</td> <td>2020.11.20 2021.03.10</td> <td>英文学科4年次教職課程履修学生</td> <td colspan="2">西宮浜義務教育学校では本年4年次学生による1年生及び2年生対象の英語活動の授業を、そして山口小学校では2年生対象の授業を参観し、その後、その日の活動の分析を行った。</td> </tr> <tr> <td>英語科教育法における模擬授業のための指導</td> <td>2020年度後期</td> <td>英語科教育法履修中の3年次学生及び科目等履修生</td> <td colspan="2">中学、高校用の模擬授業のためのレクシンプランを各自に作成させる前にはコンサルテーションを、そして作成後は、それぞれのレクシンプランを最低2回ずつチェックし、よりよいレクシンプランを作成するために授業時間外に個別指導を行った。また、模擬授業後も個人面談を行い、授業方法の向上について話し合った。いずれもZoomを用いて行った。</td> </tr> <tr> <td>教員志望学生へのケア</td> <td>2020年度</td> <td>英文学科学生</td> <td colspan="2">教員志望の学生に対して、教職課程について、教員採用試験について、講師登録の仕方、私学の制度について等を指導した。(2020年度4年次学生及び科目等履修生については、2021年4月より2名が大阪市、岡山県高梁市の常勤講師として赴任している。)</td> </tr> <tr> <td>卒業論文作成に関するケア</td> <td>2020年度</td> <td>英文学科学生</td> <td colspan="2">卒業論文がはかどらない学生に対して重点的に個別の指導を行った。(Zoomを使用して行った。)</td> </tr> </tbody> </table>					その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要		教育実習事前指導・反省会	2020.07.31 2020.12.24	英文学科教育実習生	2019年度に教育実習に行く英文学科の学生を対象に、事前指導を行い、教育実習に対する姿勢、心構えを改めて指導した。また、実習後の反省会も行い、今後教職についた時の意識を高める機会とした。		西宮市立山口小学校、西宮浜小学校における英語活動授業参観	2020.11.20 2021.03.10	英文学科4年次教職課程履修学生	西宮浜義務教育学校では本年4年次学生による1年生及び2年生対象の英語活動の授業を、そして山口小学校では2年生対象の授業を参観し、その後、その日の活動の分析を行った。		英語科教育法における模擬授業のための指導	2020年度後期	英語科教育法履修中の3年次学生及び科目等履修生	中学、高校用の模擬授業のためのレクシンプランを各自に作成させる前にはコンサルテーションを、そして作成後は、それぞれのレクシンプランを最低2回ずつチェックし、よりよいレクシンプランを作成するために授業時間外に個別指導を行った。また、模擬授業後も個人面談を行い、授業方法の向上について話し合った。いずれもZoomを用いて行った。		教員志望学生へのケア	2020年度	英文学科学生	教員志望の学生に対して、教職課程について、教員採用試験について、講師登録の仕方、私学の制度について等を指導した。(2020年度4年次学生及び科目等履修生については、2021年4月より2名が大阪市、岡山県高梁市の常勤講師として赴任している。)		卒業論文作成に関するケア	2020年度	英文学科学生	卒業論文がはかどらない学生に対して重点的に個別の指導を行った。(Zoomを使用して行った。)	
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要																															
教育実習事前指導・反省会	2020.07.31 2020.12.24	英文学科教育実習生	2019年度に教育実習に行く英文学科の学生を対象に、事前指導を行い、教育実習に対する姿勢、心構えを改めて指導した。また、実習後の反省会も行い、今後教職についた時の意識を高める機会とした。																															
西宮市立山口小学校、西宮浜小学校における英語活動授業参観	2020.11.20 2021.03.10	英文学科4年次教職課程履修学生	西宮浜義務教育学校では本年4年次学生による1年生及び2年生対象の英語活動の授業を、そして山口小学校では2年生対象の授業を参観し、その後、その日の活動の分析を行った。																															
英語科教育法における模擬授業のための指導	2020年度後期	英語科教育法履修中の3年次学生及び科目等履修生	中学、高校用の模擬授業のためのレクシンプランを各自に作成させる前にはコンサルテーションを、そして作成後は、それぞれのレクシンプランを最低2回ずつチェックし、よりよいレクシンプランを作成するために授業時間外に個別指導を行った。また、模擬授業後も個人面談を行い、授業方法の向上について話し合った。いずれもZoomを用いて行った。																															
教員志望学生へのケア	2020年度	英文学科学生	教員志望の学生に対して、教職課程について、教員採用試験について、講師登録の仕方、私学の制度について等を指導した。(2020年度4年次学生及び科目等履修生については、2021年4月より2名が大阪市、岡山県高梁市の常勤講師として赴任している。)																															
卒業論文作成に関するケア	2020年度	英文学科学生	卒業論文がはかどらない学生に対して重点的に個別の指導を行った。(Zoomを使用して行った。)																															
研究活動																																		
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など																														
著書・CD																																		
学術論文																																		
「神戸女学院の当時の教育活動～1932年から1937年のデフォレスト書簡より～」	単	2021.01	『C. B. デフォレスト書簡の解説(VI) (1932-1937) アメリカン・ボード宣教師文書より』	単著。pp.15-25。																														
学会発表																																		
その他の研究発表、演奏																																		

その他の著作、訳書等					
大人向け本の紹介	単	2021.01	『本がすき』1月号、宝塚市立西山小学校	B4版	
高学年向け本の紹介	単	2021.03	『本がすき』3月号、宝塚市立西山小学校	B4版	
研究助成金の受給状況					
研究タイトル	助成金タイトル、支給元		代分の別	支給額	支給年度
宣教師文書の解説と解明 ～1930年代半ばのデフォレスト文書を中心に～	神戸女学院大学研究所 総合研究助成		分	1,491千円 (総額)	2020年度
産官学連携の受給状況					
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要			
社会貢献活動					
学会役員					
就任期間	学会役員名				
2020.04-2021.03	大学英語教育学会(JACET) 研究企画委員				
公開講座					
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要	
学外機関委員等					
就任期間	機関名・委員名・役職名				
1997.04-現在	日本英語検定協会英語検定試験面接委員				
2013.05-現在	アカデミック英語能力判定試験(TEAP)連絡協議会参加大学委員				
2017.04-現在	社会福祉法人ソフィア福祉会 バラホーム保育所評議員				
その他社会活動上特記すべき事項					
2010.07-現在 西宮市立山口小学校、西宮浜小学校での英語活動ボランティア					
西宮市立山口小学校、西宮浜小学校で教職課程4年次学生が英語活動ボランティアとして活動を行っている。毎年事前指導、同行指導を行っているが、そのかいあって学生が大変良い活動を行い、校長先生や先生方、また、保護者からも高い評価を得ている。活動を体験した児童も「また英語を習いたい」と活動の継続を希望していると聞いている。実際に、外国からの学校への客人に対しても抵抗なく話しかける児童の様子が見られる等、英語活動の効果が随所に見られるとのこと。来年度も今年度に引き続き活動をさせて頂くことがすでに決まっている。					
活動を通して、学生は意識を高め、そこで多くのことを学んでいる。実際に卒業後、この活動に携わった学生の多くが教職の道に進んでいる。この社会活動は地域貢献、社会貢献につながっている。					
2016.04-現在 宝塚市学校応援団・図書ボランティア					
海外での活動					
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること					
期間	国名	概要			

氏名／所属／職名

立石 浩一 TATEISHI Koichi / 英文学科 / 教授

学位						
教養学士, 教育学修士, Ph.D.						
専門分野						
言語学						
研究課題						
言語理論の哲学的評価, 英語学習者の音声知覚・発話, 文法部門のインターフェース						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
Introduction to Linguistics I, Introduction to Linguistics II, Phonetics, Advanced English Grammar, Semantics II, Syntax II, Graduation Thesis Seminar I, Graduation Thesis Seminar II						
担当授業科目(大学院)						
意味論・語用論演習						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
授業の遠隔化に伴う大学方針の立案		2020年度全般	本学学生、教職員	コロナ禍の影響による授業提供の形態についての立案、発信		
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
学術論文						
“Prominence Is Not Cued Only Acoustically.” (査読あり)	共	2020.05.15	Proceeding of the 10th International Conference on Speech Prosody 2020. <DOI: 10.21437/SpeechProsody.2020-24>	共著/Shinobu Mizuguchi, Koichi Tateishi. pp.116-120。		
学会発表						
“Prominence Is Not Only Cued Acoustically.”	共	2020.05.25 -08.31	Speech Prosody 2020 (The 10th International Conference on Speech Prosody) (オンライン: https://sp2020.jp.org)	共同発表/Shinobu Mizuguchi, Koichi Tateishi。		
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要			
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間			学会役員名			
2013.04.01-現在			日本折紙学会評議員			
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
学外機関委員等						
就任期間			機関名・委員名・役職名			

その他社会活動上特記すべき事項		
海外での活動		
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること		
期間	国名	概要

氏名／所属／職名

Yolanda TSUDA / 英文学科 / 教授

学位						
B.A., M.A., A.M						
専門分野						
移民学, 女性学, リーダシップ						
研究課題						
Gender, Migration, Leadership						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
Introduction to Global Studies I, Introduction to Global Studies II, Leadership and Career Design, Global Social Issues, Lecture & Discussion: Global Social Issues, Special Lecture in Global Studies A, Topics in Global Social Issues, Graduation Thesis Seminar I, Graduation Thesis Seminar II						
担当授業科目(大学院)						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
その他の研究発表、演奏						
Japan Association for Migration Policy Studies	共	2020.05.23	online	Current Migratory Issues during the Pandemic: Panel Introduction		
Japan Association for Migration Policy Studies	共	2020.12.12	online	COVID-19 and On-going International Migration Crisis in Japan		
その他の著作、訳書等						
<i>Translations of Judicial Cases</i>	代	2020.01 - 2021.03.30	District and Family Courts, Bar Associations, Police			
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要			
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間		学会役員名				
2020.04-2021.03		Member of the Board, Japan Association for Migration Policy Studies				
2020.04-2021.03		Chair, International Relations Committee, Japan Association for Migration Policy Studies				
2020.04-2021.03□		Associate in Research, Reischauer Institute for Japanese Studies, Harvard University				
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
“On East Meets West: A Cross-Cultural Journey Confirmation”	共	2020.12.04	Online (US, Japan, Australia, Philippines, etc).	US-Japan Council (US) and the Nissei Veterans Memorial Center (Hawaii)		
“Women and Leadership” Lecture Series -1	共	2020.06.18	Online (Japan, US, UK)			
Virtual Café	共	2020.07.23	Online (Japan, Australia, Poland, EU)			
“Women and Leadership” Lecture Series -2	共	2020.12.04	Online (Japan, UK)			

“Women and Leadership” Lecture Series -3	共	2020.12.17	Online (Japan, US, UK)	
“Women and Leadership” Lecture Series -4	共	2020.12.24	Online (Japan, US, UK)	
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
その他社会活動上特記すべき事項				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		
2020.04.20	US (Online)	64th UN Women /CSW_NGO		
2020.07.01- 02	Luxembourg (Online)	17th IMISCOE Conference		
2020.09.16	US (Online)	Global Summit of Women Virtual Conference		
2020.09.24	US (Online)	Harvard Law School, “Honoring and Remembering Justice Ruth Bader Ginsburg”		
2020.10.08	US	Global Summit of Women		
2020.10.15-16	Geneva (Online)	International Dialogue on Migration 2020		
2020.12.08	Nikkei Symposium (Online)	The Changing Face of Aid and Development in the Post-COVID World□		
2021.02.21	Boston (Online)	Harvard U., “Edo Avante Garde”		
2021.03.15-25	US (Online)	65th Session, United Nations Commission on the Status of Women		
2021.03.18-19	Pennsylvania, US (Online)	Symposium : In her own Right Activist Women, 1820-1920		
2021.03.21	United Nations University (Online)	Discussion on My Water, Our Water		
2021.03.21	Stockholm (Online)	World Trade Organization: “WTO AID-FOR-TRADE STOCKTAKING”		
2021.03.24	New York (Online)	UN Women General Assembly for CSW-NGO		
2021.03.24	New York (Online)	65th UN Women General Assembly for CSW-NGO		

氏名／所属／職名 和氣 節子 WAKE Setsuko / 英文学科 / 教授

学位				
文学士, 文学修士, 博士(文学)				
専門分野				
イギリスロマン派文学・思想				
研究課題				
S.T.Coleridgeにみられるプラトニズム, 比較思想(ドイツ観念論や密教とイギリスロマン主義の接点), 英文学と聖書, 環境文学				
教育活動				
担当授業科目(大学)				
クローバーゼミ, Literature as Art of Living, Romantic Literature and Culture, Graduation Thesis Seminar I, Graduation Thesis Seminar II				
担当授業科目(大学院)				
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要
文学部講演会主催学生のメンターとしての支援		2020.09-12	主催者学生 英文4年(2名)、総文4年(2名)	12月12日文学部Zoom講演会「未来への原点」村尾信尚氏、内田樹氏 に向けての学生準備会への参加、アドバイス
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など
著書・CD				
学術論文				
学会発表				
その他の研究発表、演奏				
その他の著作、訳書等				
書評: ダニエル・デフォー(武田将明訳)『ペストの記憶』	単	2021.03	『イギリス哲学研究』44号	pp.53-56。
研究助成金の受給状況				
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別
				支給額
				支給年度
産官学連携の受給状況				
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要		
社会貢献活動				
学会役員				
就任期間	学会役員名			
2020.04-2021.03	関西コールリッジ研究会編集委員			
2020.04-2021.03	日本英文学会関西支部評議員			
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要
学外機関委員等				
就任期間	機関名・委員名・役職名			
その他社会活動上特記すべき事項				

海外での活動		
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること		
期間	国名	概要
2021.02	イギリス	Cambridge Clare Hall と本学大学院との提携更新のためのやりとり(国内で作業)
2021.03	アメリカ	2020年度KCC-JEE Graduate Fellow に関するKCCとのやりとり (国内で作業)

氏名／所属／職名

FUKUSHIMA Marcelo / 英文学科 / 准教授

学位						
学士(経済学), 修士(経済学), 博士(経済学)						
専門分野						
International Economics, Global Business						
研究課題						
International Trade and Migration, International Trade and ICT						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
クローバーゼミ, Introduction to Global Studies I, Introduction to Global Studies II, Workshop in International Studies, Lecture & Discussion: Global Business, Global Business, Field Study A, Topics in Global Business, Graduation Thesis Seminar I, Graduation Thesis Seminar II						
担当授業科目(大学院)						
Global Business and Entrepreneurship						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
Preparation for online teaching		April, 2020-Jan, 2021	Students	Video lectures, online materials		
Online Student Advisory		April, 2020-Jan, 2021	Students	Individualized online advisory for students		
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
学術論文						
“The Welfare Competition Effects of Public Investment in Tourism Infrastructure and Tourism Resources”	単	2020.12.20	Kobe College Studies	pp.19-32.		
学会発表						
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
グローバル時代におけるファッションの「エティカル性」構築—バングラデシュにおける輸出型アパレル産業の変化を通して—	神戸女学院大学研究所 総合研究助成			分	1,500千円	2020年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要			
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間		学会役員名				
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
学外機関委員等						
就任期間		機関名・委員名・役職名				
その他社会活動上特記すべき事項						

海外での活動		
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること		
期間	国名	概要

氏名／所属／職名 古村 敏明 KOMURA Toshiaki / 英文学科 / 准教授

学位																																																																										
B.A., M.F.A., M.A., Ph.D.																																																																										
専門分野																																																																										
Modern and Contemporary Poetry (American and British), American Literature, Elegy Studies																																																																										
研究課題																																																																										
Modern Elegy, Literary Translation, Empathy Studies																																																																										
教育活動																																																																										
担当授業科目(大学)																																																																										
Workshop in International Studies, Introduction to Literature I, Introduction to Literature II, Modern Literature and Culture, Contemporary Literature and Culture, American Literature and History, Poetry and Poetics, Comparative Literature, Graduation Thesis Seminar I, Graduation Thesis Seminar II																																																																										
担当授業科目(大学院)																																																																										
Thesis Writing																																																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>その他教育活動上特記すべき事項</th> <th>年月</th> <th>対象者</th> <th colspan="2">概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>独自教材の電子配布</td> <td>2020.04-2021.03</td> <td>学部受講生</td> <td colspan="2">独自教材(パワーポイントなど)をオンラインストレージを使用し、どこからでもアクセスできるようにし、学習促進をする。</td> </tr> <tr> <td>プロセス型のライティング指導</td> <td>2020.04-2021.03</td> <td>学部・大学院受講生</td> <td colspan="2">アカデミックライティングなどのライティング指導において、完成したエッセイだけの評価ではなく、書く過程(プロセス)に重点を置いたメソッドを用いる。</td> </tr> <tr> <td>Diversity / Inclusion を意識した教材選択</td> <td>2020.04-2021.03</td> <td>学部・大学院受講生</td> <td colspan="2">学生のダイバーシティに対する意識を高めるため、多様性の理解・包摂を目標とし、教材選択に国際性・多様性を反映させる。</td> </tr> <tr> <td>大学院教育における模擬講義指導</td> <td>2020.04-2021.03</td> <td>大学院受講生</td> <td colspan="2">大学院生は将来教育者になる可能性が高いので、その準備の一環として模擬講義を体験させ、フィードバックを与える。</td> </tr> <tr> <td>アクティブラーニング手法の実施</td> <td>2020.04-2021.03</td> <td>学部・大学院受講生</td> <td colspan="2">様々なアクティブラーニング手法を用いて授業を行う。</td> </tr> </tbody> </table>					その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要		独自教材の電子配布	2020.04-2021.03	学部受講生	独自教材(パワーポイントなど)をオンラインストレージを使用し、どこからでもアクセスできるようにし、学習促進をする。		プロセス型のライティング指導	2020.04-2021.03	学部・大学院受講生	アカデミックライティングなどのライティング指導において、完成したエッセイだけの評価ではなく、書く過程(プロセス)に重点を置いたメソッドを用いる。		Diversity / Inclusion を意識した教材選択	2020.04-2021.03	学部・大学院受講生	学生のダイバーシティに対する意識を高めるため、多様性の理解・包摂を目標とし、教材選択に国際性・多様性を反映させる。		大学院教育における模擬講義指導	2020.04-2021.03	大学院受講生	大学院生は将来教育者になる可能性が高いので、その準備の一環として模擬講義を体験させ、フィードバックを与える。		アクティブラーニング手法の実施	2020.04-2021.03	学部・大学院受講生	様々なアクティブラーニング手法を用いて授業を行う。																																									
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要																																																																							
独自教材の電子配布	2020.04-2021.03	学部受講生	独自教材(パワーポイントなど)をオンラインストレージを使用し、どこからでもアクセスできるようにし、学習促進をする。																																																																							
プロセス型のライティング指導	2020.04-2021.03	学部・大学院受講生	アカデミックライティングなどのライティング指導において、完成したエッセイだけの評価ではなく、書く過程(プロセス)に重点を置いたメソッドを用いる。																																																																							
Diversity / Inclusion を意識した教材選択	2020.04-2021.03	学部・大学院受講生	学生のダイバーシティに対する意識を高めるため、多様性の理解・包摂を目標とし、教材選択に国際性・多様性を反映させる。																																																																							
大学院教育における模擬講義指導	2020.04-2021.03	大学院受講生	大学院生は将来教育者になる可能性が高いので、その準備の一環として模擬講義を体験させ、フィードバックを与える。																																																																							
アクティブラーニング手法の実施	2020.04-2021.03	学部・大学院受講生	様々なアクティブラーニング手法を用いて授業を行う。																																																																							
研究活動																																																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称</th> <th>単共の別</th> <th>発行又は発表の年月</th> <th>発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称</th> <th>共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="5">著書・CD</td> </tr> <tr> <td><i>Lost Loss in American Elegiac Poetry: Tracing Inaccessible Grief from Stevens to Post-9/11</i></td> <td>単</td> <td>2020.10.07</td> <td>Lexington Books, Rowman and Littlefield</td> <td>全246頁。</td> </tr> <tr> <td colspan="5">学術論文</td> </tr> <tr> <td colspan="5">学会発表</td> </tr> <tr> <td>Post-9/11 Elegiac Poetry: from Poetic First-Responders to the Ethicists of Prolonged Mourning</td> <td>単</td> <td>2021.03.10-14</td> <td>Notheast Modern Language Association, 52nd Annual Meeting, University at Buffalo</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Learning with Cats: What Cats Do and Don't Teach Us about Dying and Grieving</td> <td>単</td> <td>2021.03.10-14</td> <td>Notheast Modern Language Association, 52nd Annual Meeting, University at Buffalo</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="5">その他の研究発表、演奏</td> </tr> <tr> <td colspan="5">その他の著作、訳書等</td> </tr> <tr> <td>"Gardening"</td> <td>単</td> <td>2020.04.01</td> <td>The Cimarron Review, Vol. 210, Oklahoma State University at Stillwater</td> <td>pp.12-13(詩)</td> </tr> <tr> <td colspan="5">研究助成金の受給状況</td> </tr> <tr> <td colspan="5"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>研究タイトル</th> <th>助成金タイトル、支給元</th> <th>代分の別</th> <th>支給額</th> <th>支給年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現代アメリカ詩におけるエレジーの変化について</td> <td>日本学術振興会研究費補助金基盤研究(C)</td> <td>代</td> <td>0千円</td> <td>2020年度</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> </tbody></table>					著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など	著書・CD					<i>Lost Loss in American Elegiac Poetry: Tracing Inaccessible Grief from Stevens to Post-9/11</i>	単	2020.10.07	Lexington Books, Rowman and Littlefield	全246頁。	学術論文					学会発表					Post-9/11 Elegiac Poetry: from Poetic First-Responders to the Ethicists of Prolonged Mourning	単	2021.03.10-14	Notheast Modern Language Association, 52nd Annual Meeting, University at Buffalo		Learning with Cats: What Cats Do and Don't Teach Us about Dying and Grieving	単	2021.03.10-14	Notheast Modern Language Association, 52nd Annual Meeting, University at Buffalo		その他の研究発表、演奏					その他の著作、訳書等					"Gardening"	単	2020.04.01	The Cimarron Review, Vol. 210, Oklahoma State University at Stillwater	pp.12-13(詩)	研究助成金の受給状況					<table border="1"> <thead> <tr> <th>研究タイトル</th> <th>助成金タイトル、支給元</th> <th>代分の別</th> <th>支給額</th> <th>支給年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現代アメリカ詩におけるエレジーの変化について</td> <td>日本学術振興会研究費補助金基盤研究(C)</td> <td>代</td> <td>0千円</td> <td>2020年度</td> </tr> </tbody> </table>					研究タイトル	助成金タイトル、支給元	代分の別	支給額	支給年度	現代アメリカ詩におけるエレジーの変化について	日本学術振興会研究費補助金基盤研究(C)	代	0千円	2020年度
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など																																																																						
著書・CD																																																																										
<i>Lost Loss in American Elegiac Poetry: Tracing Inaccessible Grief from Stevens to Post-9/11</i>	単	2020.10.07	Lexington Books, Rowman and Littlefield	全246頁。																																																																						
学術論文																																																																										
学会発表																																																																										
Post-9/11 Elegiac Poetry: from Poetic First-Responders to the Ethicists of Prolonged Mourning	単	2021.03.10-14	Notheast Modern Language Association, 52nd Annual Meeting, University at Buffalo																																																																							
Learning with Cats: What Cats Do and Don't Teach Us about Dying and Grieving	単	2021.03.10-14	Notheast Modern Language Association, 52nd Annual Meeting, University at Buffalo																																																																							
その他の研究発表、演奏																																																																										
その他の著作、訳書等																																																																										
"Gardening"	単	2020.04.01	The Cimarron Review, Vol. 210, Oklahoma State University at Stillwater	pp.12-13(詩)																																																																						
研究助成金の受給状況																																																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>研究タイトル</th> <th>助成金タイトル、支給元</th> <th>代分の別</th> <th>支給額</th> <th>支給年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現代アメリカ詩におけるエレジーの変化について</td> <td>日本学術振興会研究費補助金基盤研究(C)</td> <td>代</td> <td>0千円</td> <td>2020年度</td> </tr> </tbody> </table>					研究タイトル	助成金タイトル、支給元	代分の別	支給額	支給年度	現代アメリカ詩におけるエレジーの変化について	日本学術振興会研究費補助金基盤研究(C)	代	0千円	2020年度																																																												
研究タイトル	助成金タイトル、支給元	代分の別	支給額	支給年度																																																																						
現代アメリカ詩におけるエレジーの変化について	日本学術振興会研究費補助金基盤研究(C)	代	0千円	2020年度																																																																						

新しい「倫理的共感」の可能性：社会的分断に向き合う現代アメリカ詩		日本学術振興会研究費補助金基盤研究(C)		代	800千円	2020年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要			
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間		学会役員名				
2020.04-2021.03		日本アメリカ文学会関西支部・編集委員				
公開講座						
講座名、講演タイトル		単共の別	年月	場所	概要	
学外機関委員等						
就任期間		機関名・委員名・役職名				
その他社会活動上特記すべき事項						
海外での活動						
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること						
期間	国名	概要				
2020.08.01-09.15	アメリカ	Visiting Scholar at the University of Washington (客員研究員、新型コロナウイルスの影響により遠隔参加のみ)				

氏名／所属／職名 南出 和余 MINAMIDE Kazuyo / 英文学科 / 准教授

学位					
学士(文学), 修士(人間科学), 博士(文学)					
専門分野					
文化人類学, 映像人類学, バングラデシュ地域研究, 子ども研究					
研究課題					
バングラデシュの教育経験と社会変動, 民族誌映画制作					
教育活動					
担当授業科目(大学)					
Introduction to Global Studies I, Introduction to Global Studies II, Workshop in International Studies, Lecture & Discussion: Global Media & Communication, Global Media & Communication, Field Study A, 現代アジア地域研究(IV)(南アジア), Topics in Global Media and Communication, Graduation Thesis Seminar I, Graduation Thesis Seminar II					
担当授業科目(大学院)					
Global Society and Change					
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要	
授業で学生たちが制作した映像作品を肖像権著作権の処理を行なったうえで学科YouTubeサイトで公開し広報に繋げる試みを行った。		2021.02-03	E206-2b/E204-2b E238a E332-2b E497b		
ゼミの卒業論文集を発行し、執筆したゼミ生たちの記録にするとともに次年度以降の後輩たちの動機付け及び参考になるようにした。		2021.03	E497ab他		
研究活動					
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など	
著書・CD					
『インド・むき出しの世界』第2章「子どもの生は誰が守るのかーバングラデシュの共同体の狭間で生きる子どもたち」	共	2021.03.12	春風社	編者/田中雅一、石井美保、山本達也。 pp.61-82。	
学術論文					
「子ども社会をフィールドワークする」	単	2020.06	『子ども社会研究』26号	pp.137-139。	
「人類学者がフィールドに残すもの:バングラデシュ・ゴヒラ村の人々の記憶に生きる原忠彦教授」(査読あり)	共	2020.09.30	日本文化人類学会 『文化人類学』85号2巻	共著/アナム・ムジブル。pp.226-241。	
The temporariness of Bangladeshi migration in Greece' (査読あり)	単	2021.01.28	"Migration Letters"18(1)	pp.61-71。	
書評「直井里予『病縁の映像地域研究ータイ北部のHIV陽性者をめぐる共振のドキュメンタリー』」	単	2021.03.31	『アジア・アフリカ地域研究』20-2号	pp.273-276。	
学会発表					
その他の研究発表、演奏					
その他の著作、訳書等					
「グローバル経済と闘う女性たち」	単	2020.05.01	『月刊みんぱく』5月号、国立民族学博物館	pp.18-19。	
映画解説「竹で稼ぐ男たち」	単	2021.03.05	『第16回大阪アジア映画祭』カタログ	p.69。	
研究助成金の受給状況					
研究タイトル	助成金タイトル、支給元		代分の別	支給額	支給年度
現代バングラデシュの若者のアイデンティティポリティクスからみる社会変動	日本学術振興会科学研究費助成事業国際共同研究加速基金(国際共同研究強化)		代	0千円	2020年度
アジアの在地の協働によるグローバル問題群に挑戦する実践型地域研究	日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(A)		分	100千円	2020年度
産官学連携の受給状況					

その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要		
大同生命地域研究奨励賞受賞(大同生命国際文化基金)	2020.07	「バングラデシュにおける次世代から見た社会変動の研究」		
社会貢献活動				
学会役員				
就任期間		学会役員名		
2019.10-2021.09		日本南アジア学会・理事		
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要
2020年度(第35回)大同生命地域研究奨励賞受賞者ビデオ講演(フォーラム)「バングラデシュにおける次世代から見た社会変動の研究」	単	2021.03	大同生命国際文化基金財団事務局にて撮影、オンライン配信公開 https://youtu.be/uGUIXuFM5a0	主催/大同生命国際文化基金。
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
2010.07-2021.06		学校法人大阪YMCA評議員		
その他社会活動上特記すべき事項				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		

氏名／所属／職名

中村 昌弘 NAKAMURA Masahiro / 英文学科 / 准教授

学位				
学士(法学), 修士(法学)				
専門分野				
神経生物学, 通訳学・通訳教育学				
研究課題				
三叉神経の運動感覚に関する解剖・生理学的研究, 情報デザインとしての通訳, 分析力・理解力・表現力を高める通訳教育				
教育活動				
担当授業科目(大学)				
Interpreting: Theory and Technique I, Interpreting: Theory and Technique II, Interpreting: Theory and Technique III, Translation: Theory and Technique I, Graduation Thesis Seminar I, Graduation Thesis Seminar II				
担当授業科目(大学院)				
翻訳理論・教授法 II, 逐次通訳演習 I, 逐次通訳演習 II, 同時通訳演習 I, 同時通訳演習 II, 通訳実習 I				
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要
『ITP手帖』		作成2020.01 郵送2020.05	受講生	通訳・翻訳プログラムの科目構成・学修内容・カリキュラムツリー・ルーブリック等を収録した『ITP手帖』を製本し受講生全員に郵送で配布した。
『ITP教材集E215a』		作成2020.01 郵送2020.05	受講生	科目で使用する教材・課題等を収録した冊子を作成し受講生に郵送配布した。
『ITP教材集E215b』		作成2020.01 郵送2020.05	受講生	科目で使用する教材・課題等を収録した冊子を作成し受講生に郵送配布した。
『ITP教材集E218a』		作成2020.01 郵送2020.05	受講生	科目で使用する教材・課題等を収録した冊子を作成し受講生に郵送配布した。
『ITP教材集E218b』		作成2020.01 郵送2020.05	受講生	科目で使用する教材・課題等を収録した冊子を作成し受講生に郵送配布した。
『ITP教材集E315a』		作成2020.01 郵送2020.05	受講生	科目で使用する教材・課題等を収録した冊子を作成し受講生に郵送配布した。
『ITP教材集E315b』		作成2020.01 郵送2020.05	受講生	科目で使用する教材・課題等を収録した冊子を作成し受講生に郵送配布した。
『ITP教材集E415a』		作成2020.01 郵送2020.05	受講生	科目で使用する教材・課題等を収録した冊子を作成し受講生に郵送配布した。
『ITP教材集E415b』		作成2020.01 郵送2020.05	受講生	科目で使用する教材・課題等を収録した冊子を作成し受講生に郵送配布した。
授業動画アーカイブ		2020年度前後期	受講生	Zoom同時双方向授業のアーカイブを限定公開(リンクを知っている人のみが視聴できる設定で)YouTubeに残した。欠席者から好評を得た。
英文学科1年生対象Zoomランチ		2020年度前期 金曜日	英文学科1年生	外出自粛による孤独感を軽減すべく、1年生主事のジョーンズ先生とともに前期授業期間中毎週金曜日にZoomでランチ会を行った。
YouTube生配信「ちょっと気になる金曜日」		2020年度前後期	受講生	外出自粛による孤独感を軽減すべく、受講生からのリクエストを受けて、授業用YouTubeチャンネルで生配信を行った。
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など
著書・CD				
学術論文				
学会発表				
その他の研究発表、演奏				
その他の著作、訳書等				

研究助成金の受給状況					
研究タイトル	助成金タイトル、支給元		代分の別	支給額	支給年度
産官学連携の受給状況					
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要			
社会貢献活動					
学会役員					
就任期間	学会役員名				
公開講座					
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要	
コンクール等の審査					
神戸女学院大学主催 絵本翻訳コンクール審査	共	2021.02.22	オンライン	主催/本学。高校生対象。遠隔実施。	
学外機関委員等					
就任期間	機関名・委員名・役職名				
その他社会活動上特記すべき事項					
2021.02.13 本学主催の絵本翻訳コンクール受賞者(高校生)を対象に、Zoomで「受賞者の集い」を開催し、質疑応答・解説等を行った。					
海外での活動					
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること					
期間	国名	概要			

学位						
B.A., M.A.						
専門分野						
異文化教育, 異文化コミュニケーション, 異文化理解能力						
研究課題						
高等教育機関における異文化接点の提供, 内なる国際化						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
クローバーゼミ, Interpreting: Theory and Technique I, Interpreting: Theory and Technique III, Business Interpreting, Graduation Thesis Seminar I, Graduation Thesis Seminar II						
担当授業科目(大学院)						
逐次通訳演習 I, 逐次通訳演習 II, 同時通訳演習 I, 同時通訳演習 II, 通訳実習 I						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
学術論文						
「日本の大学における異文化間交流の機会について」 “An Examination of Intercultural Contact Opportunities at Japanese Universities”	単	2020.06	『神戸女学院大学論集』 第67巻第1号	pp.47-68.		
学会発表						
「日本の大学における異文化交流の機会について—どこに目を向けるべきか—」	単	2020.06.13-14	2020年度異文化間教育学会第40回大会(オンライン開催)	個人発表。		
「留学生と地域社会: 特定技能者の定着に着目して」	単	2020.09.19	留学生教育学会第25回 JAISE年次大会(オンライン開催)	個人発表。		
演奏会・発表会						
“Revisiting Intercultural Education in Japan. On working with foreign residents in sustainable and mutually beneficial initiatives.”	単	2020.06.22	本学(オンライン開催)	英文学科専門部会		
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
“An investigation of criteria for successful settlement of immigrants, based on research of case studies and policy practices in Japan and overseas”	神戸女学院大学研究所 研究助成			代	188千円	2020年度
“An investigation of the situation of the new immigrants (技能実習生、特定技能者) in Japan”	神戸女学院大学研究所 研究助成			代	92千円	2020年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要			
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間		学会役員名				

公開講座				
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要
「ダイバーシティについて考える講座:多文化化する日本ー多文化共生社会の実現に向けてー 外国人の目から見た日本社会」	単	2020.07.06	芦屋市立公民館	少子高齢化が進み労働力が逼迫し、2019年4月の移民法の改定によって在日外国人が増えています。日常生活において外国人との接触機会が多くなり、日本社会が多文化化しつつあります。この状況を踏まえ、異文化間コミュニケーションはどう臨むべきでしょうか？多民族国家で知られているオーストラリアでの経験と最新の研究を参考にしながら本テーマについて講演しました。
「ダイバーシティについて考える講座:多文化化する日本ー多文化共生社会の実現に向けてー 異文化コミュニケーション:認め合う精神」	単	2020.09.28	芦屋市立公民館	第二回目では通訳の実践を含めたセッションとなりました。英語でのコミュニケーションのコツを通訳者目線からお話しました。
「世界はニュースだけでわからない」講座:「オーストラリア:多文化社会の光と影」	単	2021.02.20	芦屋市立公民館	多民族国家として知られているオーストラリアの歴史と社会状況を紹介し、日本社会の多文化化の展開と予想する問題について講演しました。
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
その他社会活動上特記すべき事項				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		

氏名／所属／職名

Goran VAAGE / 英文学科 / 准教授

学位				
B.A.(文化社会学), 修士(言語・文化), Ph.D.(言語・文化)				
専門分野				
社会言語学, 日本語・日本文化, ユーモア, 言語学, 語用論, 日本語教育, 比較文化				
研究課題				
ことばあそびとユーモア, 関西方言とボケとツッコミ, DNA研究と言語・文化の起源, ステイグマとことばに対する姿勢, 人称表現, 異文化コミュニケーション				
教育活動				
担当授業科目(大学)				
Introduction to Linguistics I, Changes and Variations of English, Morphology, Sociolinguistics Theory and Practice I, Sociolinguistics Theory and Practice II, Graduation Thesis Seminar II				
担当授業科目(大学院)				
言語学基礎演習				
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など
著書・CD				
学術論文				
学会発表				
その他の研究発表、演奏				
その他の著作、訳書等				
研究助成金の受給状況				
研究タイトル	助成金タイトル、支給元		代分の別	支給額
産官学連携の受給状況				
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要	
社会貢献活動				
学会役員				
就任期間		学会役員名		
2016.04.01-現在		日本語日本文化教育研究会運営委員		
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
その他社会活動上特記すべき事項				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		

備考: 2020.08-2021.08 海外留学

学位						
B.A., B.A., Ph.D.						
専門分野						
Literature and Theatre Studies						
研究課題						
Poetry and Performance						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
Workshop in International Studies, Introduction to Literature I, Introduction to Literature II, Shakespeare and His Age, British Studies, British Literature and History, Theater Studies, Graduation Thesis Seminar I, Graduation Thesis Seminar II						
担当授業科目(大学院)						
English Drama						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
その他の研究発表、演奏						
2021年後期 英文学科 専門部会 研究発表会	単	2020.11.02	神戸女学院大学	Theatre as a Space of Experiment: Introducing Beckett's Laboratory		
その他の著作、訳書等						
"What I've Been Reading: Corey Wakeling"	代	2021.01.21	Meanjin Quarterly (online)	https://meanjin.com.au/blog-what-im-reading/corey-wakeling/		
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
Antipodal Burrowing: Revisions of Canon Explored in Literatures of the Global South	Kobe College Research Institute			代	299千円	2020年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要			
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間		学会役員名				
2020.04-2021.03		表象文化論学会事 会員				
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
学外機関委員等						
就任期間		機関名・委員名・役職名				
その他社会活動上特記すべき事項						
海外での活動						
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること						
期間	国名	概要				

学位				
B.S.S., M.A.				
専門分野				
Translation				
研究課題				
Children's Literature in Translation, Media Translation, Teaching Translation				
教育活動				
担当授業科目(大学)				
Translation: Theory and Technique I, Translation: Theory and Technique II, Translation Theory and Technique(III), Graduation Thesis Seminar I, Graduation Thesis Seminar II				
担当授業科目(大学院)				
翻訳の理論と実践 I, 通訳実習 I				
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など
著書・CD				
学術論文				
学会発表				
その他の研究発表、演奏				
その他の著作、訳書等				
"Teaching Translation Remotely"	代	2020.09	Translator Perspectives 『翻訳者の目線』2020年	
"Manga Lettering & Translation"	代	2020.11	SWET online publication	
"SCBWI Japan Translation Days 2020 on Zoom"	代	2020.12.20	SCBWI Japan website	
Fortress of Smiles『笑顔の砦』(タニノクロウ作)字幕翻訳	代	2021.03.05	The Japan Foundation国際交流基金	
研究助成金の受給状況				
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別
				支給額
				支給年度
産官学連携の受給状況				
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要	
社会貢献活動				
学会役員				
就任期間	学会役員名			
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要
"Three Teachers of Translation" panelist	共	2020.10.25	Online	SWET Talk Shop online panel discussion
「翻訳の仕事～異文化を日本に伝える」久山葉子との話	共	2021.01.18	Online	Kobe College Department of English online event
"Editing Tourist Signage and Website Texts—the Take-Away With Lynne Riggs, Meg Taylor, and Lisa Wilcut" moderator	共	2021.03.21	Online	SWET Talk Shop online panel discussion

コンクール等の審査				
Kurodahan Press Translation Prize	共	2020.12	Kumamoto	Kurodahan Press
第11回絵本翻訳コンクール	共	2021.02	Nishinomiya	Kobe College
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
その他社会活動上特記すべき事項				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		

学位			
学士(教育学), 修士(教育学), 博士(臨床教育学)			
専門分野			
教育学, 臨床教育学, 社会科教育学			
研究課題			
帰国子女教育・外国人子女教育における社会認識教材の開発			
教育活動			
担当授業科目(大学)			
西宮市大学交流センター科目C, 教師論, 生徒・進路指導論, 教育相談, 総合的な学習の時間・特別活動の指導法 I, 総合的な学習の時間・特別活動の指導法 II, 特別活動の指導法 I, 特別活動の指導法 II, 教職実践演習(中・高), 教育実習 I			
担当授業科目(大学院)			
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要
教育方法開発・工夫等の実践例			
「教育方法の工夫」(オンライン講義)	2020.04.09-	神戸女学院大学学生	オンラインでの講義に伴い講義の受け方のビデオ作成による指導の徹底(授業のノートだけではなく課題やホームワークも含めて自分独自のノートテキストを作成。授業において定期的に確認し指導した)。毎回資料を作りmoodleを通して配布した。配布資料やホームワークをもとに、zoomを使ってグループワークや演習も取り入れた。
「神戸女学院大学教職課程人権教育特別講座」(オンラインによる講義)	2020.04.18-	神戸女学院大学学生	学校生活や社会において様々な問題が起こっているが、必ずしも正解があるわけではない。本講義では、正解のない人権問題に対してどのように考えればよいのかを様々な問題(学力の定着、障害者、ジェンダー、子ども、外国人、同和問題など)を提起して、教育実習を前に、学校現場で大きな課題となっているよりよい人生や社会を目指しての考える力を育めるようにした。
教材開発・工夫等の実践例			
「神戸女学院大学講義ビデオ(オンライン講義の受け方)」	2020.04.01	中高科目免許取得希望者	講義の受け方、課題探究の進め方、レポート作成の方法と提出等、スライドと動画を織り交ぜてビデオを作成し、学生が不安なく学修に取り組み理解が進むように工夫した。
「神戸女学院大学講義ビデオ(教師論)」	2020.04.06-	中高科目免許取得希望者	教職は身近に接してきた職業であるため、教職課程科目の履修を始めるにあたって、改めてその位置づけを、講義を通して行った。まず教育法規に基づく制度上の位置づけについて理解を図った。次に自らの経験や体験、調査したことをもとにした発表、討議で教師の専門職性について学び取らせるようにした。重要な箇所を太字にし、図版を盛り込むなど、学生の理解が進むように工夫した。
「神戸女学院大学講義ビデオ(教育相談論)」(オンライン)	2020.04.06-	中高科目免許取得希望者	教員にとって必須である教育相談の知識(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む)を身に付けるために、基礎的な心理学的知見と、それらを教育の現場でどのように応用するかを学ばせた。主に教育相談の対象となる多様な問題について、心理学的な視点による理解の仕方について学習させるために、講義事例集を作成した。これを使って具体的な対応の進め方を理解し、受容・傾聴・共感的理解等のカウンセリング・スキルを定着をさせるように工夫した。

「神戸女学院大学講義ビデオ(特別活動の指導法 I・II、総合的な学習の時間・特別活動指導法 I・II)」(オンライン)	2020.04.06-	中高科目免許取得希望者	「特別活動」「総合的な学習の時間」の指導は、人間形成上重要な教育活動として、学校の教育課程のなかで大きな意味と役割を果たすものである。「特別活動」「総合的な学習の時間」の役割や目標・内容・指導計画等について学習し、変化の激しい社会を生き抜く生きる力の育成のために「特別活動」「総合的な学習の時間」の教育的意義を具体的に理解・把握させるのに必要な事例を取り上げ、実践的指導力を身につけることができるように工夫した。
「西宮市大学交流センター共通単位講座講義テキスト(フィールドワークに学ぼう)」(オンライン)	2020.04.06-	西宮市大学交流センター共通単位講座の受講を希望する者(前期)	北海道、富山県、長野県、新潟県、島根県、群馬県、愛媛県、大分県、長崎県、鹿児島県、そして沖縄県等の美しい景観や名産品、歴史を紹介。そこに住む人たちとの出会いから、その土地の風土、人の知恵、息づかいを感じ取る。実践フィールドワーク資料15回分を作成し、講義で活用した。
「神戸女学院大学講義テキスト(2021年度採用教員採用選考試験受験対策特別講義用)」(オンライン)	2020.04.06-	2021年度採用 教員採用選考試験受験予定者	「日本史」「世界史」「地理」「政治・経済」の一般教養科目、並びに「教育心理」「教育原理(含:生徒指導・特別支援教育)」「教育法規」「面接」「場面指導」「論文」「模擬授業対策」等の教職教養関係科目資料を作成し、講義で活用した。
「武庫川女子大学講義ビデオ及びテキスト(道徳教育指導論)＜夏季集中講義用＞(オンライン・対面授業併用)	2020.07.20	中高科目免許取得希望者(武庫川女子大学)	『特別の教科 道徳』が新設され、学校現場においては子どもたちを取り巻く心の教育の問題の本質をとらえ、自らの力で新たな道徳的な実践を構想する力量が必要とされている。その力量を形成するため、教育目標、教材・教具、教授行為・学習形態、教育評価といった教育方法学的な視点から、講義ビデオ及び助資料を作成した。これを活用しグループディスカッション、ワークショップなど取り入れて授業実践力を身につけさせる取り組みをし、一定の成果を収めた。
「神戸女学院大学講義ビデオ(生徒・進路指導論)」(オンライン)	2020.07.20	中高科目免許取得希望者	授業の論点を理解するためのメイン資料として、講義ビデオを作成した。生徒指導の基礎に関する理論、実証データを概説した。事例研究、イメージトレーニングなど取り入れて学生の理解を確かなものとする工夫をした。テキストをもとにしながら、生徒指導について理論的に考察する視点を形成するとともに、それにもとづく生徒指導の今日的課題(いじめ、不登校、非行などへの対応と教育相談、進路指導・キャリア教育のあり方など)を提起し、その指導のあり方を身につけさせる取り組みをし、一定の成果を収めた。
「神戸女学院大学講義テキスト(教職実践演習＜中・高＞)」(オンライン)	2020.08.20	中高科目免許取得希望者	2013年度より、教職課程必修科目になった「教職実践演習」(中高国語、社会、理科、英語、音楽を担当するに当たりその目的を達成するための補助教材として、書き込み式の「教職実践演習ノート」を作成。講義ビデオの内容に沿って授業において活用した。本授業の目的や授業計画とともに、本演習を通しての学びがより一層明確になり、学修効果が高まることを配慮した。教職を志す受講学生の意欲と実践力・表現力を身につけさせる取り組みは一定の成果を収めた。

「西宮市大学交流センター共通単位講座講義テキスト『地域資源と観光』」	2020.08.20	西宮市大学交流センター共通単位講座の受講を希望する者(後期)	都市化が進み歴史的遺産が徐々に壊されていく。そんななか、巷ではテレビドラマ等の影響も加わってか、歴史ブームがわきこり、地方史、郷土史に対する関心が高くなっている。また、人口減に伴う故郷存亡の危機にあって、故郷の歴史への興味関心が益々高まっているようにも思う。そんな気運の中でこの講義では、旧街道、それも脇街道を歩いてみようという地元西国街道を選んだ。通史に登場する著名な人物も通った街道である。尼崎から伊丹、西宮から神戸辺りを探訪のコースに決め、街道に沿って講義資料を作成した。主な内容は「暴れ川武庫川」「髭の渡し」「鳴尾義民碑・百間樋」「今津灯台」「灘五郷・西宮郷・伊丹郷」「西宮砲台」「西宮神社・甕岩神社」「瓦林城・越水城・尼崎城」「浄教寺・昆陽寺・京都宇治放生院」「甲子園球場」等を講義資料として作成し、講義で使用した。その指導に一定の成果を収めた。
「神戸女学院大学講義テキスト(2021年度採用教員採用選考試験受験対策特別講義用)」 (一問一答集『地理』『歴史』『政治・経済』の3種)	2020.10.01	2021年度採用 教員採用選考試験受験予定者(3年生)	「日本史」「世界史」「地理」「政治・経済」の一般教養科目の教職一般教養(社会科学)関係科目資料を作成し、11月から3年生を対象にした講義で活用し、指導上一定の成果を収めた。
「神戸女学院大学講義テキスト(2021年度採用教員採用選考試験受験対策特別講義用)」	2021.01.30	2022年度採用 教員採用選考試験受験予定者(3年生)	教職教養科目『教育法規』、教職一般教養科目『人文科学』『社会科学』『自然科学』の問題演習資料を作成し、3年生の教員採用試験対策講座受講希望者を対象に、春休み自習教材として配布し、主体的な取り組みによる学修の支援をした。指導は現在継続中である。
学生・教員へのケアなど			
「神戸女学院大学における『2021年度採用』教員採用選考試験対策講座開講」	2020.04-2020.10	2021年度採用 教員採用選考試験受験予定者	一般教養科目(「社会科学分野」)、教職教養科目(「教育法規」「教育心理」「教育原理」等)、面接指導、論文指導、模擬授業、場面指導(ロールプレイ)の指導に取り組み一定の成果を収めた。
「神戸女学院大学における教職課程履修生のサポート、教職センターでの学生対応」(教育相談)(オンライン及び対面)	2020.04-2021.02	教職課程履修生、教員採用選考試験受験予定者	「木曜日」オフィスアワー(12:30~13:20)、「金曜日」は教員採用選考試験対策として『教職教養科目(教育法規等)』『一般教養科目(社会科学唐)』に重点を置きサポートを継続。一定の成果を収めた。
「神戸女学院大学教育実習生補充実習受入先確保」	2020.06.17	国語科教員免許取得希望者で教育実習補充を必要とする者	教職センターより、国語科の学生でコロナ感染症の拡大防止に伴い、教育実習期間補充のための受入先確保に困窮している旨の相談を受けた。当該学生の母校で実習困難事態に備えて、直ちに西宮市教育委員会及び西宮市立中学校校長会に打診した。受入先を確保し実習を終えることができた。
「兵庫県教員採用選考試験実施問題資料収集と支援」	2020.06.23	兵庫県教員採用選考試験を受験する者	2020年実施の兵庫県教員採用選考試験受験者の便に資するため、兵庫県阪神南県民局を訪れ、2019年、2020年の二年間分の過去問題(一般・教職教養、専門教科)について現物(複写)を収集し、本学において模擬試験として活用した。問題文の形状、解答の様式、解答時間等を試験当日と同様の環境で実施し、受験対策としての効果的な活用についての研究に一定の成果を収めた。

「神戸女学院大学卒業生の臨時講師採用にかかる調査及び支援」	2020.11.18	教育職員免許法に規定する免許状をもつ公立学校臨時講師を希望する者	2021年度より臨時講師を希望する本学学生の就職先確保のための調査で、西宮市教育委員会教職員課を訪問する。臨時講師の需要のある教科・科目、人員、時期等について状況を把握し、学生の指導に一定の成果を収めた。また、臨時講師採用についての一定の情報提供を依頼した。
「山口小学校教育における神戸女学院大学との連携教育(外国人留学生との交流)に関する調査及び支援」	2020.11.20	神戸女学院大学外国人留学生・西宮市立山口小学校	西宮市学校サポートボランティア事業推進の一環として、山口小学校と神戸女学院大学とが連携した教育のあり方について研究を深めてきた。英文学科学生2名を文学部英文科担当教授と共に山口小学校へ引率・指導し、小学校低学年の「特別活動」において本学との連携を重視した取り組みを行い、一定の成果を収めた。
研究活動			
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称
著書・CD			共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など
『兵庫県における小学校社会科副読本の現状から -Blockdiagramを使った小学校中学年社会科学習の試み-』	単	2020.10.24	「全国社会課教育学会・鳴門社会課教育学会」合同全国研究大会要旨集録
『だあい好き！ 西宮・兵庫 ～さぐろう地域、見つけよう自然～』（問題編・解答編）	単	2021.01.31	富士ゼロックス兵庫株式会社(神戸女学院大学研究所助成研究)
学術論文			
『兵庫県北部但馬地域の小学校校歌の中の山と川について ～環境教育学習材の視点から～』	単	2021.03.11	神戸女学院大学教職センター研究紀要 第4巻
『兵庫県における小学校中学年社会科副読本の現状分析と今後に向けた提案 -Blockdiagramを使った小学校中学年社会科学習の可能性-』	単	2021.03.31	武庫川女子大学 学校教育センター紀要 第6号 2021年
学会発表			
「兵庫県における小学校社会科副読本の現状から -Blockdiagramを使った小学校中学年社会科学習の試み-」	単	2020.10.24 -12.25	第69回全国社会科教育学会・第37回鳴門社会科教育学会
その他の研究発表、演奏			
その他の著作、訳書等			
研究助成金の受給状況			
研究タイトル	助成金タイトル、支給元		代分の別
小学校・中学校社会科における地域学習の改善に関する研究	神戸女学院大学研究所 研究助成		代
			支給額
			支給年度
			300千円 (総額)
			2020年度
産官学連携の受給状況			
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要	
「小学校中学年社会科副読本、中学校社会科副読本の現状に関する調査」(対象:兵庫県内41市郡町)	2020.04.23	小中学校学習指導要領の本格実施期にある今、兵庫県内の子ども達の健やかな成長を願い、小学校中学年社会科、中学校社会科における地域学習教材の作成状況、取り上げ方等について、全41市郡町・政令指定都市において刊行されている副読本の現状に学び、今後の副読本づくりの参考とするための調査を実施し、研究所助成研究紀要としてまとめ発行した。	

「小学校社会科(3年・4年)副読本の活用状況と体験学習に関する調査」(対象:兵庫県内216小学校)	2021.01.31	兵庫県下で、現在使用されている副読本の分析と学校における副読本の利用状況、また学校における副読本に対する教師の意見を克明にとらえ、それを踏まえて小学校中学年社会科副読本の改善の方途を探り、各市郡町における副読本改訂の際の資料を提供する社会貢献の一環として実施した。		
社会貢献活動				
学会役員				
就任期間		学会役員名		
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要
「共通単位講座」 地理学フィールドワークを楽しむ	単	2020.04.13 -07.19	西宮市大学交流センター	内容/フィールドワークを通して、地域を考える。特に、地域振興策を考えていきたい。現地調査の基本を大切に、常に魅力ある地域を創出する努力が必要で、このことは、公務・公務員、またそれ以外、地域密着型企業にとっても重要な事項となる。地域振興の方策について考察を深めた。 主催/西宮市大学交流協議会。
「共通単位講座」 地域資源と観光	単	2020.09.20 - 2021.01.29	西宮市大学交流センター	内容/地域資源には自然・歴史・文化・産業・人工施設などがある。観光資源と地域資源、地域社会との関係を考えて、問題点や課題として何かあるのだろうか。事例研究を通して地域の振興政策にも関わる見識を深めた。 主催/西宮市大学交流協議会。
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
その他社会活動上特記すべき事項				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		

氏名／所属／職名

石川 康宏 ISHIKAWA Yasuhiro / 総合文化学科 / 教授

学位																																																																																																																																																															
経済学士, 経済学修士																																																																																																																																																															
専門分野																																																																																																																																																															
経済理論, 経済政策																																																																																																																																																															
研究課題																																																																																																																																																															
「新自由主義的構造改革」など政府の経済政策, 現代日本経済のジェンダー視角からの検討, 東アジアの経済共同に対する「慰安婦」問題・歴史問題の影響, マルクスの社会・経済思想, 原発・エネルギー問題など																																																																																																																																																															
教育活動																																																																																																																																																															
担当授業科目(大学)																																																																																																																																																															
クローバーゼミ, 人権論, 経済学, 現代社会と経済学, 経済学(国際経済を含む), 比較経済論, 文献ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 卒業論文																																																																																																																																																															
担当授業科目(大学院)																																																																																																																																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>その他教育活動上特記すべき事項</th> <th>年月</th> <th>対象者</th> <th colspan="2">概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>					その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要																																																																																																																																																							
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要																																																																																																																																																												
研究活動																																																																																																																																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称</th> <th>単共の別</th> <th>発行又は発表の年月</th> <th>発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称</th> <th>共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="5">著書・CD</td> </tr> <tr> <td>『いまこそ野党連合政権を』</td> <td>共</td> <td>2020.04.24</td> <td>日本機関紙出版センター</td> <td>共著/富田宏治、上脇博之。pp.101-137。</td> </tr> <tr> <td>『ゆたかさ』</td> <td>共</td> <td>2020.08.20</td> <td>世界思想社</td> <td>神戸女学院大学総合文化学科監修。pp.3-34。</td> </tr> <tr> <td colspan="5">学術論文</td> </tr> <tr> <td>「不可欠にして稀有な第二バイオリン・エンゲルス」</td> <td>単</td> <td>2020.05.01</td> <td>『経済』2020年5月号</td> <td>pp.45-61。</td> </tr> <tr> <td>「資本主義の限界と変革を考える」</td> <td>単</td> <td>2021.01.01</td> <td>『経済』2021年1月号</td> <td>pp.28-42。</td> </tr> <tr> <td colspan="5">学会発表</td> </tr> <tr> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td colspan="5">その他の研究発表、演奏</td> </tr> <tr> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td colspan="5">その他の著作、訳書等</td> </tr> <tr> <td>「暮らしを守る視点軸に」</td> <td>単</td> <td>2020.04.08</td> <td>「しんぶん赤旗」</td> <td>第3面。</td> </tr> <tr> <td>「社会のしくみや展望、いまこそ探求の時」</td> <td>単</td> <td>2020.05.17</td> <td>「しんぶん赤旗」</td> <td>第19面。</td> </tr> <tr> <td>『「政治を変えたい」切実な願いと手を取りあって』</td> <td>単</td> <td>2020.06</td> <td>「兵庫革新懇ニュース」</td> <td>第1-3面。</td> </tr> <tr> <td>「緊急事態対応において組合が果たした役割」(上・下)</td> <td>単</td> <td>2020.06.30-07.30</td> <td>「私大教連かんさい」No.157-158 関西地区私立大学教職員組合連合</td> <td>第3-5面、第6-7面。</td> </tr> <tr> <td>「新型コロナが問う 日本と世界」</td> <td>単</td> <td>2020.08.18</td> <td>「しんぶん赤旗」</td> <td>第1・3面。</td> </tr> <tr> <td>「憲法にそった『私を助ける政治』をつくろう」</td> <td>単</td> <td>2020.10.30</td> <td>『治安維持法と現代』第40号、治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟</td> <td></td> </tr> <tr> <td>「マルクスの前進、エンゲルスの苦闘、現代の課題」</td> <td>単</td> <td>2021.01.01</td> <td>『前衛』1月号、日本共産党</td> <td>pp.201-207。</td> </tr> <tr> <td>「野党連合政権と日米安保」</td> <td>単</td> <td>2021.02.01</td> <td>『平和運動』2月号、日本平和委員会</td> <td>pp.2-11。</td> </tr> <tr> <td>「私を助ける政治をつくろう」</td> <td>単</td> <td>2021.03</td> <td>『団報』205号、自由法曹団</td> <td>pp.18-29(資料pp.62-83)。</td> </tr> <tr> <td colspan="5">研究助成金の受給状況</td> </tr> <tr> <td colspan="5"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>研究タイトル</th> <th>助成金タイトル、支給元</th> <th>代分の別</th> <th>支給額</th> <th>支給年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> <tr> <td colspan="5">産官学連携の受給状況</td> </tr> <tr> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td colspan="5"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>その他研究活動上特記すべき事項</th> <th>年月</th> <th colspan="3">概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3"></td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> <tr> <td colspan="5"></td> </tr> </tbody></table>					著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など	著書・CD					『いまこそ野党連合政権を』	共	2020.04.24	日本機関紙出版センター	共著/富田宏治、上脇博之。pp.101-137。	『ゆたかさ』	共	2020.08.20	世界思想社	神戸女学院大学総合文化学科監修。pp.3-34。	学術論文					「不可欠にして稀有な第二バイオリン・エンゲルス」	単	2020.05.01	『経済』2020年5月号	pp.45-61。	「資本主義の限界と変革を考える」	単	2021.01.01	『経済』2021年1月号	pp.28-42。	学会発表										その他の研究発表、演奏										その他の著作、訳書等					「暮らしを守る視点軸に」	単	2020.04.08	「しんぶん赤旗」	第3面。	「社会のしくみや展望、いまこそ探求の時」	単	2020.05.17	「しんぶん赤旗」	第19面。	『「政治を変えたい」切実な願いと手を取りあって』	単	2020.06	「兵庫革新懇ニュース」	第1-3面。	「緊急事態対応において組合が果たした役割」(上・下)	単	2020.06.30-07.30	「私大教連かんさい」No.157-158 関西地区私立大学教職員組合連合	第3-5面、第6-7面。	「新型コロナが問う 日本と世界」	単	2020.08.18	「しんぶん赤旗」	第1・3面。	「憲法にそった『私を助ける政治』をつくろう」	単	2020.10.30	『治安維持法と現代』第40号、治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟		「マルクスの前進、エンゲルスの苦闘、現代の課題」	単	2021.01.01	『前衛』1月号、日本共産党	pp.201-207。	「野党連合政権と日米安保」	単	2021.02.01	『平和運動』2月号、日本平和委員会	pp.2-11。	「私を助ける政治をつくろう」	単	2021.03	『団報』205号、自由法曹団	pp.18-29(資料pp.62-83)。	研究助成金の受給状況					<table border="1"> <thead> <tr> <th>研究タイトル</th> <th>助成金タイトル、支給元</th> <th>代分の別</th> <th>支給額</th> <th>支給年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					研究タイトル	助成金タイトル、支給元	代分の別	支給額	支給年度						産官学連携の受給状況										<table border="1"> <thead> <tr> <th>その他研究活動上特記すべき事項</th> <th>年月</th> <th colspan="3">概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3"></td> </tr> </tbody> </table>					その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要												
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など																																																																																																																																																											
著書・CD																																																																																																																																																															
『いまこそ野党連合政権を』	共	2020.04.24	日本機関紙出版センター	共著/富田宏治、上脇博之。pp.101-137。																																																																																																																																																											
『ゆたかさ』	共	2020.08.20	世界思想社	神戸女学院大学総合文化学科監修。pp.3-34。																																																																																																																																																											
学術論文																																																																																																																																																															
「不可欠にして稀有な第二バイオリン・エンゲルス」	単	2020.05.01	『経済』2020年5月号	pp.45-61。																																																																																																																																																											
「資本主義の限界と変革を考える」	単	2021.01.01	『経済』2021年1月号	pp.28-42。																																																																																																																																																											
学会発表																																																																																																																																																															
その他の研究発表、演奏																																																																																																																																																															
その他の著作、訳書等																																																																																																																																																															
「暮らしを守る視点軸に」	単	2020.04.08	「しんぶん赤旗」	第3面。																																																																																																																																																											
「社会のしくみや展望、いまこそ探求の時」	単	2020.05.17	「しんぶん赤旗」	第19面。																																																																																																																																																											
『「政治を変えたい」切実な願いと手を取りあって』	単	2020.06	「兵庫革新懇ニュース」	第1-3面。																																																																																																																																																											
「緊急事態対応において組合が果たした役割」(上・下)	単	2020.06.30-07.30	「私大教連かんさい」No.157-158 関西地区私立大学教職員組合連合	第3-5面、第6-7面。																																																																																																																																																											
「新型コロナが問う 日本と世界」	単	2020.08.18	「しんぶん赤旗」	第1・3面。																																																																																																																																																											
「憲法にそった『私を助ける政治』をつくろう」	単	2020.10.30	『治安維持法と現代』第40号、治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟																																																																																																																																																												
「マルクスの前進、エンゲルスの苦闘、現代の課題」	単	2021.01.01	『前衛』1月号、日本共産党	pp.201-207。																																																																																																																																																											
「野党連合政権と日米安保」	単	2021.02.01	『平和運動』2月号、日本平和委員会	pp.2-11。																																																																																																																																																											
「私を助ける政治をつくろう」	単	2021.03	『団報』205号、自由法曹団	pp.18-29(資料pp.62-83)。																																																																																																																																																											
研究助成金の受給状況																																																																																																																																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>研究タイトル</th> <th>助成金タイトル、支給元</th> <th>代分の別</th> <th>支給額</th> <th>支給年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					研究タイトル	助成金タイトル、支給元	代分の別	支給額	支給年度																																																																																																																																																						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元	代分の別	支給額	支給年度																																																																																																																																																											
産官学連携の受給状況																																																																																																																																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>その他研究活動上特記すべき事項</th> <th>年月</th> <th colspan="3">概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3"></td> </tr> </tbody> </table>					その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要																																																																																																																																																								
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要																																																																																																																																																													

社会貢献活動				
学会役員				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
2020.04-2021.03		兵庫県自治体問題研究所・理事		
2020.04-2021.03		関西唯物論研究会・委員		
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要
「集中講座・日本経済はどこまで来たか(全3回)」	単	2020.08.03,06,08	芦屋市立公民館	主催/芦屋市立公民館。
「私を助ける政治をつくろう」	単	2020.10.18	神戸国際会議場	主催/自由法曹団。
「シンポジウム・コロナ危機を乗り越える社会を」	共	2020.12.17	主婦会館プラザエフ	主催/全国革新懇。志位和夫・本田宏・藤田孝典氏と。
「コロナ危機を乗り越える社会づくり」	単	2021.01.30	能登川コミュニティセンター	内容/教育のつどい。主催/全教滋賀。
「女性の権利をめぐる」	単	2021.02.18	神戸女学院中高部コムセンター	内容/研修会。主催/神戸女学院中高部。
				他計42回。詳細は個人ブログに。 https://walumono.typepad.jp/4/
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
2020.04-2021.03		関西勤労者教育協会・副会長		
2020.04-2021.03		労働者教育協会・理事		
2020.04-2021.03		子どもと教科書全国ネット21・代表委員		
2020.04-2021.03		全国革新懇・代表世話人		
2020.04-2021.03		日本平和委員会・代表理事		
その他社会活動上特記すべき事項				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		

氏名／所属／職名

金田 知子 KANATA Tomoko / 総合文化学科 / 教授

学位				
文学士, Dip.SW, M.Soc.Sci.				
専門分野				
社会福祉学				
研究課題				
途上国(アフリカ)の精神保健福祉, 国際ソーシャルワーク				
教育活動				
担当授業科目(大学)				
人間福祉学入門, 精神保健福祉相談援助の基盤(専門), 精神保健福祉援助演習(基礎), 社会福祉援助技術現場実習指導, 精神保健福祉援助実習指導 I, 精神保健福祉援助実習指導 II, 精神保健福祉援助実習, 文献ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 卒業論文				
担当授業科目(大学院)				
比較文化学特殊講義				
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要
精神保健福祉士国家試験対策		2020.07-2021.01	精神保健福祉士養成課程学生(4年生)	精神保健福祉実習室の協力を得て、精神保健福祉士国家試験対策としての小テスト、学内模試を実施。また東京アカデミーによる国家試験科目のオンディマンド講座をmoodleを通して開講した。
精神保健福祉援助実習報告書の作成		2020.11-2021.03	学生、精神保健福祉実習指導者、精神保健福祉士養成校	2020年度精神保健福祉援助実習報告書の執筆および編集。
精神保健福祉士養成課程OG(卒業生)への卒業指導		2021.02.14	総合文化学科精神保健福祉士養成課程の修了生	総合文化学科精神保健福祉士養成課程の修了生(主として精神保健福祉士)を対象にZoom交流会を開催し、各自の現状を確認するとともに、必要なアドバイスを行った。
就職支援		2021.02-2021.03	総合文化学科精神保健福祉士養成課程の学生	総合文化学科精神保健福祉士養成課程の学生に対して、本人の就職希望を確認したうえで、障害福祉サービス事業所への就職を斡旋した。
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など
著書・CD				
学術論文				
学会発表				
その他の研究発表、演奏				
その他の著作、訳書等				
報告:「精神保健福祉士養成課程の教育内容等の見直し—ソーシャルワーク再考—」	単	2020.10.30	『兵庫PSWの会 ニュース』No.25号、兵庫県精神保健福祉士協会	p.2。
書評:「関係性に資力を注ぐハウサの女性たちの生活戦略」	単	2021.03.06	『図書新聞』3486号	p.3。
研究助成金の受給状況				
研究タイトル	助成金タイトル、支給元		代分の別	支給額
シエラレオネにおける当事者・家族主体のメンタルヘルスケア導入アクションリサーチ	日本学術振興会研究費補助金基盤研究(B)		分	600千円
産官学連携の受給状況				
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要		

社会貢献活動				
学会役員				
就任期間		学会役員名		
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共 の別	年月	場所	概要
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
2020.04-2021.03		神戸市精神医療審査会 審査委員		
2020.04-2021.03		医療法人紫博会相談支援センター「りあん」 第三者委員		
2020.04-2021.03		一般社団法人兵庫県精神保健福祉士協会 副会長		
2020.09-2021.03		神戸市市民福祉調査委員会精神保健福祉分科会 特別委員		
その他社会活動上特記すべき事項				
2020.04-現在 精神科病院に強制入院中の精神障害者の退院および処遇改善要求に対し、本人および関係者への聞き取り調査を実施。				
2020.04-現在 2020年3月に発覚した精神科病院虐待事件について、調査委員会での調査審議を実施。				
2020.04-現在 兵庫県精神保健福祉士協会理事(副会長)として、精神保健福祉士の教育研修の企画運営を行った。				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		

氏名／所属／職名

川瀬 雅也 KAWASE Masaya / 総合文化学科 / 教授

学位					
学士(文学), 修士(文学), 博士(文学)					
専門分野					
哲学・倫理学					
研究課題					
生の現象学・臨床哲学・人文社会学を横断する共同性・文化・多文化性に関する研究					
教育活動					
担当授業科目(大学)					
クローバーゼミ, 哲学(II), 倫理学(I), 倫理学(IV), 文献ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 卒業論文					
担当授業科目(大学院)					
比較文化学総合演習 I, 比較文化学総合演習 II, 比較文化学総合演習 III, 比較思想 I					
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要	
研究活動					
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など	
著書・CD					
<i>Considérations phénoménologiques sur le monde. Entre théories et pratiques.</i>	共	2020.10.15	Presses universitaires de Louvain	共著/Renaud BARBARAS, Irene BREUER, Vincent CITOT, Jean-François LAVIGNE, Arthur LONGNEAUX, Paula LORELLE, Emre ŞAN, Yasuhiko SUGIMURA, Anne DEVARIEUX, Grégori JEAN, Masaya KAWASE, Renaud MALLET, Thomas SABOURIN, Micaela SZEFTTEL, David CHABERTY, Hugo DALLACOSTA, Pierre DE CORTE, Roberto TERZI, Fanny VALEYRE, Yoshihiro HOMMA, Manfredi MORENO, Chiara PAVAN, Mathilde BATAILLE, Pablo ALVEZ, Charles BOBANT, Renato BOCCALI, Sylvaine GOURDAIN, Laurent SOUBISE, Benjamin STRAEHLI, Élodie BOUBLIL, Olivier MALHERBE, Yoann MALINGE, Marion RICHEZ, Federico TOSCA, Christophe DAVID, Perrine WILHELM, Claire DODEMAN, Andreas Gonçalves LIND. pp.163-174	
学術論文					
学会発表					
その他の研究発表、演奏					
その他の著作、訳書等					
研究助成金の受給状況					
研究タイトル	助成金タイトル、支給元		代分の別	支給額	支給年度
生の現象学・臨床哲学・人文社会学を横断する共同性・文化・多文化性に関する研究	日本学術振興会研究費補助金基盤研究(C)		代	400千円	2020年度
産官学連携の受給状況					
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要			
社会貢献活動					
学会役員					
就任期間	学会役員名				
2020.04-2021.03	日本ミシェル・アンリ哲学会 運営委員(事務局担当)				

公開講座				
講座名、講演タイトル	単共 の別	年月	場所	概要
学外機関委員等				
就任期間	機関名・委員名・役職名			
その他社会活動上特記すべき事項				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		

氏名／所属／職名

河島 真 KAWASHIMA Makoto / 総合文化学科 / 教授

学位						
学士(文学), 修士(文学)						
専門分野						
日本近現代史						
研究課題						
戦間期日本の政治史・思想史・地域史, 戦後日本の政治史・思想史・地域史						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
日本史(II), 近代日本思想史, 社会科・地理歴史科教育法, 地理歴史科教育法, 社会思想史, 文献ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 卒業論文						
担当授業科目(大学院)						
日本史演習						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
『新版八尾市史 近代・現代史料編』	共	2021.03.17	八尾市	共著/飯塚一幸、廣田誠。 pp.22-28,34,35,483-615,707-731。		
学術論文						
学会発表						
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
「解題 J.C.ベリー『治験録』」	単	2020.04	神戸大学附属図書館デジタルアーカイブ・稀観本・稀観書。	http://www.lib.kobe-u.ac.jp/kichosyo/chikenroku		
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要			
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間			学会役員名			
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
芦屋市立公民館講座 はじめての福澤諭吉(計2回)	単	2020.07.11 , 08.22	芦屋市立公民館	内容/福澤諭吉の著作の講読。主催/芦屋市立公民館。前年度からの継続(全3回)。		
芦屋市立公民館講座 敗戦直前の日本政治(計3回)	単	2020.10.26 , 11.16, 12.21	芦屋市立公民館	内容/敗戦直前の日本政治。主催/芦屋市立公民館。		
学外機関委員等						
就任期間			機関名・委員名・役職名			
2011.09-現在			八尾市史専門部会員			
2014.05-現在			三木市情報公開審査会委員			
2014.05-現在			三木市個人情報保護審査会委員			
2015.04-現在			明石市史編纂専門部会委員(現代部会長)			
2018.01-現在			三木市史通史編近現代史部会員			

その他社会活動上特記すべき事項		
海外での活動		
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること		
期間	国名	概要

氏名／所属／職名

北川 将之 KITAGAWA Masayuki / 総合文化学科 / 教授

学位				
学士(外国研究), 修士(国際関係論), 博士(国際関係論)				
専門分野				
政治学, 国際関係論				
研究課題				
インド民主主義の変容, 在外インド人の市民意識, インド貧困女性の政治参加				
教育活動				
担当授業科目(大学)				
市民のための現代社会・政治, 概説国際関係論, 国際関係論, 現代アジア地域研究(IV)(南アジア), 政治学(国際政治を含む), 基礎ゼミ, 文献ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 卒業論文				
担当授業科目(大学院)				
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など
著書・CD				
学術論文				
学会発表				
その他の研究発表、演奏				
その他の著作、訳書等				
寄稿:「新型コロナウイルスに関する南インド諸州の状況と州政府の対応」	単	2020.04.10	『インド経済フォーラム』	第158号 p.15。
寄稿:「新型コロナウイルス対策に積極的なテランガナ州と出遅れたアーンドラ・プラデーシュ州」	単	2020.05.10	『インド経済フォーラム』	第159号 p.15。
寄稿:「アーンドラプラデーシュ州でのガス漏れ事故と政府の対応」	単	2020.06.10	『インド経済フォーラム』	第160号 p.18。
寄稿:「インド南部の主要都市の封鎖」	単	2020.07.10	『インド経済フォーラム』	第161号 p.18。
寄稿:「ケーララ州における金密輸事件と政治的波紋」	単	2020.08.10	『インド経済フォーラム』	第162号 p.15。
寄稿:「金密輸事件への州首相の関与疑惑をめぐるケーララ州の与野党の対立」	単	2020.09.10	『インド経済フォーラム』	第163号 p.15。
寄稿:「2020年農業関連法に対するインド南部の州政府の反応」	単	2020.10.10	『インド経済フォーラム』	第164号 p.14。
寄稿:「テランガナ州補欠選挙におけるインド人民党候補の家宅搜索とその波紋」	単	2020.11.10	『インド経済フォーラム』	第165号 p.13。
寄稿:「ケーララ州のソーシャルメディア規制法をめぐる論争」	単	2020.12.10	『インド経済フォーラム』	第166号 p.13。
寄稿:「カルナータカ州のリンガーヤット開発公社案とインド人民党の内部対立」	単	2021.01.10	『インド経済フォーラム』	第167号 p.12。
寄稿:「タミル・ナードゥ州におけるコロナ対策とワクチン接種の動き」	単	2021.02.10	『インド経済フォーラム』	第168号 p.15。
寄稿:「タミル・ナードゥ州における留保制度改革と州議会選挙」	単	2021.02.10	『インド経済フォーラム』	第169号 p.13。
研究助成金の受給状況				
研究タイトル	助成金タイトル、支給元		代分の別	支給額
分権的發展の効果と潜在力: インド29州の比較分析を通じた民主主義的安定のかたち	日本学術振興会研究費補助金 基盤研究(A)		分	280千円
				2020年度

移民受入れ国-送出し国の政策相互関連——国際社会学からの比較研究		日本学術振興会研究費補助金 基盤研究(A)		分	300千円	2020年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要			
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間		学会役員名				
2020.04.-2021.03		日本南アジア学会 雑誌編集委員				
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
学外機関委員等						
就任期間		機関名・委員名・役職名				
その他社会活動上特記すべき事項						
海外での活動						
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること						
期間	国名	概要				

氏名/所属/職名

藏中 さやか KURANAKA Sayaka / 総合文化学科 / 教授

学位					
文学士, 文学修士, 博士(国文学)					
専門分野					
日本古典文学					
研究課題					
中古中世和歌文学における題詠のあり方, 中古中世和歌文学と漢籍との関連性, 歌題集成書の成立と展開					
教育活動					
担当授業科目(大学)					
日本古典文学研究(I), 国語科教育法 II, 日本古典文学講読(II), 教育実習I, 教職実践演習(中・高), 基礎ゼミ, 文献ゼミ, 専攻ゼミ(I)					
担当授業科目(大学院)					
比較文化学合同研究 A, 日本文学演習 I					
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要	
研究活動					
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など	
著書・CD					
『軍記物語講座 第4巻 乱世を語り継ぐ』	共	2020.05.30	花鳥社	編者/松尾葦江。pp.138-149。	
『龍谷大学善本叢書 35 蘆庵本歌合集』	共	2021.01.30	思文閣出版	編者/龍谷大学世界仏教文化センター。解説pp.370-377、397-405。	
学術論文					
新学習指導要領科目「言語文化」の授業実践 —絵巻を教材にして—	単	2021.03.09	『神戸女学院大学教職センター研究紀要』第4号	pp.45-53。	
学会発表					
その他の研究発表、演奏					
その他の著作、訳書等					
「日本文学から—鴨長明が希求したもの」	共	2020.08.20	『日常を拓く知 第4巻 ゆたかさ』	神戸女学院大学文学部総合文化学科監修、栗山圭子編。pp.36-55。	
研究助成金の受給状況					
研究タイトル	助成金タイトル、支給元		代分の別	支給額	支給年度
常設研究プロジェクト「歌合の本質とその集積についての研究」	龍谷大学世界仏教文化センター		分	750千円	2020年度
産官学連携の受給状況					
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要		
龍谷大学世界仏教文化研究センター客員研究員		2020.04-2021.03	龍谷大学所蔵資料を用いた研究に従事した。		
社会貢献活動					
学会役員					
就任期間	学会役員名				
2020.04-2020.9	和歌文学会委員				
2020.10-2021.03	和歌文学会常任委員				
2020.04-2021.03	和歌文学会関西例会委員				
2020.04-2021.03	中古文学会関西西部会運営委員				
公開講座					
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要	
学外機関委員等					
就任期間	機関名・委員名・役職名				

その他社会活動上特記すべき事項		
海外での活動		
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること		
期間	国名	概要

氏名／所属／職名

三杉 圭子 MISUGI Keiko / 総合文化学科 / 教授

学位						
文学士, 文学修士, M.A., 博士(英文学)						
専門分野						
20世紀アメリカ小説						
研究課題						
語りの技法, モダニズム, ジェンダー, 多文化社会におけるマイノリティの諸相						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
英米文化・文学入門, アメリカの文化・文学(I), アメリカの文化・文学(IV), 欧米文化特殊研究(II), 文献ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 卒業論文						
担当授業科目(大学院)						
比較文化・文学 II						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
書評「Nina Morgan, Alfred Hornung, Takayuki Tatsumi編 <i>The Routledge Companion to Transnational American Studies</i> 」	単	2021.03.31	『アメリカ文学研究』第57号、日本アメリカ文学会	pp.45-51.		
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
ジョン・ドス・パソスの代表的小説群における言葉と身体性——言語芸術の可能性	日本学術振興会研究費補助金基盤研究(C)			代	500千円	2020年度
プラグマティズム再考——ジェイムズ兄妹とモダニティ	神戸市外国語大学プロジェクトB			分	100千円	2020年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要			
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間		学会役員名				
2020.04-2021.03		日本アメリカ文学会関西支部評議員				
2020.04-2021.03		日本ユダヤ学会理事				
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
学外機関委員等						
就任期間		機関名・委員名・役職名				
その他社会活動上特記すべき事項						

海外での活動		
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること		
期間	国名	概要

氏名／所属／職名

孟 真理 MO Mari / 総合文化学科 / 教授

学位				
文学士, 文学修士				
専門分野				
ドイツ文学				
研究課題				
ホーフマンスタール, ヘルマン・ブロッホ, klassisch-Moderneの長編小説, 世紀転換期ウィーン文化				
教育活動				
担当授業科目(大学)				
ドイツ語(I)文法, ドイツ語(II)(社会), ドイツの文化・文学(II), ドイツの文化・文学(III), 文献ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 卒業論文				
担当授業科目(大学院)				
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要	
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など
著書・CD				
学術論文				
学会発表				
その他の研究発表、演奏				
その他の著作、訳書等				
研究助成金の受給状況				
研究タイトル	助成金タイトル、支給元		代分の別	支給額
産官学連携の受給状況				
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要		
社会貢献活動				
学会役員				
就任期間	学会役員名			
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要
学外機関委員等				
就任期間	機関名・委員名・役職名			
その他社会活動上特記すべき事項				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		

氏名／所属／職名

中野 敬一 NAKANO Keiichi / 総合文化学科 / 教授

学位						
神学士, 神学修士, D.Min.						
専門分野						
キリスト教学, 実践神学						
研究課題						
キリスト教の死者儀礼, 死生学						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
キリスト教概説, 現代社会と宗教, キリスト教学(新約学), 現代キリスト教思想, 基礎ゼミ, 文献ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 卒業論文						
担当授業科目(大学院)						
キリスト教学(Studies in Christianity)						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
日本における「教会墓地」の今日的意義	単	2020.09	第79回日本宗教学会、オンライン開催	『宗教研究』別冊要旨の提出をもって発表とみなすという学会方針。		
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
C. B. デフォレスト書簡の解読(VI) (1932-1937) アメリカン・ボード宣教師文書より	共	2021.01.31	神戸女学院大学「宣教師文書」研究会発行	共著/津上智実(編)、白井由美子。pp.8-14。		
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
宣教師文書の解読と解明 ～1930年代半ばのデフォレスト文書を中心に～	神戸女学院大学研究所 総合研究助成			分	1,491千円 (総額)	2020年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要			
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間		学会役員名				
2020.04-2021.03		日本基督教学会・幹事				
2020.04-2021.03		日本基督教学会/学会誌編集委員				
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
芦屋市公民館講座「アメリカを動かす宗教右派」	単	2020.07.25	芦屋市民センター	内容/「アメリカを動かす宗教右派」というタイトルでキリスト教保守派について講演。主催/芦屋市立公民館		
学外機関委員						
就任期間		機関名・委員名・役職名				
2020.04-2021.03		社会福祉法人イエス団・理事				
2020.04-2021.03		一般財団法人キリスト教学校教育同盟関西地区協議会・大学部会委員				
その他社会活動上特記すべき事項						

海外での活動		
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること		
期間	国名	概要

氏名／所属／職名

清水 学 SHIMIZU Manabu / 総合文化学科 / 教授

学位						
社会学士, 学術修士						
専門分野						
社会学						
研究課題						
社会の詩学, エスノメソドロジー以後の社会理論						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
社会学概論, 社会理論, 基礎ゼミ, 文献ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 卒業論文						
担当授業科目(大学院)						
比較文化学総合演習 I, 比較文化学総合演習 II, 比較文化学総合演習 III, 比較思想 II						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
学術論文						
書評「井上俊著『文化社会学界限』」	単	2020.05.11	『フォーラム現代社会学』 第19号	pp.119-121。		
学会発表						
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要				
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間	学会役員名					
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
学外機関委員等						
就任期間	機関名・委員名・役職名					
その他社会活動上特記すべき事項						
海外での活動						
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること						
期間	国名	概要				

氏名／所属／職名 建石 始 TATEISHI Hajime / 総合文化学科 / 教授

学位						
学士(言語・文化), 修士(文学), 博士(文学)						
専門分野						
日本語学・日本語教育学						
研究課題						
語彙と文法を連動させた日本語・日本語教育研究						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
言語習得論, 中国語(I)文法, 日本語教授法(I)(日本語教育概論), 日本語学入門(I), 日本語学特論, 日本語学研究(V), 日本語教育実習(国内), 基礎ゼミ, 文献ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 卒業論文						
担当授業科目(大学院)						
日本語学演習, 比較文化学合同研究 A						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
『自動詞と他動詞の教え方を考える』	共	2020.06.30	くろしお出版	共著/江田すみれ、堀恵子、中石ゆうこ、中俣尚己、李在鎬、山崎誠、相澤早帆、白鳥藍。pp.73-88。		
『中国語話者に教える』	共	2021.03.01	webjapanese	共著/杉村泰、崔小萍、劉志偉、陳建明、中俣尚己、陳秀茵。pp.19-35。		
学術論文						
学会発表						
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
話題が語彙・文法・談話ストラテジーに与える影響の解明	日本学術振興会研究費補助金基盤研究(B)			分	50千円	2020年度
データに基づいた中国語教育文法の作成	神戸女学院大学研究所 研究助成			代	296千円	2020年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要			
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間		学会役員名				
2020.04-2021.03		日本語教育学会大会委員会委員				
2020.04-2021.03		日本語文法学会総務委員長				
2020.04-2021.03		日本語/日本語教育研究会総務委員				
2020.04-2021.03		中国語話者のための日本語教育研究会編集委員会委員長				
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
学外機関委員等						
就任期間		機関名・委員名・役職名				
2020.08-2021.03		独立行政法人大学改革支援・学位授与機構調査研究協力者(大学ポートレート国際発信版多言語対応のための検討会委員)				

2020.12-2021.03	文化庁委託 令和2年度日本語教育人材養成・研修カリキュラム等開発事業 留学生に対する日本語教師【初任】研修担当	
2020.04-2021.03	国立国語研究所共同研究プロジェクト共同研究員	
その他社会活動上特記すべき事項		
海外での活動		
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること		
期間	国名	概要

氏名／所属／職名

横田 恵子 YOKOTA Keiko / 総合文化学科 / 教授

学位						
芸術学士, 文学修士, 博士(社会福祉学)						
専門分野						
福祉社会学						
研究課題						
労働のグローバル化・女性化と日本女性の国際移動, 滞日アジア女性の支援に資する多文化ソーシャルワークの方法論の構築, 医療現場における価値・倫理規範と医学・看護教育にかかわる問題, 公衆衛生と健康の社会学						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
社会調査入門, NGO・NPO論, 社会調査計画法, 社会調査実習, 文献ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 卒業論文						
担当授業科目(大学院)						
文化基礎論 I						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
学会誌「社会学評論」Vol.71.No.2 書評	単	2020.09	対象書籍/入江恵子「介入と逸脱」			
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
ライフストーリーを繙く: 文学批評理論を援用した解釈学的アプローチの可能性	日本学術振興会研究費補助金基盤研究(C)			代	700千円	2020年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要			
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間	学会役員名					
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
学外機関委員等						
就任期間	機関名・委員名・役職名					
その他社会活動上特記すべき事項						
海外での活動						
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること						
期間	国名	概要				

氏名／所属／職名

與那嶺 司 YONAMINE Tsukasa / 総合文化学科 / 教授

学位						
学士(社会福祉学), M.S.W., 博士(学術)						
専門分野						
社会福祉学						
研究課題						
「知的障害のある人の自己決定とその支援」および「障害福祉分野の相談支援専門員によるソーシャルワーク実践」						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
人間福祉学入門, 精神保健福祉相談援助の基盤(基礎), 精神保健福祉援助演習(基礎), 社会福祉援助技術現場実習指導, 精神保健福祉援助実習指導 I, 精神保健福祉援助実習指導 II, 精神保健福祉援助実習, 基礎ゼミ, 文献ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 卒業論文						
担当授業科目(大学院)						
比較文化学特殊講義, 比較文化学総合演習 I, 比較文化学総合演習 II, 比較文化学総合演習 III						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
『障害者福祉』	共	2021.02.01	中央法規出版	共著/高木憲司、松岡克尚他。pp.133-138。		
『ソーシャルワーク実習指導・ソーシャルワーク実習(社会専門)』	共	2021.02.01	中央法規出版	共著/添田正揮、渡辺裕一他。pp.58-63。		
『ソーシャルワーク実習指導・ソーシャルワーク実習(精神専門)』	共	2021.02.01	中央法規出版	共著/中村和彦、中村卓治他。pp.58-63。		
『障害者福祉』	共	2021.03.20	ミネルヴァ書房	共著/小澤温、岩崎香他。pp.76-98および137-140。		
『新版 ソーシャルワークの基盤と専門職(基礎編・専門編)』	共	2021.03.31	株式会社みらい	共著/植戸貴子、岡崎幸友他。pp.15-42。		
学術論文						
「知的障害のある人への意思決定とその支援:「自己決定」から「意思決定」へ」	単	2020.12.20	日本ケアマネジメント学会 『ケアマネジメント学』第19号	pp.25-34。		
学会発表						
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要				
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間	学会役員名					

公開講座				
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要
財務省税関研修所大阪支所・障害者に係る研修(統括官マネジメント研修)「障害のある人との関わり方」	単	2020.10.01	財務省税関研修所大阪支所(大阪市港区)	内容/大阪支所に所属する統括マネジメントレベルの税関職員に対し、障害のある人への関わり方の基礎について講義を行った。主催/財務省税関研修所大阪支所。
社会福祉法人産経新聞厚生文化事業団・相談支援「くすのき」第1回スーパービジョン	単	2020.10.08	相談支援事業所「くすのき」(大阪府池田市)	内容/障害福祉・相談支援事業所「くすのき」におけるスーパービジョンを行った。主催/社会福祉法人産経新聞厚生文化事業団。
令和2年度社会福祉法人徳島県社会福祉協議会・スキルアップ研修「障がいのある人の自己決定について」	単	2020.10.15	オンライン・Zoom会議システム(本部・徳島県徳島市)	内容/徳島県の福祉施設・事業所の職員に対して、自己決定支援の基本的な考え方に関する研修を行った。主催/社会福祉法人徳島県社会福祉協議会。
大阪市社会福祉研修・情報センター研修 令和2年 障がい福祉関係研修(基礎研修)「障がいのある人の自己決定とその支援」	単	2020.10.19	大阪市社会福祉研修・情報センター(大阪市)	内容/大阪市の福祉関係者に対して意思決定支援の基本的な考え方に関する研修会を行い、その講師を務めた。主催/大阪市社会福祉研修・情報センター。
財務省税関研修所大阪支所・障害者に係る研修(新任課長級研修)「障害のある人との関わり方」	単	2020.11.19	財務省税関研修所大阪支所(大阪市港区)	内容/大阪支所に所属する新任課長級の税関職員に対し、障害のある人への関わり方の基礎について講義を行った。主催/財務省税関研修所大阪支所。
一般社団法人大阪知的障害者福祉協会 令和2年度研修会「障害のある人の自己決定とその支援」	単	2020.12.03	一般社団法人大阪知的障害者福祉協会(大阪市中央区)	内容/本協会に加盟する施設・事業所職員に対して、自己決定支援の基本的な考え方に関する研修を行った。主催/一般社団法人大阪知的障害者福祉協会。
社会福祉法人産経新聞厚生文化事業団・相談支援「くすのき」第2回スーパービジョン	単	2021.02.25	相談支援事業所「くすのき」(大阪府池田市)	内容/障害福祉・相談支援事業所「くすのき」におけるスーパービジョンを行った。主催/社会福祉法人産経新聞厚生文化事業団。
豊中市障害相談支援ネットワーク“えん”相談員のための勉強会「相談支援におけるセルフケア」	単	2021.03.11	市立障害福祉センターひまわり(大阪府豊中市)	内容/豊中市自立支援協議会に関する支援者に対して、相談支援におけるセルフケアに関する研修を行った。主催/豊中市障害相談支援ネットワーク“えん”。
「2020スーパーバイザー・フォローアップ研修」	単	2021.03.27	オンライン会議室(Zoomミーティング:本部 東京都新宿区)	内容/社会福祉士に対するピアグループスーパービジョンの演習において、グループファシリテーターを担った。主催/公益社団法人日本社会福祉士会。
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
2020.05-2021.03		公益財団法人社会福祉振興・試験センター・社会福祉士試験委員会委員(東京都渋谷区)		
2020.04-2021.03		認定社会福祉士認証・認定機構認定委員会副委員長(東京都新宿区)		
2020.04-2021.03		NPO法人おおさか行動する障害者応援センター理事会副代表兼理事(大阪市北区)		
2020.04-2021.03		大阪府工賃向上計画の推進に関する専門委員会委員長(大阪市中央区)		
2020.12-2021.03		大阪府公募型プロポーザル方式等事業者選定委員会委員長(大阪市中央区)		
2020.04-2021.03		西宮市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会委員(兵庫県西宮市)		
2010.04-2021.03		社会福祉法人産経新聞厚生福祉事業相談支援「くすのき」スーパーバイザー(大阪市浪速区)		
2020.04-2021.03		社会福祉法人くすのき福祉会評議員(大阪府守口市)		
2020.04-2021.03		社会福祉法人ふらっふ監事(大阪府大東市)		
2020.05-2021.03		一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟・近畿ブロック運営委員長(東京都港区)		
2020.06-2021.03		尼崎市自立支援協議会委員(兵庫県尼崎市)		
その他社会活動上特記すべき事項				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		

氏名／所属／職名

米田 眞澄 YONEDA Masumi / 総合文化学科 / 教授

学位				
文学士, 法学修士				
専門分野				
国際人権法				
研究課題				
国際人権法における男女平等の確保, 国際人権法における女性と子どもの人身売買の防止				
教育活動				
担当授業科目(大学)				
クローバーゼミ, 日本国憲法, 現代社会と法, 国際法, 文献ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 卒業論文				
担当授業科目(大学院)				
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など
著書・CD				
学術論文				
学会発表				
その他の研究発表、演奏				
その他の著作、訳書等				
研究助成金の受給状況				
研究タイトル	助成金タイトル、支給元		代分の別	支給額
産官学連携の受給状況				
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要	
社会貢献活動				
学会役員				
就任期間	学会役員名			
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要
学外機関委員等				
就任期間	機関名・委員名・役職名			
その他社会活動上特記すべき事項				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		

氏名/所属/職名

景山 佳代子 KAGEYAMA Kayoko / 総合文化学科 / 准教授

学位						
学士(教育学), 修士(人間科学), 博士(人間科学)						
専門分野						
社会学, メディア論, 社会意識論						
研究課題						
日本近代を「風俗化」概念で捉える(戦後民主主義)						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
メディア論, 社会病理学, 文献ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 卒業論文						
担当授業科目(大学院)						
比較社会学特論						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
『DIY<自分でする>社会学』	共	2020.06.20	法律文化社	共編者/白石真生。		
「1章 誕生」『DIY<自分でする>社会学』	単	2020.06.20	法律文化社			
「14章 知る」『DIY<自分でする>社会学』	単	2020.06.20	法律文化社			
「15章 変える」『DIY<自分でする>社会学』	単	2020.06.20	法律文化社			
「社会学から—「苦界」を生む近代の言葉、 「浄土」へ誘う民衆の方言」『日常を拓く知4 ゆたかさ』	単	2020.08.20	世界思想社			
学術論文						
学会発表						
「日常の言葉からはじめる、社会学的思考の 実践」	共	2020.11.01	第93回日本社会学会大会(オンライン)	共同発表/白石真生、鈴木富美子。		
その他の研究発表、演奏						
エッセイ:「慰霊の日」	単	2020.08	『平和の風』創刊号、西宮 平和委員会			
エッセイ:「言の葉拾い」(1)	単	2021.01.30	『平和の風』3号、西宮平 和委員会			
エッセイ:「言の葉拾い」(2)	単	2021.03.18	『平和の風』4号、西宮平 和委員会			
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
三重県熊野市における原発反対運動	神戸女学院大学研究所 研究助成			代	290千円	2020年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要				
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間	学会役員名					
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
MBS「ニュースなラヂオ 動画班」 学問の自由って「何なんw」	単	2020.10.30	MBS「ニュースなラヂオ」 Youtube	内容/日本学術会議の任命拒否問題をうけて、「学問の自由」とは一体なんなのか、そしてそれがなぜ重要であるのかについて話す。主催/MBS。		

阪神シニアカレッジ共通講座 週刊誌『アサヒ芸能』からみる風俗としての性	単	2020.11.05	兵庫県阪神シニアカレ ジ	内容/週刊誌『アサヒ芸能』を題材に、戦後の売春防止法とそれによる赤線廃止による性「風俗」の変遷をたどる。主催/兵庫県阪神シニアカレッジ。
第55回「建国記念の日」不承認 大阪府民のつどい 「菅政権による日本学術会議への介入と学問の自由をめぐる」	単	2021.02.11	たかつガーデン8階	内容/日本学術会議の任命拒否の何が問題であるのか、この問題にいたる政権の表現の自由や学問の自由への介入の経緯などを説明する。 主催/「建国記念の日」反対大阪連絡会議。
学外機関委員				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
その他社会活動上特記すべき事項				
2020.06-現在 西宮平和委員会代表				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		

備考：2020年度後期 教員特別研究制度利用

氏名／所属／職名

桐生 裕子 KIRYU Yuko / 総合文化学科 / 准教授

学位					
学士(文学), 修士(学術), 博士(学術)					
専門分野					
西洋史					
研究課題					
近代におけるハプスブルク君主国の変容とその特質					
教育活動					
担当授業科目(大学)					
西洋史入門, ヨーロッパ社会史(II), 基礎ゼミ, 文献ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 卒業論文					
担当授業科目(大学院)					
比較社会史					
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要	
研究活動					
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前、曲名、担当頁など	
著書・CD					
<i>Peasants into Citizens: The Politicisation of Rural Areas in Central Europe (1861-1914)</i>	共	2020.11	Harrasowitz Verlag	共著/Milan Řepa et al., pp.61-78。	
『「民族自決」という幻影』	共	2020.11	昭和堂	共著/大津留厚など。pp.147-175。	
学術論文					
学会発表					
その他の研究発表、演奏					
その他の著作、訳書等					
研究助成金の受給状況					
研究タイトル	助成金タイトル、支給元		代分の別	支給額	支給年度
第一次世界大戦前のハプスブルク君主国における国家機能と住民統合	日本学術振興会研究費補助金基盤研究(C)		代	0千円	2020年度
産官学連携の受給状況					
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要			
社会貢献活動					
学会役員					
就任期間	学会役員名				
公開講座					
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要	
学外機関委員等					
就任期間	機関名・委員名・役職名				
その他社会活動上特記すべき事項					
海外での活動					
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること					
期間	国名	概要			

氏名／所属／職名

小林 隆道 KOBAYASHI Takamichi / 総合文化学科 / 准教授

学位						
学士(文学), 修士(文学), 博士(文学)						
専門分野						
中国史						
研究課題						
10-14世紀中国における統治の諸相						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
クローバーゼミ, 外国語セミナー(中国語), 中国語(I)文法, 中国語(II)閲読, アジア史入門, アジア史研究, 日本アジア関係史, 文献ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 卒業論文						
担当授業科目(大学院)						
比較文化学総合演習 I, 比較文化学総合演習 II, 比較文化学総合演習 III						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
学術論文						
《南宋后期加封文书の頒布流程:以《道藏》所收《三茅真君加封事典》为分析对象》	単	2021.02	平田茂樹、余蔚主編《史料与场域:辽宋金元史的文献拓展与空间体验》、上海人民出版社	pp.248-271		
学会発表						
「新発見のモンゴル時代道教文書について」	単	2020.12.13	第7回アジア史連絡会	発表者。		
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
「東アジアの歴史から—試験地獄の狂気と豊饒 宮崎市定『科挙』」	単	2020.08.20	栗山圭子編『日常を拓く知:古典を読む4 ゆたかさ』、世界思想社	pp.78-92		
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
宋金元代中国の文物をめぐる政治と士人	日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)			代	800千円	2020年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要			
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間			学会役員名			
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
学外機関委員等						
就任期間			機関名・委員名・役職名			
その他社会活動上特記すべき事項						
海外での活動						
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること						
期間	国名	概要				

氏名／所属／職名

栗山 圭子 KURIYAMA Keiko / 総合文化学科 / 准教授

学位						
学士(文学), 修士(文学), 博士(文学)						
専門分野						
日本史						
研究課題						
日本古代中世王家成立史, 日本古代中世家族史						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
日本史(I), 史料で探る日本の歴史, 基礎ゼミ, 文献ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 卒業論文						
担当授業科目(大学院)						
日本文化論						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
学術論文						
「書評 樋口健太郎著『中世王権の形成と撰 関家』	単	2020.06.30	古代学協会『古代文化』 72編1号			
学会発表						
「祈願所としての金剛寺」	単	2020.09.05	第3回金剛寺文書研究会			
「女人高野金剛寺草創期の女性」	単	2021.02.20	第1回女人高野研究会			
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
河内国金剛寺文書に基づく中世地域社会史の研究	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金 (基盤研究(C)))			分	25千円	2020年度
産官学連携の受給状況						
「女人高野」成立史の研究	女人高野日本遺産協議会			代	1,400千円	2020年度
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要			
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間		学会役員名				
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
芦屋市立公民館講座、古代中世の家族と結婚(計3回)	単	2020.10.29 -12.03	芦屋市立公民館	日本古代中世の家族と結婚について講演。		
学外機関委員等						
就任期間		機関名・委員名・役職名				
2017.12-現在		兵庫県三木市『三木市史』編集委員会古代史部会委員				
2019.04-現在		兵庫県明石市『明石市史』編集委員会中世史部会委員				
その他社会活動上特記すべき事項						
海外での活動						
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること						
期間	国名	概要				

氏名/所属/職名

奥野 佐矢子 OKUNO Sayako / 総合文化学科 / 准教授

学位					
学士(教育学), 修士(教育学)					
専門分野					
教育哲学・人間形成論					
研究課題					
英米圏アイデンティティ政治学・フェミニズム批評理論の知見を用いた人間形成モデルの構築, 道徳性発達理論などを用いた道徳教育研究の実践性および妥当性の検証					
教育活動					
担当授業科目(大学)					
人間と教育, 教育原理 I, 教育原理 II, カリキュラム論, 教育実習 I, 基礎ゼミ, 文献ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 卒業論文					
担当授業科目(大学院)					
文化基礎論 II, 比較文化学総合演習 I, 比較文化学総合演習 II, 比較文化学総合演習 III					
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要		
執筆した教科書を使った授業実践	2020.04-2021.01	教職課程「教育原理」受講学生	内容/「多様性」をキーワードに編纂された教育原理の教科書において第一章「教育とは何か」および第二章「教育思想の歴史」を担当。本年度はこのコンテンツを活用し、「原理」の硬直性をやわらげ、多様な視点を獲得しうるような授業内容を工夫した。		
Moodle, Zoomなどの機器を使用した遠隔授業の実践	2020.05-2021.03	全担当授業および全担当ゼミ	内容/対面での授業機会が大幅に制限され、遠隔での講義方法を模索する中で以下の技術を習得した。①授業用デジタルコンテンツを作成する技術、②MoodleやZoomといったデジタルメディアを使いこなす技術、③使用するデジタルメディアに合ったカリキュラムを再構成する力量、④遠隔で学生たちとコミュニケーションする手法など。		
研究活動					
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など	
著書・CD					
学術論文					
「狐たちの言葉」がひらくもの(招待あり)	単	2020.04.30	早稲田文学編集室編『早稲田文学』(2020年夏号)	pp.164-173.	
「巻頭言」(招待あり)	単	2020.09	教育思想史学会『近代教育フォーラム』(第29号)	pp. i - iii.	
学会発表					
司会および総括「フォーラム1「教育目的」を「関係性」から問うことの意義——「ケアリング」論と進歩主義教育が示唆する2つの系譜の検討——」	共	2020.09.12-09.18	第30回教育思想史学会大会、於オンライン(オンデマンド形式)	発表者/尾崎博美。指定討論者/松浦良光、鳥光美緒子。	
司会「第四部会 教育における承認と政治」	共	2020.09.18-19	第63回教育哲学会、広島大学於オンライン(オンデマンド形式併用)	司会/森岡次郎。発表者/堤優貴、杉田浩崇、張林倩、保道晴奈、山中翔。	
その他の研究発表、演奏					
「第一回『エコリアス』読書会	単	2020.09.26	10:30~ Zoom	発表箇所/「喃語の極み」pp.9-12。	
第四回『エコリアス』読書会	単	2020.12.17	14:00~15:00 Zoom	発表箇所/「消滅危惧音素」pp.31-38。	
その他の著作、訳書等					
「コロナ禍における教育のあり方を教育哲学として語る」(招待あり)	単	2021.01.01	『教育学術新聞』	p.8。	
研究助成金の受給状況					
研究タイトル	助成金タイトル、支給元		代分の別	支給額	支給年度
産官学連携の受給状況					

その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要	
社会貢献活動				
学会役員				
就任期間		学会役員名		
2013.09-2020.06		日本道徳教育方法学会国際委員会		
2015.10-現在		教育思想史学会編集委員会		
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要
教育哲学会第63回大会次世代育成企画「教育哲学のタテ・ヨコ・ナナメを繋ぐー世代を超えた学術交流のためにー」	共	2020.10.18	学会大会開催校は日本大学文理学部、開催場所はZoomにて。	内容/学会大会開催中に、世代や大学の枠を超えた教育哲学者の学術交流の推進を目的とした「場」として設けられた。5つの部会のうち1つに話者として登壇、集まった若手研究者とオンライン会議システム（Zoom）による交流会をおこなった。主催/教育哲学会次世代育成企画委員会。
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
その他社会活動上特記すべき事項				
2020.09-『エコリアス』読書会 立ち上げと主宰 【活動内容】言語・他者・人間形成といったテーマに関心を持つ教育哲学研究者を中心に、ダニエル・ヘラー＝ローゼン著『エコリアスー言語の忘却についてー』（みすず書房、2018年）を読む読書会を立ち上げ&主宰している。第一回～第六回までを継続して実施。第一回「喃語の極み」（9月24日）、第二回「感嘆詞」（10月29日）、第三回「消滅危惧音素」（11月19日）、第四回「H&Co.」（1月21日）、第五回「アレフ」（2月18日）。第五回については、本学大澤香先生にご発表いただき、他ジャンルの研究者たちと研究交流の機会をセッティングした。				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		

氏名／所属／職名

笹尾 佳代 SASAO Kayo / 総合文化学科 / 准教授

学位						
学士(教育), 修士(教育学), 博士(国文学)						
専門分野						
日本近現代文学						
研究課題						
女性の文化生産および女性表象をめぐる諸問題, 1930年代東アジアの女性雑誌						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
クローバーゼミ, 日本近現代文学研究(II), 日本近現代文学講読(I), 国語科教育法II, 日本文学史(II), 教育実習I, 文献ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 卒業論文						
担当授業科目(大学院)						
日本文学演習 II						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
<i>Forms of the Body in Contemporary Japanese Society, Literature, and Culture</i>	共	2020.05	Lexington Books	編者 Irina Holca, Carmen Sapunaru Tamas/(担当範囲:The Confined Body in Ogawa Yoko's The Ring Finger: A Beguiling Journey towards "Self-discovery"(単著 英訳:編者)		
学術論文						
「自分のない女」の抗いー田村俊子「女作者」の問い直す(自己)	単	2021.03	龍谷大学国文学会『国文学論叢』66輯	pp.1-13。		
学会発表						
その他の研究発表、演奏						
「1930年前後の左翼運動におけるジェンダーとセクシュアリティ」第8回研究会	単	2020.08.25	オンラインZoom	「左翼運動と娼妓運動の交差 ー 賀川豊彦「偶像の支配するところ」 /松村喬子「地獄の反逆者」から」		
「1930年代における東アジア女性雑誌の比較研究」第6回研究会	単	2021.03.14	オンラインZoom 国際共同研究	『台湾婦人界』の出版戦略ー 柿沼文明の編集方針」		
その他の著作、訳書等						
『尾崎紅葉事典』	共	2020.10	翰林書房	担当項目「紅葉遺文」「紅葉子の断片」「暈字訓」「小胆」(単著)		
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
1930年代における東アジア女性雑誌の比較研究	学術研究助成基金助成金(国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B)))			分	250千円	2020年度
1930年前後左翼運動の文化実践におけるジェンダーとセクシュアリティ	学術研究助成基金助成金(基盤研究(C))			分	250千円	2020年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要			
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間			学会役員名			
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		

学外機関委員等		
就任期間		機関名・委員名・役職名
その他社会活動上特記すべき事項		
海外での活動		
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること		
期間	国名	概要

学位						
学士(法学), 修士(文学), 博士(文学)						
専門分野						
社会学						
研究課題						
子育て支援の社会学的研究・現代家族に関する全国規模の質的調査にもとづく社会学的研究						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
子どもの社会学, 家族社会学, 質的調査法, 基礎ゼミ, 文献ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 卒業論文						
担当授業科目(大学院)						
比較社会学特論						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
学術論文						
家族「する」ことの研究とエスノメソロジー・ 会話分析——会話分析的研究Embodied Family Choreographyの家族社会学的意義	単	2020.07.16	家族問題研究学会 『家族研究年報』第45号	pp.97-109。		
学会発表						
その他の研究発表、演奏						
NFRJ18質的調査研究会研究会	単	2020.12.27	オンライン	「フィールドワーク班の調査状況について」		
NFRJ18質的調査研究会研究会	単	2021.03.05	オンライン	「家族とレクリエーション」		
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
現代家族の過程と実践をめぐる質的研究に対する 組織的取り組み	日本学術振興会研究費補助金基盤研究(B)			分	300千円	2020年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要			
受賞		2020.08.01	研究奨励賞(日本子ども社会学会)			
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間			学会役員名			
2017.04-2021.03			社会言語科学会・学会誌編集委員			
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
学外機関委員等						
就任期間			機関名・委員名・役職名			
その他社会活動上特記すべき事項						
海外での活動						
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること						
期間	国名	概要				

氏名／所属／職名

渡部 充 WATANABE Mitsuru / 総合文化学科 / 准教授

学位					
理学士, 文学士, 文学修士					
専門分野					
イギリス文学, 沖縄学, 女性学					
研究課題					
ユートピア文学, イギリス・ロマン派					
教育活動					
担当授業科目(大学)					
イギリスの文化・文学(II), イギリスの文化・文学(III), 外国語セミナー(英語II), 基礎ゼミ, 文献ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II)					
担当授業科目(大学院)					
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要	
研究活動					
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など	
著書・CD					
学術論文					
学会発表					
その他の研究発表、演奏					
その他の著作、訳書等					
研究助成金の受給状況					
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額
産官学連携の受給状況					
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要		
社会貢献活動					
学会役員					
就任期間		学会役員名			
公開講座					
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要	
学外機関委員等					
就任期間		機関名・委員名・役職名			
その他社会活動上特記すべき事項					
海外での活動					
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること					
期間	国名	概要			

氏名／所属／職名 大澤 香 OZAWA Kaori / 総合文化学科 / 専任講師

学位						
学士(文学), 修士(神学), 博士(神学)						
専門分野						
聖書学(ヘブライ語聖書、新約聖書)						
研究課題						
第二神殿時代ユダヤ教と原始キリスト教の聖書解釈						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
クローバーゼミ, キリスト教概説, キリスト教学(旧約学), 聖書学(I), 聖書学(II), 新約聖書原典講読, 文献ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 卒業論文						
担当授業科目(大学院)						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
学術論文						
「ヘブライ語聖書における捕囚と穢れのメタファー」	単	2020.06.20	神戸女学院大学研究所 『神戸女学院大学論集』 第67巻第1号	単著/大澤香。pp.69-81。		
「地(ארץ)のイメージ的所産と捕囚後イスラエルの自己理解」	単	2021.03.31	関西学院大学キリスト教と文化研究センター 『関西学院大学キリスト教と文化研究』	単著/大澤香。pp.1-22。		
学会発表						
「創造主としての神と古代イスラエルのアイデンティティ形成」	単	2021.03.14	日本ユダヤ学会 関西例会 (Zoom開催)	研究報告。		
その他の研究発表、演奏						
第六回 エコリアス会	単	2021.02.18	Zoom開催	「アレフ」(ダニエル・ヘラー=ローゼン著『エコリアス』みすず書房、2018年、pp.21-29)について。		
その他の著作、訳書等						
〔論評〕上村 静(訳)『死海文書 IX 儀礼文書』、(共訳)『死海文書 VIII 詩篇』、(共訳)『死海文書 VI 聖書の再話1』(ぶねうま舎、2018年)	単	2020.07.31	『新約学研究』第48号、日本新約学会	単著/大澤香。pp.79-83。		
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
アイデンティティと「穢れ」: 原始キリスト教会形成プロセスにおける「他者」の受容	日本学術振興会科学研究費助成事業 若手研究			代	1,200千円	2020年度
エコロジカル聖書解釈	2020年度キリスト教と文化研究センター共同研究費			分	260千円 (総額)	2020年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要			
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間			学会役員名			
2017.10-現在			日本基督教学会「若手研究者イニシアティブ」委員会委員			

公開講座				
講座名、講演タイトル	単共 の別	年月	場所	概要
礼拝説教「キリストと共に生きる」	単	2020.09.20	日本基督教団伊丹教会	主日礼拝
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
その他社会活動上特記すべき事項				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		

氏名／所属／職名

塚島 真実 TSUKASHIMA Mami / 総合文化学科 / 専任講師

学位				
博士				
専門分野				
フランス文学・文化				
研究課題				
フランス19世紀における詩と宗教				
教育活動				
担当授業科目(大学)				
フランスの文化・文学(I), 欧米文化特殊研究(II), フランス語(II)(文学・言語), 基礎ゼミ, 専攻ゼミ(I)				
担当授業科目(大学院)				
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など
著書・CD				
学術論文				
学会発表				
その他の研究発表、演奏				
その他の著作、訳書等				
研究助成金の受給状況				
研究タイトル	助成金タイトル、支給元		代分の別	支給額
				支給年度
産官学連携の受給状況				
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要	
社会貢献活動				
学会役員				
就任期間	学会役員名			
2020.04-2021.09	関西フランス語教育研究会運営委員			
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要
学外機関委員等				
就任期間	機関名・委員名・役職名			
その他社会活動上特記すべき事項				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		

備考: 2020.09-2020.12 特別休暇

学位				
学士(音楽)				
専門分野				
声楽				
研究課題				
オペラ, 歌曲, 宗教曲				
教育活動				
担当授業科目(大学)				
声楽Major(I), 声楽Major(II), 声楽Major(IV), 声楽Minor(II), 声楽Second Major(I), 声楽アンサンブル, 伴奏実習(II), オペラ実習				
担当授業科目(大学院)				
演奏芸術特論 I, 演奏芸術特論 II, 声楽実技 II				
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など
著書・CD				
学術論文				
学会発表				
演奏会・発表会				
2020テアトロトリニタリオ バレエ×オペラ×オーケストラ オペラ「カルメン」より抜粋 ドン・ホセ役	共	2020.09.22	フェニーチェ堺 大ホール	主催/堺シティオペラ(一社)、野間バレエ団、(公社)大阪交響楽団。管弦楽/大阪交響楽団。指揮/柴田真郁。共演/福原寿美枝、水野智絵、榎貴志他。
関西プレスクラブ 秋季会員交流会	共	2020.10.15	常翔ホール	主催/関西プレスクラブ。共演/小柳るみ、内藤里美。曲/禁じられた音楽、誰も寝てはならぬ、乾杯、他。
オペラdeイオンモール	共	2020.10.24	イオンモール四條畷3Fイオンホール	主催/イオンモール、藤原歌劇団。共演/石塚幸子、チョウ・ヒョンミン、平野雅世。曲/初恋、女心の歌、他。
ヴォーカル フェニックス コンサート	共	2020.10.25	グリンデルホール	主催/神河町、神河町教育委員会、公益社団法人 兵庫県芸術文化協会。共演/坂本恵子、水澤節子、田中潤子、荒田祐子、小川哲生。曲/「蝶々夫人」「椿姫」「カルメン」より抜粋。
神戸女学院大学音楽学部定期演奏会 ヘンデル:オラトリオ「メサイヤ」 テノールソロ	共	2020.11.25	兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール	主催/神戸女学院大学音楽学部。指揮/松浦修。管弦楽/神戸女学院大学管弦楽団。共演/斎藤言子、古田昌子、萩原寛明。
帝国ホテルの音楽會 ～チャリティーコンサート～ New Year Gala 2021 ～オペラ歌手と寿ぐ新春～	共	2021.01.03	帝国ホテル大阪 八重の間	主催/帝国ホテル。共演/矢崎真理、尾碓比佐子、西原綾子。
フェニーチェ堺文化講座 ～オペラシリーズ～ 第1回 オペラ「ラ・ボエーム」 ハイライト上演 ロドルフォ役	共	2021.01.17	フェニーチェ堺 大スタジオ	主催/フェニーチェ堺。解説・演出/河原廣之。共演/平野雅世、大岡美佐、榎貴志、梁川夏子。
令和2年度 咲くやこの花賞 贈呈式	共	2021.02.18	大阪市中央公会堂1F大集会室	主催/咲くやこの花賞受賞者等支援事業実行委員会。共演/関口康祐。曲/女心の歌、踊り、誰も寝てはならぬ、他。
作曲・編曲・振付				
その他の研究発表、演奏				
その他の著作、訳書等				

研究助成金の受給状況					
研究タイトル	助成金タイトル、支給元		代分の別	支給額	支給年度
産官学連携の受給状況					
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要			
社会貢献活動					
学会役員					
就任期間	学会役員名				
公開講座					
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要	
公開レッスンでの指導					
コンクール等の審査					
第12回東京国際声楽コンクール	共	2020.08.23	灘区民ホール マリーホール	主催/一般社団法人東京国際芸術協会。	
The14th ベーテン音楽コンクール 録画審査	共	2020.11.08	自宅	主催/ベーテン音楽協会。	
第49回堺新人演奏会	共	2021.02.11	フェニーチェ堺 小ホール	主催/公益財団法人堺文化振興財団。	
学外機関委員等					
就任期間	機関名・委員名・役職名				
その他社会活動上特記すべき事項					
海外での活動					
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること					
期間	国名	概要			

氏名/所属/職名

なかにし あかね NAKANISHI Akane / 音楽学科 / 教授

学位						
Ph.D						
専門分野						
作曲, 歌曲伴奏						
研究課題						
ことばと音楽, イギリス歌曲						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
和声学(I), 和声学(II), 和声学(III), 和声学(IV), 対位法(I), 対位法(II), 楽式論, 楽曲研究(近代), 作曲Second Major(II)						
担当授業科目(大学院)						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
教育芸術社高校生音楽2教科書「MOUSA2」		2013-		「秋のあじさい」(星野富弘詩・なかにしあかね曲)継続掲載。		
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前、担当頁など		
著書・CD						
楽譜「こどもの発表会・コンクール用ピアノ曲集小鳥のハミング」	共	2020.05.01	カワイ出版	共著/なかにしあかね、森山智宏、安倍美穂、喜久邦博、鈴木豊乃。		
楽譜「二番目に言いたいこと」	単	2020.06.01	カワイ出版	単著/なかにしあかね。		
楽譜「冬の枝」	単	2020.08.01	カワイ出版	単著/なかにしあかね。		
楽譜「イギリス歌曲シリーズ4 Weep you no more」	共	2020.11.01	カワイ出版	共著/なかにしあかね、辻裕久。		
CD「イギリス愛唱歌集The Water is Wide」	共	2020.12.07	コジマ録音	共著/辻裕久、なかにしあかね。		
楽譜「ぶどう」	単	2020.12.15	カワイ出版	単著/なかにしあかね。		
学術論文						
学会発表						
演奏会・発表会						
第24回英国歌曲展Plus『愛と夢』	共	2020.10.29	豊洲シビックセンターホール	主催/Sound International Japan.		
関西歌曲研究会 日本歌曲の流れ～なかにしあかねを歌う～	共	2020.11.20	ドーンセンターホール	主催/関西歌曲研究会。		
(作品展、リサイタル等のみ。)						
作曲・編曲・振付						
御坊少年少女合唱団第40回定期演奏会	単	2020.08.10	御坊市民文化会館	合唱物語「ディックとねこ」初演		
第24回英国歌曲展Plus『愛と夢』	共	2020.10.29	豊洲シビックセンターホール	ブラウニング夫妻の詩による歌曲集『My Star』初演		
緑ブラウエンコール第12回演奏会	単	2020.12.10	大和市文化創造拠点シリウス やまと芸術文化ホール	合唱組曲「ケルトの祈り」初演		
はまゆうコーラス創立50周年記念演奏会	単	2021.03.07	メディキット宮崎県民文化センター	「花満ちる季節に」初演		
(初演のみ。作品再演は含まず)						
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
「富弘さんのことばの包容力に抱かれて」	単	2021.03	星野富弘美術館30周年記念季刊誌	再掲(2011)		
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度

産官学連携の受給状況				
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要	
社会貢献活動				
学会役員				
就任期間		学会役員名		
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要
西宮市合唱連盟合唱講習会	単	2021.01.30	なるお文化ホール(動画)	主催/西宮市合唱連盟。動画配信講演会に変更。
公開レッスンでの指導				
関西歌曲研究会ゼミナール	単	2020.10.18	国際楽器社	内容/なかにしあかね作品の公開講座。主催/関西歌曲研究会。
コンクール等の審査				
東京都シルバーコーラスフェスティバル講師	単	2020.10.04	浜離宮朝日ホール	主催/東京都合唱連盟
横浜コーラルフェスト講師	単	2020.12.06	横浜みなとみらい大ホール	主催/横浜市・神奈川県合唱連盟
千葉県アンサンブルンテスト審査員	単	2020.01.17 ,01.24	千葉市民文化ホール	主催/千葉県合唱連盟
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
2020.04-2021.03		全日本合唱連盟理事		
その他社会活動上特記すべき事項				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		

氏名／所属／職名

佐々 由佳里 SASSA Yukari / 音楽学科 / 教授

学位						
芸術学士, Magister der Künste						
専門分野						
ピアノ						
研究課題						
音色とタッチの関わりについて, 室内楽(ピアノトリオ・ピアノを含む室内楽作品)						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
ピアノMajor(I), ピアノMajor(II), ピアノMajor(IV), 室内楽(I), 室内楽(II)						
担当授業科目(大学院)						
器楽実技 I, 器楽実技 II						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
室内楽の愉しみ(室内楽クラス発表会)開催		2020.09.24	室内楽授業履修学生			
室内楽の愉しみ(室内楽クラス発表会)開催		2021.02.17	室内楽授業履修学生			
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
演奏会・発表会						
作曲・編曲・振付						
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要				
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間	学会役員名					
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
公開レッスンでの指導						
コンクール等の審査						
第5回ヤマハジュニアコンクール(Web審査)	単	2020.04		ヤマハミュージックジャパン		
第49回堺新人演奏会(予選)	共	2020.08.22	フェニーチェ堺	堺市文化振興財団		
いずみの森フレッシュガラコンサート	共	2020.11.28	いずみの森ホール 泉佐野市文化振興財団	泉佐野市文化振興財団		
第49回堺新人演奏会(本選)	共	2021.02.11	フェニーチェ堺	堺市文化振興財団		
マドカプレミアムフレッシュ(審査)	共	2021.03.06	岸和田市立マドカホール	岸和田文化事業協会		

学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
2020.05-2021.03		(公財)日本ピアノ教育連盟 関西主部 副支部長		
2020.04-2021.03		岸和田文化事業協会・理事		
その他社会活動上特記すべき事項				
佐々由佳里	ピアノアドヴァイスレッスン	2020.06.28	対象:小学生～社会人	ヤマハ学園前センター、主催:コウキ商事
佐々由佳里	ピアノアドヴァイスレッスン	2020.07.26	対象:小学生～社会人	ヤマハ学園前センター、主催:コウキ商事
佐々由佳里	ピアノアドヴァイスレッスン	2020.08.23	対象:小学生～社会人	ヤマハ学園前センター、主催:コウキ商事
佐々由佳里	ピアノアドヴァイスレッスン	2020.09.13	対象:小学生～社会人	ヤマハ学園前センター、主催:コウキ商事
佐々由佳里	ピアノアドヴァイスレッスン	2020.10.11	対象:小学生～社会人	ヤマハ学園前センター、主催:コウキ商事
佐々由佳里	ピアノアドヴァイスレッスン	2020.11.22	対象:小学生～社会人	ヤマハ学園前センター、主催:コウキ商事
佐々由佳里	ピアノアドヴァイスレッスン	2020.12.20	対象:小学生～社会人	ヤマハ学園前センター、主催:コウキ商事
佐々由佳里	ピアノアドヴァイスレッスン	2021.01.17	対象:小学生～社会人	ヤマハ学園前センター、主催:コウキ商事
佐々由佳里	ピアノアドヴァイスレッスン	2021.02.21	対象:小学生～社会人	ヤマハ学園前センター、主催:コウキ商事
佐々由佳里	ピアノアドヴァイスレッスン	2021.03.20	対象:小学生～社会人	ヤマハ学園前センター、主催:コウキ商事
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		
2020.11.18	オーストリア	インターネット会議システムを使って、モーツァルテウム音楽大学ブラッグ教授のピアノレッスンを実施(国内で作業)		
2020.12.01,15,22	イタリア	Zoomを使って、ペクテレフ先生のピアノ特別レッスンを実施(国内で作業)		
2021.01.20	オーストリア	インターネット会議システムを使って、モーツァルテウム音楽大学ブラッグ教授のピアノレッスンを実施(国内で作業)		
2021.01.12,19,20,26,02.02	イタリア	Zoomを使って、ペクテレフ先生のピアノ特別レッスンを実施(国内で作業)		

氏名／所属／職名

島崎 徹 SHIMAZAKI Toru / 音楽学科 / 教授

学位						
専門分野						
舞踊						
研究課題						
振り付け, 演出						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
アナライズクラス(I), アナライズクラス(II), アナライズクラス(III), アナライズクラス(IV), 舞踊レパートリークラス(III), 舞踊レパートリークラス(IV), ソロリサイタル(舞踊), 卒業公演						
担当授業科目(大学院)						
その他教育活動上特記すべき事項						
年月						
対象者						
概要						
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
演奏会・発表会						
作曲・編曲・振付						
舞踊専攻第12回卒業公演 演出・振付	単	2021.01.15	兵庫県立芸術文化センター	Zero Body, Absence of Story, Blood and Steel		
舞踊専攻第15回公演 演出・振付	単	2021.03.10, 03.11	豊中市立文化芸術センター 大ホール	Here We Are!, Blood and Steel, tears tears, The Last Place		
L'espoir de ballet 第9回発表会 演出・振付	共	2021.03.27	可見市文化創造センター	アンデスの空へ		
その他の研究発表、演奏						
ミュージック・コミュニケーション講座(Zoom)	単	2020.06.26	神戸女学院大学エミリー・ブラウン記念館	「体は喋る」		
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項						
年月						
概要						
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間	学会役員名					
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		

公開レッスンでの指導				
Dream Come True 公開レッスン	単	2020.08.14 -16	チャイコフスキー記念京 都舞音バレエ / バレエス タジオ舞音	コンテンポラリーダンスレッスン
コンクール等の審査				
Japan Grand Prix International Ballet Competition	共	2020.08.18 -22	新宿文化センター	主催/Japan Grand Prix
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
その他社会活動上特記すべき事項				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		

学位						
芸術学士						
専門分野						
ピアノ						
研究課題						
ピアノ音楽と、その指導について						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
ピアノMajor(I), ピアノMajor(II), ピアノMajor(IV), ピアノ重奏 I						
担当授業科目(大学院)						
器楽実技 I, 器楽実技 II, 指導法研究 A, 指導法研究 B						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
CD「田中修二協奏曲のタペ」	単	2020.08.01	オフィス・ラゲル	ラフマニノフ、チャイコフスキーの協奏曲		
学術論文						
学会発表						
演奏会・発表会						
作曲・編曲・振付						
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
エッセイ「ピープル」	単	2020.06.30	『大阪保健医雑誌』7月号、大阪保健医協会	pp.1 巻頭エッセイ		
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要			
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間	学会役員名					
-現在	全日本ピアノ教育連盟運営委員					
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
公開レッスンでの指導						
コンクール等の審査						
ヤマハジュニアコンクール県大会審査	共	2020.06.30	WEB審査	主催/ヤマハミュージックジャパン。		
全日本学生音楽コンクール予選審査	共	2020.09.12,13,18,19,20,21	大阪フェニックスホール	主催/毎日新聞社事業部。		
ブルグミュラーコンクール審査	共	2020.12.05	神戸市産業振興センター	主催/ブルグミュラーコンクール実行委員会。		

ベートンコンクール本選審査	共	2020.12.27	福山芸術文化ホール	主催/ベートン音楽コンクール。
ヤマハジュニアコンクール一次選考	共	2021.03.31	映像審査	主催/ヤマハミュージックジャパン。
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
その他社会活動上特記すべき事項				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		

氏名/所属/職名

津上 智実 TSUGAMI Motomi / 音楽学科 / 教授

学位				
教育学士, 芸術学修士				
専門分野				
音楽学				
研究課題				
ソプラノ歌手永井郁子(1893-1983)の再評価, 初期神戸女学院の音楽教育, 社会における音楽の役割				
教育活動				
担当授業科目(大学)				
初期神戸女学院, 音楽史(I)(諸民族の音楽を含む), ミュージック・コミュニケーション講座, 音楽によるアウトリーチ(講義), 音楽によるアウトリーチ(実習)				
担当授業科目(大学院)				
副論文制作 I, 副論文制作 II				
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前、曲名、担当頁など
著書・CD				
『C. B. デフォレスト書簡の解説(VI) (1932-1937) アメリカン・ボード宣教師文書より』	共	2021.01.31	神戸女学院大学「宣教師文書」研究会	編集および共著/中野敬一、白井由美子。
学術論文				
「永井郁子と宮城道雄：共演の実態と意義」	単	2020.06.20	神戸女学院大学研究所『神戸女学院大学論集』67巻1号	pp.97-114。
「ヘンデルのオラトリオ《メサイア》：神戸女学院における演奏史(序説)」	単	2020.12.20	神戸女学院大学研究所『神戸女学院大学論集』67巻2号	pp.31-47。
「今年度の調査と1932-1937年のデフォレスト書簡に見る音楽教育」	単	2021.01.31	神戸女学院大学「宣教師文書」研究会	pp.26-31。
「音楽的化粧水レートソプラと永井郁子～1929年秋の演奏旅行を考える」	単	2021.03.20	女性学インスティテュート『女性学評論』第35号	pp.39-62。
学会発表				
演奏会・発表会				
「子どものためのスペシャル・コンサート」(子どものためのコンサート・シリーズ第56回)	共	2020.10.17	西宮市甲東ホール	主催/神戸女学院大学音楽学部。
「子どものためのクリスマス・コンサート」(子どものためのコンサート・シリーズ第57回)	共	2020.12.12	神戸女学院講堂	主催/神戸女学院大学音楽学部。
「子どものためのスプリング・コンサート」(子どものためのコンサート・シリーズ第58回)	共	2021.03.06	西宮市フレンテ・ホール	主催/神戸女学院大学音楽学部。
作曲・編曲・振付				
その他の研究発表、演奏				
その他の著作、訳書等				
今後の活動	単	2020.09.20	『アウトリーチ通信』第36	p.3。
子どものためのスペシャル・コンサート	単	2021.03.20	『アウトリーチ通信』第37	pp.1-2。
「ミュージック・コミュニケーション講座」に大友直人氏(指揮者)が講師として来訪	単	2021.03.20	『学報』第191号	
研究助成金の受給状況				
研究タイトル		助成金タイトル、支給元		代分の別
		支給額	支給年度	
もう一つの日本近代音楽史～大正・昭和初期の女性音楽家の創造的演奏活動を再評価する		日本学術振興会研究費補助金基盤研究(C)	代	400千円
宣教師文書の解説と解明～1930年代半ばのデフォレスト文書を中心に		神戸女学院大学研究所 総合研究助成	代	1,491千円

ヘンデルのオラトリオ《メサイア》の演奏史(その2)		神戸女学院大学研究所 研究助成		代	296千円 (総額)	2020年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要			
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間		学会役員名				
2020.04-2021.03		日本音楽学会機関誌編集委員				
公開講座						
講座名、講演タイトル		単共 の別	年月	場所	概要	
公開レッスンでの指導						
コンクール等の審査						
学外機関委員等						
就任期間		機関名・委員名・役職名				
2020.04-2021.03		文化庁芸術選奨推薦委員				
2020.04-2021.03		文化庁芸術祭執行委員会審査委員				
2020.04-2021.03		文化庁文化芸術による子供育成総合事業企画委員				
その他社会活動上特記すべき事項						
海外での活動						
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること						
期間	国名	概要				

氏名/所属/職名

古田 昌子 FURUTA Masako / 音楽学科 / 准教授

学位						
芸術学士, KonzertreifeDiplom, Diplom der Konzertreife als Opernsängerin						
専門分野						
声楽						
研究課題						
オペラ, 芸術歌曲						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
声楽アンサンブル, 宗教曲, 声楽Minor(I), 声楽Minor(II), リサイタル(I), リサイタル(II), リサイタル(III)						
担当授業科目(大学院)						
演奏芸術特論 I, 演奏芸術特論 II, 声楽実技 II						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
演奏会・発表会						
神戸女学院大学音楽学部定期演奏会「メサイア」	共	2020.11.25	兵庫県立芸術文化センターKOBELCO大ホール	主催/神戸女学院大学音楽学部。		
オールスター紅白オペラ歌合戦2020	共	2020.12.27	ザ・シンフォニーホール	主催/The Symphony Hall, 共演/大阪交響楽団、栗辻 聡、斉藤言子、他。曲目/歌劇「カルメン」よりハバネラ。		
作曲・編曲・振付						
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
新任のことば	共	2020.07.27	神戸女学院学報189号			
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要				
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間			学会役員名			
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
公開レッスンでの指導						
コンクール等の審査						
コンクール審査:第21回大阪国際音楽コンクール	共	2020.10.04	ムラマツリサイタルホール	主催/大阪国際音楽振興会		
コンクール審査:第14回ベーテン音楽コンクール	共	2020.11.11	動画審査	主催/ベーテン音楽協会		

コンクール審査:第13回フレッシュプレミアム コンサート	共	2021.03.06	岸和田市立文化会館マド カホール	主催/岸和田文化事業協会
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
その他社会活動上特記すべき事項				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		

学位				
B.Mus Honours, ARCM				
専門分野				
Flute Performance, Orchesterstr Training, Chamber Music and Music Analysis				
研究課題				
Flute Solo, Chamber Music and Orchestral repetiore				
教育活動				
担当授業科目(大学)				
管打合奏(I), 管打合奏(II), 管打合奏(III), 管打合奏(IV), 管楽器Major(I), 管楽器Major(II), 管楽器Major(IV), 器楽Minor(フルート)(III), 室内楽(I), 室内楽(II), 伴奏実習(II), 伴奏実習(IV)				
担当授業科目(大学院)				
演奏芸術特論, 演奏芸術特論 II				
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要
Muramatsu Flute Magazine Spring 2021/Volume 151.		2021.03.18		“My Curriculum” Essay on practice methods and techniques for flute studnets. Focused on my research material and practice philosophy.
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など
著書・CD				
The Journey of the Flute Sonata	単	2021.02.24	Camerata Records Tokyo	Kei Tojo - Viola, Mai Fukui - Harp, Ami Inoi - Guitar, Tomoya Okamoto - Piano. 1 - C. Debussy; Trio for Flute Viola and Harp L.145. 2 - S. Karg-Elert; Sonata Apassionata for Solo flute Op.140. 3 - C.P.E Bach; Sonata for Solo Flute in a-moll Wq. 132. 4 - E.Rautavaara; Sonata for Flute and Guitar. 5 - S.Prokofiev; Sonata for Flute and Piano in D- Dur Op.94.
学術論文				
学会発表				
演奏会・発表会				
アンサンブル神戸第69回特別演奏会	共	2020.10.23	神戸国際会館こくさいホール	Ensemble Kobe - Tadahiro Yano Conductor. Brahms: Pino Concerto No.2 Op.83. Brahms: Double concerto for Violin and Cello op.102.
Wiener Philharmoniker Concert in Kawasaki	共	2020.11.08	MUZA Kawasaki Symphony Hall	Wiener Philharmoniker: Valery Gergiev: Tschaikowsky: Symphonie Nr. 6 in h-Moll, Op.74, „Pathétique”
Wiener Philharmoniker Suntory Hall Week	共	2020.11.09	The Suntory Hall, Tokyo	Wiener Philharmoniker: Valery Gergiev: Tschaikowsky: Variationen über ein Rokoko-Thema für Violoncello, op. 33 Prokofieff: Konzert für Klavier Nr. 2 in g-Moll, op. 16 Strawinsky: „L’ Oiseau de feu “ („Der Feuervogel“) (Ballett-Fassung, 1910)
Wiener Philharmoniker Suntory Hall Week	共	2020.11.12	The Suntory Hall, Tokyo	Wiener Philharmoniker: Valery Gergiev: Debussy: Prélude à l’ après-midi d’ un faune Debussy: La Mer. Trois Esquisses symphoniques. Strawinsky: „L’ Oiseau de feu “ („Der Feuervogel“) (Ballett-Fassung, 1910)
Wiener Philharmoniker Japan Tour schools Concert	共	2020.11.13	The Suntory Hall, Tokyo	Wiener Philharmoniker: Valery Gergiev: R. Strauss: Ein Heldenleben, op. 40

Wiener Philharmoniker Suntory Hall Week	共	2020.11.13	The Suntory Hall, Tokyo	Wiener Philharmoniker: Valery Gergiev: Beethoven: Ouverture zu „Coriolan », op. 62. Tchaikowsky: Variationen über ein Rokoko-Thema für Violoncello, op. 33. R. Strauss: Ein Heldenleben, op. 40
Wiener Philharmoniker Suntory Hall Week	共	2020.11.14	The Suntory Hall, Tokyo	Wiener Philharmoniker: Valery Gergiev: Debussy: Prélude à l'après-midi d'un faune Debussy: La Mer. Trois Esquisses symphoniques. Strawinsky: „L'Oiseau de feu“ („Der Feuervogel“) (Ballett-Fassung, 1910)
アンサンブル神戸第20回特別演奏会	共	2021.01.23	神戸国際会館こくさいホール	Ensemble Kobe – Tadahiro Yano Conductor. Beethoven: Ouverture zu „Coriolan. Beethoven: Piano Concerto No. 5 Op.73 “the Emperor. Beethoven: symphony No.8 in F-Dur Op. 93.
動画で楽しむクラシックコンサート	共	2021.01.30	大江能楽堂	Maki Kinoshita – Violin. Yusuke Kinoshita – Viola Hibiki Sato – Cello. Debussy: syrx for solo flute. Takemitsu: Voice for solo Flute. Mozart: flute Quartet in C-Dur K. 285 (B).
アンサンブル神戸第65回特別演奏会	共	2021.02.11	神戸国際会館こくさいホール	Ensemble Kobe – Tadahiro Yano Conductor. J.S BachT he St Matthew Passion, BWV 244
Classic X Nogakudo Recital Concert	共	2021.03.28	大江能楽堂	Maki Kinoshita – Violin. Yusuke Kinoshita – Viola Hibiki Sato – Cello. Debussy: Syrx for solo flute. Schubert: Trio D.471 Mozart: Flute Quartet in D-Dur K. 285.
作曲・編曲・振付				
その他の研究発表、演奏				
その他の著作、訳書等				
“My Curriculum” Essay on practice methods and techniques for flute students. Focused on my research material and practice philosophy.	共	2021.03.18	Muramatsu Flute Magazine Spring 2021/Volume 151.	Xavier Luck: pp.8-10.
研究助成金の受給状況				
研究タイトル			助成金タイトル、支給元	代分の別
				支給額
				支給年度
産官学連携の受給状況				
その他研究活動上特記すべき事項	年月		概要	
社会貢献活動				
学会役員				
就任期間			学会役員名	
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要
公開レッスンでの指導				
コンクール等の審査				
第74全日本学生音コン 大阪大会予選	共	2020.09.22-23	ザ・フェニックスホール 大阪	毎日新聞社。
第73全日本学生音コン 大阪大会本選	共	2020.10.19	ザ・フェニックスホール 大阪	毎日新聞社。
第6回堺管打楽器コンクール【本選】	共	2020.11.23	堺市立西文化会館ウエスティホール	堺管打楽器コンクール実行委員会。後援/堺市。

学外機関委員等		
就任期間		機関名・委員名・役職名
その他社会活動上特記すべき事項		
海外での活動		
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること		
期間	国名	概要

学位			
学士(教育学), M.Mus. P.G.Dop., 修士(音楽)			
専門分野			
指揮, 音楽教育			
研究課題			
オーケストラ作品の演奏表現の追求, オペラ及び合唱作品の音楽表現の追求, オーケストラの指導法研究, 教員養成における実践的指導力育成に向けた授業開発, コミュニケーションの活性化による音楽の授業づくり			
教育活動			
担当授業科目(大学)			
音楽科教育法 I, 音楽科教育法 II, 音楽科教育法 III, 音楽科教育法 IV, オーケストラ(I), オーケストラ(II), オーケストラ(III), オーケストラ(IV), 演奏・指揮演習, 指揮法, 合唱(III), 合唱(IV), 教職実践演習(中・高), 教育実習 I, 教育実習 II			
担当授業科目(大学院)			
演奏芸術特論 I, 演奏芸術特論 II, ウインド・オーケストラ特別実習 I			
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要
教職課程オリエンテーション	2020年度	音楽学科教職課程履修学生	教職課程オリエンテーションの学科別ガイドランスで、教職課程履修上の注意点、教員採用試験の動向と実状、について等をオンラインで指導した。
音楽科教育法 I(教育方法の工夫)	2020.04-2020.07	音楽学科3年生教職課程履修学生	レジュメに対応したPowerPoint資料を作成。映像資料、要点化された図表の視覚認識により、理解の定着を図った。獲得した知識を活用した演習、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等を導入し、学習者の主体的、対話的な深い学びの獲得に向け、教育方法の工夫を行った。
音楽科教育法 I(琴を用いた実習)	2020.07	音楽学科3年生教職課程履修学生	琴を用いた器楽実習を行い、楽器の扱い方、読譜、奏法についての指導を行った。テキストや映像資料の視聴では得られない技能習得を獲得した。
音楽科教育法 II・IV(個々の学生へのケア)	2020.09-2021.01	音楽学科3年生教職課程履修学生	次年度教育実習に向け、学生1人あたり2回の模擬授業を実施した。事前指導として、教材研究、授業計画立案、学習指導案作成の指導を個別に実施。事後指導で授業の振り返りを個別に実施。個々の学生の実態と課題に寄り添った指導を行った。
指揮法(個々の学生へのケア)	2020.09-2021.01	音楽学科3年次学生のうち受講学生	10名程度の履修学生による集団授業において、1人8分程度の持ち時間内で、順次、単独指揮を行う形態を取り入れた。個々の学生が各々持つ表現欲求を尊重し、技能課題も個々に寄り添った指導を行った。
OG教員による特別講義	2020.12.15 2020.12.22	音楽学科4年生教職課程履修学生	教職実践演習の授業内でOGの現職教諭2名をお招きし、教育現場の実態についての特別講義を実施した。
教員採用試験の受験指導	2020.04-2020.08	音楽学科4年生学生のうち教員採用試験受験志望学生	教員採用試験を受験する学生に対し、準備指導、専門教養、面接、小論文、実技テスト、模擬授業についての指導を個別に行った。
教職志望学生の就職指導	2020.04-2021.03	音楽学科4年生学生のうち教職志望学生4名	教職志望学生に対して、講師登録の方法、私学求人情報の集め方、専門教養、面接、小論文、模擬授業について等を個別に指導した。 2020年度教職志望学生4名中就職4名(公立中学校常勤講師4名)。
音楽学部オーケストラの運営	2020.04-2021.03	オーケストラ(I)～(IV)の履修学生	音楽学部オーケストラの教育充実化のため、他の授業担当教員と連携し、演奏研究員、客員奏者、非常勤講師等の演奏者のコーディネートを行った他、予算管理、ホール調整、広報等をマネジメントした。加えて、学生インスペクターを中心とする学生達の運営体制も導入し、指導を行った。

音楽学部ウインドオーケストラの運営	2020.04-2021.03	ウインドオーケストラ(I)～(IV)の履修学生	音楽学部ウインドオーケストラの教育充実のため、他の授業担当教員と連携し、演奏研究員、客員奏者、非常勤講師等の演奏者のコーディネートを行った他、予算管理、ホール調整、広報等をマネジメントした。加えて、学生インスペクターを中心とする学生達の運営体制も導入し、指導を行った。	
(コロナ対策)合唱授業におけるオンライン学習教材の作成と提供	2020.04-2020.11	合唱(I)～(IV)の履修学生	前期授業のオンライン化を受け、ヘンデル作曲「メサイア」全曲のピアノ伴奏を指揮・録音しMoodleにアップロードした。学生たちは、音源を頼りにオンライン学習に取り組んだ。	
(コロナ対策)合唱授業におけるコーラスマスクの開発・使用	2020.05-2020.12	合唱(I)～(IV)の履修学生	卒業生有志の皆様からのご寄付とコーラル(株)の協力により、飛沫を抑制しながら歌唱できるコーラスマスクをオーダーメイドで作成し、合唱授業を履修する全学生に配布した。開発にあたっては、歌唱時の飛沫を防止しながら呼吸がし易いように試作を重ねた。コーラスマスクの使用により合唱の対面授業を持続した。	
(コロナ対策)オーケストラ/ウインドオーケストラ授業における感染防止対策	2020.04-2021.02	オーケストラ(I)～(IV)、ウインドオーケストラ(I)～(IV)の履修学生	管楽器の飛沫対策として、水拭き用の給水シートを使用し、使用後は持ち帰らせた。ソーシャルディスタンスを保てない楽器間にはアクリル板の活用により飛沫防止を行った。授業前の検温、授業前後の手指消毒指導を行い、対面授業の持続に努めた。	
(コロナ対策)教育実習が期間短縮された学生の代替措置指導	2020.05-2020.11	音楽学科4年生教職課程履修学生	教育実習の期間が3週間から2週間に短縮された学生の短縮期間を補う代替措置について、教職センターディレクターおよび教職センター委員会委員と協議し、学生の指導を実施した。	
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など
著書・CD				
学術論文				
学会発表				
演奏会・発表会				
神戸女学院大学音楽学部ウインドオーケストラCD出版録音①	共	2020.09.21	神戸女学院大学音楽館ホール	曲目/ヤン・ヴァン・デル・ロースト「アルセナール」他。
神戸女学院大学音楽学部第27回サマーコンサート	共	2020.09.25	豊中市立芸術文化センター大ホール	曲目/ラフマニノフ「交響曲第2番」他。
八幡市民オーケストラ第55回定期演奏会	共	2020.10.25	八幡市文化センター大ホール	曲目/ワーグナー「タンホイザー序曲」、R.シュトラウス「交響詩ドン・ファン」、ベートーヴェン「交響曲第3番」他。
神戸女学院大学音楽学部ウインドオーケストラCD出版録音②	共	2020.11.19	神戸女学院大学音楽館ホール	曲目/スパーク「ガーディアンズ・オブ・ザ・ウェイブズ」他。
神戸女学院大学音楽学部定期演奏会	共	2020.11.25	兵庫県立芸術文化センターKOBELCO大ホール	曲目/ヘンデル「メサイア」。
「エレガノー西宮」クリスマススペシャルコンサート	共	2020.12.19	エレガノー西宮	曲目/ヴィヴァルディ「四季」より「春」「冬」、クリスマスキャロル他。
作曲・編曲・振付				
「エレガノー西宮」クリスマススペシャルコンサート	共	2020.12.19	エレガノー西宮	曲名/「きよしこの夜」「もろびとこぞりて」「いそぎ来たれ、主にある民」「まきびと羊を」弦楽合奏版編曲。

その他の研究発表、演奏				
神戸女学院大学クリスマス礼拝	共	2020.12.18	神戸女学院講堂	曲名/賛美歌「きよしこの夜」「もとびとこぞりて」、ラター「ともしびのキャロル」、デイビス「世界中でいちばん素敵なお誕生日」、他。
その他の著作、訳書等				
研究助成金の受給状況				
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別
				支給額
				支給年度
産官学連携の受給状況				
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要		
社会貢献活動				
学会役員				
就任期間	学会役員名			
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要
公開レッスンでの指導				
コンクール等の審査				
学外機関委員等				
就任期間	機関名・委員名・役職名			
その他社会活動上特記すべき事項				
2020.04-現在 スミリンケアライフ(株)との産学連携協定に基づく高齢者入居施設に於ける音楽プログラムのコーディネーター。				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		

氏名／所属／職名

岡田 将 OKADA Masaru/ 音楽学科 / 准教授

学位				
Konzert Diplom				
専門分野				
ピアノ				
研究課題				
ピアノ実技と演奏法				
教育活動				
担当授業科目(大学)				
ピアノMajor(I), ピアノMajor(III), ピアノMajor(IV), ピアノMinor(II), ピアノMinor(III), ピアノ重奏 I, ピアノSecond Major(I)				
担当授業科目(大学院)				
器楽実技 I, 器楽実技 II, 室内楽特別実習 I, 室内楽特別実習 II				
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など
著書・CD				
CD「ピアノ三重奏曲集 Ravel,Kodály &Rachmaninov」	共	2020.12.23	オクタヴィア・レコード	共演/西江辰郎、富岡廉太郎。
学術論文				
学会発表				
演奏会・発表会				
岡田将と上位入賞者による記念演奏会	共	2020.08.16	イヅカコスモスコモン	主催/九州・山口音楽協会。
ランチタイム・コンサートvol.10 華麗とエレガンスとポエジー —— ロマン派ピアノ曲の精髓を味わう	単	2020.09.02	住友生命いずみホール	主催/住友生命いずみホール。
大阪交響楽団 第113回名曲コンサート	共	2020.09.26	ザ・シンフォニーホール	共演/大阪交響楽団。共演/太田弦、大阪交響楽団。
岡田将ピアノコンサート	単	2020.10.04	奈良市西部会館市民ホール(学園前ホール)	主催/奈良市西部会館市民ホール(学園前ホール)。
2020.11.14 ヴァイオリニスト正戸里佳シリーズ ベートーヴェンと珠玉のヴァイオリン名曲選「正戸里佳&岡田将 デュオ・リサイタル」	共	2020.11.14	コジマホールディングス西区民文化センターホール	主催/広島市西区民文化センター。共演/正戸里佳。
ベートーヴェン生誕250周年記念 岡田将のベートーヴェン!	単	2020.11.27	トッパンホール	主催/コンサートイマジン。
ベートーヴェン生誕 250 年記念 NCB 音楽祭 2020～聖夜 クリスマスにベートーヴェンはいかが?～	共	2020.12.25	アクロス福岡シンフォニーホール	主催/西日本シティ銀行、公益財団法人福岡文化財団。共演/井崎 正浩、九州交響楽団、南 紫音、ティツィアーナ・ドゥカーティ。
岡田将(ピアノ)の「大公」「巡礼の年 第一年スイス」神戸発 村上春樹文学を彩る2大名曲を一挙に	共	2021.02.14	神戸新聞松方ホール	主催/神戸新聞社、(一財)神戸新聞文化財団。共演/正戸里佳、中木健二。
京都フィルハーモニー室内合奏団 第231回定期公演A 室内オーケストラで聴く大作 vol.2 京都で愛でる情熱物語 Wonderful Regular Concert2021	共	2021.02.23	京都コンサートホール小ホール(アンサンブルホールムラタ)	主催/京都フィルハーモニー室内合奏団。共演/柳澤寿男、福原寿美枝、日詰千栄、京都フィルハーモニー室内合奏団。
岡田将・梅崎秀ジョイントコンサート	共	2021.02.27	北九州市ムーヴ	共演/梅崎秀。
作曲・編曲・振付				
その他の研究発表、演奏				
その他の著作、訳書等				

研究助成金の受給状況					
研究タイトル	助成金タイトル、支給元		代分の別	支給額	支給年度
産官学連携の受給状況					
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要			
社会貢献活動					
学会役員					
就任期間	学会役員名				
公開講座					
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要	
公開レッスンでの指導					
コンクール等の審査					
九州・山口ジュニアピアノコンクール本選会	共	2020.08.09 ,12,13	イイヅカコスモスコモン	主催/九州・山口音楽協会、朝日新聞社。	
ドリカムピアノコンクール本選会	共	2021.02.25 ,26	イイヅカコスモスコモン	主催/九州・山口音楽協会、朝日新聞社。	
学外機関委員等					
就任期間	機関名・委員名・役職名				
その他社会活動上特記すべき事項					
海外での活動					
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること					
期間	国名	概要			

氏名／所属／職名

辻井 淳 TSUJII Jun / 音楽学科 / 准教授

学位						
芸術学士						
専門分野						
ヴァイオリン						
研究課題						
からだと楽器の一体化について、アンサンブルの極意, CD録音						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
弦楽器Major(II), 弦楽器Major(IV), 弦楽合奏(II), 弦楽合奏(IV), 室内楽(I), 室内楽(II)						
担当授業科目(大学院)						
オーケストラ特別実習 I, オーケストラ特別実習 II, 室内楽特別実習 I, 室内楽特別実習 II						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
CD「Poema Autunnale」	共	2020.06.30	Otaken Records	共著者/藤井由美。秋の詩他。		
学術論文						
学会発表						
演奏会・発表会						
作曲・編曲・振付						
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要			
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間		学会役員名				
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
公開レッスンでの指導						
コンクール等の審査						
学外機関委員等						
就任期間		機関名・委員名・役職名				
その他社会活動上特記すべき事項						

海外での活動		
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること		
期間	国名	概要

氏名/所属/職名

稲本 渡 INAMOTO Wataru / 音楽学科 / 専任講師

学位				
Bakk.art.				
専門分野				
ウインドオーケストラ, クラリネット				
研究課題				
ウインドオーケストラ, クラリネットの演奏法, 音楽ビジネス				
教育活動				
担当授業科目(大学)				
クローバーゼミ, ソルフェージュ(I), 器楽Minor(クラリネット)(I), 管打合奏(I), 管打合奏(II), 管打合奏(III), 管打合奏(IV), リサイタル(I), リサイタル(II), リサイタル(III), 楽器論, 器楽史(弦管打), ウインド・オーケストラ(I), ウインド・オーケストラ(II), ウインド・オーケストラ(III), ウインド・オーケストラ(IV)				
担当授業科目(大学院)				
室内楽特別実習 I				
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など
著書・CD				
学術論文				
学会発表				
演奏会・発表会				
神戸市立森林植物園～森のコンサート春～	単	2020.05.03	神戸市立森林植物園	主催/神戸市緑化協会。曲名/春の歌モデレー、メンデルスゾーン「春の歌」他。
神戸市立森林植物園～森のコンサート初夏～	単	2020.06.27	神戸市立森林植物園	主催/神戸市緑化協会。曲名/夏の歌モデレー、モンティ「チャルダッシュ」他。
中川晃教コンサート2020～Message from the Music	共	2020.09.19	よこすか芸術劇場	主催/サモンプロモーション。共演/中川晃教、園田涼、細谷公三香。曲名/君の瞳に恋してる、マイソング他。
中川晃教コンサート2020～Message from the Music	共	2020.09.20	熊谷文化創造館	主催/サモンプロモーション。共演/中川晃教、園田涼、細谷公三香。曲名/君の瞳に恋してる、マイソング他。
中川晃教コンサート2020～Message from the Music	共	2020.09.21	三井住友海上しらかわホール	主催/サモンプロモーション。共演/中川晃教、園田涼、細谷公三香。曲名/君の瞳に恋してる、マイソング他。
中川晃教コンサート2020～Message from the Music	共	2020.09.22	はつかいち文化ホール	主催/サモンプロモーション。共演/中川晃教、園田涼、細谷公三香。曲名/君の瞳に恋してる、マイソング他。
中川晃教コンサート2020～Message from the Music	共	2020.09.26	住友生命いずみホール	主催/サモンプロモーション。共演/中川晃教、園田涼、細谷公三香。曲名/君の瞳に恋してる、マイソング他。
中川晃教コンサート2020～Message from the Music	共	2020.10.03	紀尾井ホール	主催/サモンプロモーション。共演/中川晃教、園田涼、細谷公三香。曲名/君の瞳に恋してる、マイソング他。
中川晃教コンサート2020～Message from the Music	共	2020.10.11	けんしん郡山文化センター	主催/サモンプロモーション。共演/中川晃教、園田涼、細谷公三香。曲名/君の瞳に恋してる、マイソング他。
sound theater X-2	共	2020.11.03,04	兵庫県立芸術文化センター	主催/兵庫県立芸術文化センター。共演/レ・フレール、石川直、RON、他。
丹波の森国際音楽祭～シューベルティアードたんば～	共	2020.11.13	丹波の森公苑ホール	主催/丹波の森国際音楽祭実行委員会。共演/畑義文、老田祐子、他。曲名/岩の上の羊飼ひ、他。
神戸市立森林植物園～森のコンサート秋～	単	2020.11.15	神戸市立森林植物園	主催/神戸市緑化協会。曲名/秋の歌モデレー、バッハ:無伴奏チェロ組曲、他。

おはパソララオーケストラ～クリスマスコンサート	共	2020.12.14	住友生命いずみホール	主催/ABC朝日放送。共演/道上洋三、丸谷明夫、他。曲名/クリスマスドレー、アヴェマリア、他。	
ジブリの思い出がいっぱい～オーケストラコンサート	共	2020.12.19	神戸国際会館	主催/神戸国際会館。共演/井村誠貴、ドリームチェンバーオーケストラ。	
作曲・編曲・振付					
その他の研究発表、演奏					
その他の著作、訳書等					
研究助成金の受給状況					
研究タイトル		助成金タイトル、支給元	代分の別	支給額	支給年度
産官学連携の受給状況					
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要			
社会貢献活動					
学会役員					
就任期間	学会役員名				
公開講座					
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要	
夢舞台！ザ・シンフォニーホールで演奏しよう！	共	2020.08.11-13	ザ・シンフォニーホール	内容/中学生吹奏楽部の指導と演奏。主催/Imura.fun音楽制作事務所。	
クラリネット苦手克服講座	単	2020.09.27	JEUGIA三条本店	内容/中高生の個人レッスンと進路相談。主催/JEUGIA。	
キャリア教育講演会	単	2020.11.16	堺市立赤坂台中学校	内容/講演と演奏。主催/堺市。	
アートスタートプログラム	単	2020.11.26	堺市立みはら大地幼稚園	内容/音楽体験プログラム。主催/堺市文化振興財団。	
クラリネットレッスン&相談会	単	2020.12.06	中川楽器(岡山県)	内容/中高生の個人レッスンと進路相談。主催/中川楽器。	
公開レッスンでの指導					
コンクール等の審査					
コンクール審査:大阪府アンサンブルコンテスト	共	2020.12.26	八尾市文化会館	主催/大阪府吹奏楽連盟。	
コンクール審査:大阪府アンサンブルコンテスト	共	2020.12.27	八尾市文化会館	主催/大阪府吹奏楽連盟。	
コンクール審査:管弦打楽器ソロコンテスト	共	2021.01.31	SAYAKAホール	主催/大阪狭山市吹奏楽連盟。	
学外機関委員等					
就任期間	機関名・委員名・役職名				
2020.04-2021.03	堺市・堺親善アーティスト				
2020.04-2021.03	神戸市立森林植物園・森の親善特派員				
その他社会活動上特記すべき事項					
海外での活動					
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること					
期間	国名	概要			

学位				
学士(音楽), 修士(音楽)				
専門分野				
作曲, 編曲, 吹奏楽指導				
研究課題				
国内外の教育現場における吹奏楽作品の開発と指導法				
教育活動				
担当授業科目(大学)				
ソルフェージュ(I), ソルフェージュ(II), 和声学(I), 和声学(II), D. T. M. 基礎演習, 楽式論, 演奏・指揮演習, ウインド・オーケストラ(I), ウインド・オーケストラ(II), ウインド・オーケストラ(III), ウインド・オーケストラ(IV)				
担当授業科目(大学院)				
その他教育活動上特記すべき事項				
	年月	対象者	概要	
和声学 ソルフェージュ 楽式論	2020年度	音楽学科1、2年生 (他学部履修生を含む)	新型コロナウイルスの影響によってオンライン授業を余儀なくされたことを逆手に取り、KeynoteとYouTubeの機能を駆使して、何度でも繰り返し復習できる教材を作成した。	
ウインド・オーケストラ	2020年度	音楽学科1、2、3、4年生、 大学院生(他学部履修生を含む)	世界最大手音楽出版社Hal Leonardのヨーロッパ支社と本学音楽学部ウインドオーケストラとの提携を仲介し、著名な作曲家たちの新譜を日本初演するプロジェクトを実行(本学公式YouTubeで研究成果を配信中)。授業のために作曲、編曲を行い、指導者としての視点だけでなく、作曲家としての視点でも学生に指導した。また、それらの作品を2021年度発売するCDのためにレコーディングし、学生と共に本学から新しい作品を世界に発信する準備をした(継続中)。	
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など
著書・CD				
令和2年度版『小学生の音楽』(教科書)	共	2020.04.01	教育芸術社	東日本大震災復興シンボル曲「あすという日が」(山本櫻子 詞/八木澤教司 曲)の楽譜(合唱・同声版)が掲載された。
ユーフォニアム協奏曲	単	2020.04.10	Hal Leonard Europe (de haske)	ユーフォニアム奏者の荒木玉緒の委嘱で作曲した吹奏楽曲(2015年)がヨーロッパで出版された。
音楽教育『ヴァン』Vol.43	共	2020.04.15	教育芸術社	教育芸術社の委嘱で編曲した「浜辺の歌」(リコーダー2重奏)の楽譜が掲載された。
モンセラット III	単	2020.04.25	ロケットミュージック	原曲(吹奏楽)を金管バンドに改編した楽譜が国内で出版された。
CD「Viva Osakan !」	共	2020.05.02	ワコーレコード	フィルハーモニック・ウインズ大阪のCDに吹奏楽曲「パーテル・ノステル II」が収録された。
DVD「響絆」	共	2020.05.15	ブレーン株式会社	愛知工業大学名電高等学校吹奏楽部のDVDに吹奏楽曲「エディソンの光～メンロパークの魔術師」「永劫の翼～ジョン・フレミングの法則」が収録された。
ジュエリーズ	単	2020.07.10	ブレーンミュージック	フルートアンサンブルグループ・ギモナスの委嘱で作曲した作品(2019年)の楽譜が国内とアメリカで同時に出版された。

夕暮れの庭	単	2020.09.04	ロケットミュージック	ソロ楽器とピアノのための作品 (2020)。フルート、バスーン、クラリネット、バス・クラリネット、アルト・サクソフォン、トランペット、ユーフォニアムのソロで演奏できる4種類の楽譜が国内で出版された。
CD「The Book of Genesis」 Best Selections for Band	共	2020.09.15	Hal Leonard Europe (de haske)	フルート奏者の中務晴之の委嘱で作曲した吹奏楽曲「そよ風の吹く杜で…」が収録され海外でリリースされた。
春陽の丘	単	2020.12.04	ロケットミュージック	中部大学春日丘高等学校吹奏楽部創部50周年記念・OB会の委嘱で作曲した吹奏楽曲(2017)の楽譜が国内で出版された。
陽のあたる庭	単	2021.01.29	ロケットミュージック	ソロ楽器とピアノのための作品(2017)で、チューバのソロのために改編した楽譜が国内で出版された。
ぬくもりの庭	単	2021.01.29	ロケットミュージック	ソロ楽器とピアノのための作品(2019)で、チューバのソロのために改編した楽譜が国内で出版された。
夕暮れの庭	単	2021.01.29	ロケットミュージック	ソロ楽器とピアノのための作品(2020)で、チューバのソロのために改編した楽譜が国内で出版された。
CD「曙光の波をきって」 八木澤教司作曲家デビュー20周年記念 吹奏楽作品集	単	2021.02.05	ワコーレコード	ワコーレコードの企画により海上自衛隊呉音楽隊の演奏による、同隊委嘱作品をメインとした自作品12曲が収録されたアルバムが出版された。
祝典前奏曲「未来への緑風」(改訂版)	単	2021.02.06	ウインドアート出版	八街市・ウインド・シンフォニア創立10周年記念の委嘱で作曲した原曲(2005年)を改編した吹奏楽曲の楽譜が国内で出版された。
南風が吹いたら	共	2021.02.12	ロケットミュージック	東日本大震災10年目を祈念して制作されたテレビ番組のために作曲した、ソプラノと吹奏楽のための作品(武田あゆみ 詞/八木澤教司 曲)(2020)の楽譜が国内で出版された。
南風が吹いたら	単	2021.02.19	ロケットミュージック	東日本大震災10年目を祈念して制作されたテレビ番組のために作曲した作品(2020)を、ソロ楽器とピアノのために改編し4種類の楽譜が国内で出版された。
手見奈～万葉の美しき娘	単	2021.03.15	ウインドアート出版	国府台女子学院吹奏楽部創部50周年記念のために作曲した吹奏楽曲(2019)の楽譜が国内でレンタル譜としてリリースされた。
学術論文				
学会発表				
演奏会・発表会				
海上自衛隊横須賀音楽隊 日本応援メッセージ第2弾	共	2020.04.01	防衛省 海上自衛隊 公式YouTube	東日本大震災復興応援曲「南風が吹いたら」(武田あゆみ 詞/八木澤教司 曲)が海上自衛隊横須賀音楽隊によってリモート配信された。
東混リモート合唱でやってみた	共	2020.04.15	東京混成合唱団 公式YouTube	東日本大震災復興シンプル曲「あすという日が」(山本櫻子 詞/八木澤教司 曲)が東京混成合唱団によってリモート配信された。
京都府立嵯峨野高等学校吹奏楽部 サマーコンサート	共	2020.08.02	京都市北文化会館	客演指揮者として招かれ自作品「蒼天の鳥たち」「あすという日が」を共演した。

縁奏会2020～絆の証～	共	2020.09.22	京都コンサートホール 大ホール	洛南高等学校吹奏楽部主催。自作品「曙光の波をきって」第1楽章が演奏された。
神戸女学院大学音楽学部 第27回サマーコンサート	共	2020.09.25	豊中市立芸術センター 大ホール	ウインドオーケストラにおいて、自作品「マチュピチュ」を含む3曲の指揮者を務めた。
感謝を伝えるコンサート2020	共	2020.10.24	江戸川総合文化センター 大ホール	修徳高等学校主催。客演指揮者として招かれ自作品「太陽への讃歌―大地の鼓動」を同校吹奏楽部と共演した。
洛南高等学校吹奏楽部 第57回定期演奏会	共	2020.11.02	京都コンサートホール 大ホール	自作品「曙光の波をきって」全3楽章が演奏（関西初演）された。
山形大学吹奏楽団 第40回定期演奏会	共	2020.12.26	山形市民会館	客演指揮者として招かれ自作品「桜桃の実る季節」「マチュピチュ」を共演した。
川口市・アンサンブルリベルテ吹奏楽団 第58回定期演奏会	共	2020.12.27	川口総合文化センター リアメインホール	創団40周年記念委嘱作品「不朽の大樹」が世界初演された。
いちご一会とちぎ国体(第77回国民体育大会) 式典音楽試奏会	共	2021.02.23	わかくさアリーナ	2022年の国体のために作曲・編曲した4作品が作新学院高等学校吹奏楽部によって世界初演された。
神戸女学院大学音楽学部ウインドオーケストラ 新作初演プロジェクト	共	2021.03.01	神戸女学院大学 公式YouTube	指揮者を務めた「オーロラ・ダンス」「エターナル・フレンドシップ」「クアランティン」がリモート配信にて日本初演された。
第32回春の演奏会	共	2021.03.20 2021.03.21	北上市文化交流センター さくらホール	岩手県・北上展勝地開園100周年記念委嘱作品「ゆめみぐさ、まもりて」が専修大学北上高等学校吹奏楽部によって世界初演、岩手県立黒沢尻北高等学校吹奏楽部によって再演された。
作曲・編曲・振付				
しいのみ幼稚園 園歌	共	2020.04.03		学校法人のぞみ学園からの委嘱で園歌（山本璽子 詞）を作曲した。
夕暮れの庭	単	2020.07.28		ソロ楽器とピアノのための作品を作曲した。
スペランツァ	単	2020.07.29		佐藤正人遷厝記念を祝して打楽器アンサンブルを作曲した。
好文学園女子高等学校 校歌	共	2020.09.20		同高校の委嘱により校歌をオーケストラ版に編曲した。
エターナル・フレンドシップ	単	2020.10.06		神戸女学院大学音楽学部ウインドオーケストラのために作曲した。
ストロベリー・マーチ	単	2020.10.15		栃木県からの委嘱で2022年に開催される第77回国民体育大会式典音楽として吹奏楽曲を作曲した。
栃木国体のためのドラムマーチ	単	2020.10.28		栃木県からの委嘱で2022年に開催される第77回国民体育大会式典音楽として打楽器アンサンブルを作曲した。
いちご一会マーチ	共	2020.11.14		栃木県からの委嘱で2022年に開催される第77回国民体育大会式典音楽としてイメージソングを合唱と吹奏楽に編曲した。
不朽の大樹	単	2020.11.14		川口市・アンサンブルリベルテ吹奏楽団創団40周年記念委嘱作品として吹奏楽曲を作曲した。
栃木ゆかりの童謡・野口雨情メドレー	共	2020.11.25		栃木県からの委嘱で2022年に開催される第77回国民体育大会式典音楽として野口雨情作詞による童謡7曲を合唱と吹奏楽のメドレーに編曲した。
Beauty Becomes a College(神戸女学院記念歌)	共	2021.01.04		オルガン伴奏を吹奏楽版に編曲した。
ゆめみぐさ、まもりて	単	2021.01.05		岩手県・北上展勝地開園100周年記念委嘱作品として吹奏楽曲を作曲した。
倉橋学園キラリ高等学校 校歌	共	2021.02.08		倉橋学園からの委嘱で校歌を室内楽に編曲した。

アルタミラ	単	2021.02.25		ブレーン株式会社からの委嘱でフレキシブル・アンサンブルを作曲した。
その他の研究発表、演奏				
海上自衛隊呉音楽隊CD録音	共	2020.08.23 - 2020.08.25	海上自衛隊呉音楽隊演奏室	「モンセラット」他、2作品の指揮者を務めた。
神戸女学院大学音楽学部ウインドオーケストラ 第1回CD録音	共	2020.09.21	神戸女学院大学音楽学部 音楽館ホール	「シュテファン大聖堂のコーラル」「マチュピチュ」の指揮者を務めた。
好文学園女子高等学校校歌録音	共	2020.11.17	大東市立総合文化センター サーティホール	オーケストラの指揮者を務めた。
神戸女学院大学音楽学部ウインドオーケストラ 第2回CD録音	共	2020.11.19	神戸女学院大学音楽学部 音楽館ホール	「オーロラ・ダンス」「エターナル・フレンドシップ」「クアラランティン」の指揮者を務めた。
倉橋学園キラリ高等学校校歌録音	共	2021.03.11	阿倍野区民センター 小ホール	録音・アドバイザーを務めた。
その他の著作、訳書等				
研究助成金の受給状況				
研究タイトル			助成金タイトル、支給元	代分の別
				支給額
				支給年度
産官学連携の受給状況				
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要		
ラジオ石巻「復興へ！午後もやっぱり764」	2020.04.17	ゲスト出演。自作品「南風が吹いたら」が放送された。		
ラジオ石巻「石巻アーカイブプロジェクト」	2020.05.02	ゲスト出演。自作品「南風が吹いたら」が放送された。		
さくらFM「またたびラヂヲ」	2020.05.03	ゲスト出演。自作品「南風が吹いたら」が放送された。		
テレビ埼玉「私たちの震災10年目」	2020.05.16	ドキュメント番組主演。自作品「南風が吹いたら」が放送された。		
Citizen's Band Radio, KMUZ, Oregon	2020.06.06	自作品「あすという日が」が放送された。アメリカ・オレゴン州。		
NHK-FM「ベストオブクラシック選」	2020.06.11	自作品「アゴラ」が放送された。		
NHK「うたコン」私たちに歌がある	2020.07.14 2020.07.19	自作品「あすという日が」が放送された。歌手・夏川りみ。		
Citizen's Band Radio, KMUZ, Oregon	2020.08.15	自作品「トロンボーン協奏曲」が放送された。アメリカ・オレゴン州。		
Citizen's Band Radio, KMUZ, Oregon	2020.08.22	自作品「夜と霧」が放送された。アメリカ・オレゴン州。		
さくらFM「Nishinomiya WIND WAVE」	2020.09.19	ゲスト出演。自作品「夢の華」が放送された。		
NHK-FM「吹奏楽のひびき」	2021.01.10	自作品「古都一四季の彩り」が放送された。		
NHK-FM「歌謡スクランブル」21世紀のメロディ	2021.02.16	自作品「あすという日が」が放送された。歌手・夏川りみ。		
社会貢献活動				
学会役員				
就任期間	学会役員名			
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要
吹奏楽指導者研修会	単	2021.03.14	日高文化体育館	内容/中学・高校生の選抜バンドをモデルに、指導者講習会の講師を務めた。主催/兵庫県吹奏楽連盟。
公開レッスンでの指導				
兵庫県西宮市立大社中学校吹奏楽部公開レッスン	単	2020.10.17	西宮市立大社中学校	曲名/蒼天の鳥たち(八木澤教司)。
オープンキャンパス神戸女学院大学音楽学部模擬授業～アンサンブル	共	2020.12.13	本学音楽学部音楽館ホール	中学・高校生を対象にしたアンサンブルの公開レッスン。

コンクール等の審査				
BAND COMPOSITION CHALLENGE (吹奏楽曲国際作曲コンクールの審査)	共	2020.05.15	リモートによる	主催/Hal Leonard Europe(ベルギー)。
やまぐち高校生2020メモリアル発表会 (コンテスト、フェスティバルの審査・講評)	共	2020.07 - 2020.12	リモートによる	主催/山口県、山口県教育委員会、山口県 高等学校文化連盟。
Thailand World Music Championships (タイ王国吹奏楽コンクールの審査)	共	2020.12.07 - 2020.12.15	リモートによる	主催/Marching Band Association of Thailand.
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
その他社会活動上特記すべき事項				
2020.05.11 読賣新聞(宮城県)東日本大震災被災者へ贈る応援歌を作曲したことが記事になった。				
2020.06.01 河北新聞(東北6県)東日本大震災被災者へ贈る応援歌を作曲したことが記事になった。				
2020.08.21 海上自衛隊呉音楽隊の音楽技術講習会の講師を務めた。				
2020.08.24 読賣新聞(広島県)海上自衛隊呉音楽隊との自作作品集のCDレコーディングについて取材を受け記事になった。				
2020.09.02 武蔵野音楽大学の吹奏楽指導法研究の講義にリモートで出演し講習を行った。				
2020.09.19 尚美ミュージックカレッジ専門学校吹奏楽指導法の講義にリモートで出演し講習を行った。				
2021.02.03 朝日新聞(岩手県)北上展勝地開園100周年記念委嘱作品の作品完成が記事になった。				
2021.03.21 岩手日日新聞(岩手県)北上展勝地開園100周年記念委嘱作品の作曲、世界初演が記事になった。				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		

氏名／所属／職名

石谷 真一 ISHITANI Shinichi / 心理・行動科学科 / 教授

学位					
教育学士, 教育学修士, 博士(教育学)					
専門分野					
臨床心理学					
研究課題					
間主観性の観点から見た乳幼児期の自己形成, 乳幼児期の発達の知見の心理療床場面への応用による面接過程の研究, 発達臨床の視座から見た、環境への想像的認知と関わり					
教育活動					
担当授業科目(大学)					
クローバーゼミ, 心理学入門ゼミ, 臨床心理学と人間, 発達臨床心理学, 臨床心理学概論, 臨床心理学, 演習 IA, 演習 IB, 演習 IIA, 演習 IIB, 卒業研究 A, 卒業研究 B					
担当授業科目(大学院)					
臨床心理基礎実習, 臨床心理実習 I(心理実践実習 II), 臨床心理実習 II, 臨床心理地域実践実習 I(心理実践実習 IV), 臨床心理地域実践実習 III(心理実践実習 VI), 臨床心理学特別研究 I, 臨床心理学特別研究 II, 臨床心理査定演習 I(心理的アセスメントに関する理論と実践), 臨床心理査定演習 II					
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要	
講義科目のオンライン化に伴う教材作成		2020.04-12	本学学生	「心理学入門」「臨床心理学と人間」「臨床心理学概論」「発達臨床心理学」の動画資料の作成とオンラインでの学習システムの開発	
研究活動					
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など	
著書・CD					
学術論文					
「子ども対象メンタライゼーションに基づく治療と親子並行面接」	単	2020.04.01	神戸女学院大学大学院人間科学研究科心理相談室紀要第20号	pp.3-12。	
「様々な戦いに身を投じる小学生男子とのプレイセラピーへのコメント」	単	2021.02.02	天理大学カウンセリングルーム紀要第17号	pp.87-90。	
「臨床的関わりの基本 再考」	単	2021.03.31	神戸女学院大学大学院人間科学研究科ヒューマンサイエンスNo.24	pp.57-67。	
学会発表					
「遊戯療法の実態把握～日米比較」	共	2020.09.23-30	心理臨床学会第39回大会	共同発表/須藤春佳、國吉知子、鶴田英哉、小林哲郎。	
その他の研究発表、演奏					
その他の著作、訳書等					
「メンタライジングによる子どもと親への支援」	共	2021.02.20	北大路書房	上地雄一郎、西村馨監訳、共訳者菊池裕義、渡部京太。担当3章と5章	
研究助成金の受給状況					
研究タイトル	助成金タイトル、支給元		代分の別	支給額	支給年度
産官学連携の受給状況					
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要			
社会貢献活動					
学会役員					
就任期間	学会役員名				

公開講座				
講座名、講演タイトル	単共 の別	年月	場所	概要
メンタライゼーション・ベーシック・トレーニング	共	2021.02.11 -13	オンライン	グループ・ファシリテーター
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
その他社会活動上特記すべき事項				
2020.09-2021.03 尼崎市の私立幼稚園にて月1回の訪問カウンセリング(キンダーカウンセラーとして)				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		

氏名／所属／職名

小林 知博 KOBAYASHI Chihiro / 心理・行動科学科 / 教授

学位						
学士(地域文化), 修士(人間科学), 博士(人間科学)						
専門分野						
社会心理学						
研究課題						
潜在的・顕在的な自己観・健康行動に対する態度と健康行動との関係性に関する研究, 自己呈示尺度の作成, 潜在的・顕在的な自尊心と社会的適応の関係						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
クローバーゼミ, 社会心理学, 社会・集団・家族心理学, 演習 IA, 演習IB, 演習 IIA, 演習 IIB, 卒業研究 A, 卒業研究 B						
担当授業科目(大学院)						
社会心理学特論, 人間行動学演習 II, 人間行動学特別研究 II						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
新しい社会心理学のエッセンス	共	2020.05.15	福村出版	松井豊・宮本聡介(編著) 小林知博・13章担当		
学術論文						
学会発表						
「潜在的ジェンダー職業ステレオタイプに及ぼす要因の検討 ～母親の就労状況と社会経済的状況より～」	単	2020.11.07 -08.	日本社会心理学会 第61 回大会			
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
日本人と中国人の異文化コミュニケーションに関する実験社会心理学的研究	日本学術振興会研究費補助金基盤研究(C)			分	100千円	2020年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要			
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間		学会役員名				
2020.04-2021.03		日本社会心理学会理事(編集委員)				
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
心理学から見る～笑いと幸福感～	単	2021.02.10	神戸婦人大学	内容/心理学について・笑いが幸福感をもたらす研究について紹介。主催/神戸婦人大学		
学外機関委員等						
就任期間		機関名・委員名・役職名				
その他社会活動上特記すべき事項						

海外での活動		
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること		
期間	国名	概要

学位				
文学士, 教育学士, 教育学修士				
専門分野				
臨床心理学, 家族臨床心理学, グループワーク, 音楽療法, マインドフルネス, ト라우マケア				
研究課題				
調整的音楽療法の効果についての研究, 親子相互交流療法(PCIT)など子育て支援についての研究, ト라우マケア(EMDRやイメージ療法)についての実践的研究, マインドフルネスに関する研究				
教育活動				
担当授業科目(大学)				
教育心理学, 臨床心理学概論, 臨床心理学, 家族臨床心理学, 演習 IA, 演習 IB, 演習 IIA, 演習 IIB, 卒業研究 A, 卒業研究 B				
担当授業科目(大学院)				
心理実践実習 I, 心理実践実習 III, 臨床心理実習 I(心理実践実習 II), 臨床心理地域実践実習 III(心理実践実習 VI), 臨床心理地域実践実習(心の健康教育に関する理論と実践), 心理療法特論, 人間科学合同演習 I, 人間科学合同演習 II, 臨床心理基礎実習, 臨床心理実習 II, 臨床心理学特別研究 I, 臨床心理学特別研究 II, 臨床心理査定演習 I(心理的アセスメントに関する理論と実践), 臨床心理査定演習 II				
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要	
親子相互交流療法の事例実践陪席を通じた臨床技術向上のための指導	2019.04-現在	大学院生	PCIT事例への院生陪席での指導を授業時間外に行った。	
大学院「臨床心理実践実習」報告会での指導(授業時間外で実施)	2021.02.18	大学院生	大学院生の「臨床心理学実践実習」報告会を授業外に実施し、報告内容について適宜指導した。	
現役の家庭裁判所調査官を招聘しての特別授業(Ps273(2)「家族臨床心理学」授業にて実施)	2020.11.26	学部2年生 (一部大学院生)	現役の家庭裁判所調査官をゲストスピーカーとして招聘し、家裁の業務内容や司法領域の心理支援について实际的に学ぶ機会を提供した。また家裁調査官を志望する学生を支援することができた。	
神戸女学院大学におけるPCIT(親子相互交流療法)認定セラピスト育成指導体制づくりとスーパーバイズ	2020.04-現在	大学院生 研究生 心理相談室研修生	院生対象の「心理療法特論」後、さらに国際資格を目指す院生や研究生のための発展(フォローアップ)教育としてPCIT認定セラピスト育成システムを本学に構築した。	
インターネットPCITとインターネットCAREの臨床心理学院生教育(本学心理相談室)への導入	2020.06-現在	大学院生	コロナ期に実践可能なインターネットによる心理療法・心理教育プログラムとして、インターネットPCITとインターネットCAREを本学に導入し、コロナ禍でも実践可能な心理支援について実践的に学ぶ機会を提供した。	
地域創りリーダー養成プログラム「地域活性化総合演習」報告会への出席とコメント	2020.07.02 2020.08.06 2020.11.19	学部生(地域創り3年生)	地域創りリーダー養成プログラム「地域活性化総合演習」での各班の活動報告に出席し、学生班の活動に対してコメントをした。	
論文投稿時の「倫理チェックリスト」の作成	2020.10-2021.03	人間科学研究科大学院生	人間科学研究科の研究誌「ヒューマンサイエンス」や学会誌への投稿時に倫理的配慮について自己確認できる「倫理チェックリスト」を学生と協力して作成した。	
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など
著書・CD				
学術論文				
「織野真衣氏の事例研究へのコメント～キャラクターを通して緘黙児の表現について考える～」	単	2021.03.31	神戸親和女子大学心理・教育相談室 『心理相談研究紀要』第19号	pp.49-53。
「コロナ期における親子への心理的支援—インターネットによるPCIT・CARE・遊戯療法—」	単	2021.03.31	神戸女学院大学大学院 人間科学研究科心理相談室 『心理相談研究』第22号	pp.3-15。

学会発表					
「PCIT(親子相互交流療法)によるマインドフルネスの変化—PCITセラピスト養成講座前後での比較—」	単	2020.09.08-11.02	日本心理学会第84回大会、東洋大学(Web開催)	ポスター発表(PD075)	
「日本のプレイセラピストを対象とした心理臨床実践に関する実証的調査」	共	2020.11.20-26	日本心理臨床学会第39回大会、横浜国立大学(Web開催)	共同発表/須藤春佳、 <u>國吉知子</u> 、小林哲郎、石谷真一、鶴田英也。 口頭発表(OC22)抄録集p.86	
「被害者と加害者の関係性が第三者からの評価に影響を及ぼす要因の検討」	共	2020.11.20-26	日本心理臨床学会第39回大会、横浜国立大学(Web開催)	共同発表/嶋田有希、 <u>國吉知子</u> 。 ポスター発表(PB186)抄録集p.356	
「両親が行う親役割行動が子どもの家族イメージに与える影響について」	共	2020.11.20-26	日本心理臨床学会第39回大会、横浜国立大学(Web開催)	共同発表/花田万由子、 <u>國吉知子</u> 。 ポスター発表(PB202)抄録集p.370	
「Internet PCIT Internet CARE」	単	2020.12.06	PCIT&CARE合同研究会第10回大会(Web開催)	シンポジウム指定討論者	
「オンラインによるPCIT(親子相互交流療法)」 コロナ禍における遊戯療法～私たちはこの危機をどうやって活かして乗り越えていくか～	単	2020.12.20	日本遊戯療法学会オンライン学術集会(Web開催)	発題とシンポジスト	
その他の研究発表、演奏					
その他の著作、訳書等					
書評「対人援助のための受容的音楽療法」(グロッグ・ウィグラム著, 2020)	単	2020.08.15	『図書新聞』3460号、武久出版	p.5。	
「ご自身のチャージと守りのためのイメージワーク」(イメージワークと音声ガイド)	単	2020.04.23	『病院安全教育』特設サイト～この時期に最前線で活躍されている皆さまへ～(数分間で行うセルフケア)、日総研	コロナ禍の医療関係者を対象に、セルフケアの方法を提供した。 ワーク: http://www.dtp-nissoken.co.jp/jtkn/ps/special/data/3_1.pdf 音声: http://www.dtp-nissoken.co.jp/jtkn/ps/special/back/3_1_video.html	
「巻頭言」	単	2021.03.24	神戸女学院大学『カウンセリಂಗグループ紀要』第26号	p.1。	
「スタッフ紹介」	単	2021.03.31	神戸女学院大学大学院『心理相談研究』第22号		
「巻頭言」	単	2021.03.31	神戸女学院大学大学院人間科学研究科『ヒューマンサイエンス』		
研究助成金の受給状況					
研究タイトル	助成金タイトル、支給元		代分の別	支給額	支給年度
産官学連携の受給状況					
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要			
社会貢献活動					
学会役員					
就任期間	学会役員名				
2011.05-現在	日本EMDR学会 常任編集委員				
2017.05-現在	日本心理臨床学会社員(代議員)				
2019.05-現在	日本遊戯療法学会監事				

公開講座				
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要
CARE保護者向けオンラインエッセンスセミナー	単	2020.11.23	神戸女学院大学心理相談室	内容/CARE保護者向けワークショップ(オンライン実施)講師。主催/神戸女学院大学心理相談室。
令和2年度 児童心理司キャリアアップ研修(中堅以上)	単	2020.11.30	山口県セミナーパーク	内容/「児童虐待と子どものトラウマケア」講師。主催/社会福祉法人 山口県社会福祉協議会。
神戸家庭裁判所尼崎支部自庁研修	単	2020.12.08	神戸家庭裁判所尼崎支部	内容/「PCITの実際(事例紹介を含む)」「事例検討会」講師。主催/神戸家庭裁判所。
CIFカウンセリンググループ例会	単	2020.12.12	高槻市城内公民館	内容/「夫婦関係・親子関係」講師。主催/CIF。
子育て相談事業担当者研修(1)	単	2021.02.05	西宮市子育て総合センター	内容/緘黙児のプレイセラピー(事例検討会)講師。主催/西宮市子育て総合センター。
子育て相談事業担当者研修(2)	単	2021.02.26	西宮市子育て総合センター	内容/緘黙児の親との面接(事例検討会)講師。主催西宮市子育て総合センター。
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
2018.04-現在		NPO法人大学院連合メンタルヘルスセンター顧問		
2018.12-現在		PCIT&CARE関西研究会代表		
2020.04-現在		PCIT-Japan理事		
2020.04-現在		CARE-Japan理事		
その他社会活動上特記すべき事項				
兵庫少年友の会ボランティア(神戸家庭裁判所)の募集・紹介				
宝塚市教育センターボランティアの募集・紹介				
PCITWebコンサルテーションでの陪席指導(月3回)				
PCIT観察用コーディングシステム日本標準化検討チームメンバー				
PCIT&CARE関西研究会の組織化と運営 会員への情報提供				
PCIT-Toddlers(乳幼児版PCIT)の心理相談室での実践(関西初)				
PCIT-Toddlers(乳幼児版PCIT)マニュアル日本語翻訳チームメンバー				
PCITイニシャルワークショップ トレーナー陪席指導(計3日)				
PCITグループスーパービジョンの実施(計16回)				
CAREJapan専門家向けオンラインワークショップの企画				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		
2020.04-現在	アメリカ	PCIT創始者Dr.EybergおよびマスタートレーナーDr.Brestan-Knightとのオンラインでのトレーナーグループコンサルテーション(国内で作業)		
2020.05.18	アメリカ	インターネットPCIT開発者 Dr.Peskin, Dr.JentによるオンラインでのInternet Delivered PCITセミナーへの参加(国内で作業)		
2021.01.24, 02.07, 02.13, 02.20, 03.06(計5回)	アメリカ	PCIT-Toddlers開発者 Dr.GirardによるオンラインでのPCIT-Toddlersトレーニングワークショップと事後スーパービジョンへの参加(国内で作業)		

氏名/所属/職名

三浦 欽也 MIURA Kinya / 心理・行動科学科 / 教授

学位						
工学士, 工学修士, 博士(工学)						
専門分野						
認知科学						
研究課題						
感情のモデル化とその応用, 人間らしさの認知の構造に関する研究, 感性の情報化に関する研究						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
地域活性化総合実習, 数学入門, 文系のための数学入門, IT基礎演習, プログラミング演習, 人工知能論, 認知科学概論, 演習 I, 演習 II, プレゼンテーション演習, IT応用演習, 卒業研究						
担当授業科目(大学院)						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
e-Learning システム (Moodle) の活用		2020.04-2021.01	Sc106(1), Sc184(1), Sc285(1), Sc387(1), BS101(2), Sc185(2) 各受講者	教材の提示・学生とのコミュニケーション・小テスト・定期テストの実施・課題の電子的な提出等に活用した。		
教材用サンプルプログラムの追加・改訂		2020.04-2021.01	Sc285(1) 受講者	教材用サンプルプログラムを追加・改訂した。		
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要				
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間	学会役員名					
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
学外機関委員等						
就任期間	機関名・委員名・役職名					
その他社会活動上特記すべき事項						
海外での活動						
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること						
期間	国名	概要				

学位					
博士(医学)					
専門分野					
精神医学					
研究課題					
精神疾患の疫学					
教育活動					
担当授業科目(大学)					
地域活性化総合実習, 精神医学総論, 精神疾患とその治療, 精神疾患とその治療, 地域活性化論, 演習 I					
担当授業科目(大学院)					
臨床心理基礎実習					
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要	
産業医として職員のメンタルヘルスケアを行った。		2020.04-2021.03	本学職員	相談業務	
研究活動					
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など	
著書・CD					
学術論文					
「注意欠如多動性障害(ADHD)の疫学と病態: 遺伝要因と環境要因の関係性の視点から」(査読あり)	単	2020.07	日本健康医学会雑誌 29(2)	単著/吉益光一。pp.130-141.	
“Within-individual and interlaboratory variability analyses of urinary metabolites measurements of organophosphorus insecticides”(査読あり)	共	2020.07	J Expo Sci Environ Epidemiol ;30(4)	共著/Ito Y, Ueyama J, Nakayama SF, Isobe T, Oya N, Sato H, Ebara T, <u>Yoshimasu K</u> , Tsuno K, Tatsuta N, Nakai K, Kamijima M.pp.721-729.	
“Potential hypotensive effects of Umezu polyphenols: a 14-week community-based, double-masked and placebo-controlled trial”(査読あり)	共	2020.12	Blood Press Monit ;25(6)	共著/Takemura S, <u>Yoshimasu K</u> , Tsuno K, Kuroda M, Kishida K, Mitani T, Miyashita K.pp.355-358.	
“Psychological distress and associated factors among Japanese nursery school and kindergarten teachers: a cross-sectional study”(査読あり)	共	2020.12.04	Ind Health;58(6)	共著/Yaginuma-Sakurai K, Tsuno K, <u>Yoshimasu K</u> , Maeda T, Sano H, Goto M, Nakai K.pp.530-538.	
“Is Individualism Suicidogenic? Findings From a Multinational Study of Young Adults From 12 Countries”(査読あり)	共	2020.04.03	Front Psychiatry ;11	共著/Eskin M, Tran US, Carta MG, Poyrazli S, Flood C, Mechri A, Shaheen A, Janghorbani M, Khader Y, <u>Yoshimasu K</u> , Sun JM, Kujan O, Abuidhail J, Aidoudi K, Bakhshi S, Harlak H, Moro MF, Phillips L, Hamdan M, Abuderman A, Tsuno K, Voracek M.p.259.	
学会発表					
「日本公衆衛生学会モニタリングレポート委員会精神保健福祉分野活動報告」	単	2020.10.21	第79回日本公衆衛生学会	単独発表/吉益光一	
成人期のADHDと物質関連障害の関連性に関する系統レビューとメタ分析	単	2020.09.28	第116回日本精神神経学会委員会シンポジウム・発達障害と精神保健	単独発表/吉益光一	
その他の研究発表、演奏					
その他の著作、訳書等					
研究助成金の受給状況					
研究タイトル		助成金タイトル、支給元	代分の別	支給額	支給年度
振動職場の作業管理体制と振動障害特殊健康診断有所見率との関連		日本学術振興会研究費補助金基盤研究(C)	分	150千円	2020年度

生殖補助医療の出生児の長期予後と技術の安全性に関する研究	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構	分	802千円	2020年度
産官学連携の受給状況				
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要		
社会貢献活動				
学会役員				
就任期間	学会役員			
2020.04-2021.03	日本衛生学会評議員			
2020.04-2021.03	日本公衆衛生学会モニタリング・レポート委員会委員			
2020.04-2021.03	日本衛生学会ストレス連携研究会代表世話人			
2020.04-2021.03	日本精神神経学会精神保健に関する委員会委員			
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要
学外機関委員等				
就任期間	機関名・委員名・役職名			
2020.04-2021.03	西宮市学校精神保健コンサルテーション医			
2020.04-2021.03	和歌山県警察産業医			
その他社会活動上特記すべき事項				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		

学位																																																																																				
学士(文学), 修士(人間科学), 博士(人間科学)																																																																																				
専門分野																																																																																				
社会心理学, 特にコミュニケーションと対人関係の心理学																																																																																				
研究課題																																																																																				
対人コミュニケーションの心理メカニズムに関する研究, 第三者介入による対人コミュニケーション支援に関する研究, 日本人と中国人の対人コミュニケーションの比較研究, 緊急事態のコミュニケーションに関する研究, コミュニケーションの同期現象																																																																																				
教育活動																																																																																				
担当授業科目(大学)																																																																																				
心理学入門ゼミ, 対人関係心理学, 心理行動科学実験実習, 心理学実験, 卒業研究, 演習 I, 演習 II																																																																																				
担当授業科目(大学院)																																																																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>その他教育活動上特記すべき事項</th> <th>年月</th> <th>対象者</th> <th>概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対人関係心理学研究室のWebサイト運用</td> <td>2020年度</td> <td>心理・行動科学科の学生</td> <td>対人関係心理学研究室のWebサイトを運用している(http://m-kimura.net/)。サイトでは、研究室で学ぶ研究内容や活動内容を紹介している。また卒業研究に際して有用な学外のサイトも紹介している。これにより、ゼミ生の教育に役立てるとともに、これから専門分野を選択する学科生の検討材料にしよう。</td> </tr> </tbody> </table>					その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要	対人関係心理学研究室のWebサイト運用	2020年度	心理・行動科学科の学生	対人関係心理学研究室のWebサイトを運用している(http://m-kimura.net/)。サイトでは、研究室で学ぶ研究内容や活動内容を紹介している。また卒業研究に際して有用な学外のサイトも紹介している。これにより、ゼミ生の教育に役立てるとともに、これから専門分野を選択する学科生の検討材料にしよう。																																																																								
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要																																																																																	
対人関係心理学研究室のWebサイト運用	2020年度	心理・行動科学科の学生	対人関係心理学研究室のWebサイトを運用している(http://m-kimura.net/)。サイトでは、研究室で学ぶ研究内容や活動内容を紹介している。また卒業研究に際して有用な学外のサイトも紹介している。これにより、ゼミ生の教育に役立てるとともに、これから専門分野を選択する学科生の検討材料にしよう。																																																																																	
研究活動																																																																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称</th> <th>単共の別</th> <th>発行又は発表の年月</th> <th>発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称</th> <th>共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="5">著書・CD</td> </tr> <tr> <td>『[新版] エピソードでわかる社会心理学—恋愛・友人・家族関係から学ぶ—』</td> <td>共</td> <td>2020.04.10</td> <td>北樹出版</td> <td>共著/谷口淳、西村太志、相馬敏彦、金政祐司。担当箇所「同じ言葉なのに伝えたいことが違う?」「鏡を見ているかのように、伝えあう」「近づくほどに見なくなる?もっと近くで見たくなる?」pp.42-45, 46-47, 50-51.</td> </tr> <tr> <td colspan="5">学術論文</td> </tr> <tr> <td>「消防機関に対する市民の協力意図の規定因—TCCモデルによる検討—」(査読あり)</td> <td>共</td> <td>2020.09.25</td> <td>日本リスク学会 『リスク学研究』30巻</td> <td>共著/塩谷尚正、木村昌紀。 pp.37-44</td> </tr> <tr> <td>「消防組織における通信指令員の専門的職務技能に関する検討」(査読あり)</td> <td>共</td> <td>2020.12.28</td> <td>日本臨床救急医学会 『日本臨床救急医学会雑誌』23巻</td> <td>共著/木村昌紀、塩谷尚正、北小屋 裕、大西 保、谷口 慶、匂坂 量、田中秀治。 pp.741-750</td> </tr> <tr> <td colspan="5">学会発表</td> </tr> <tr> <td>「CPA口頭指導不能症例における通報者の心理的状況の検討」</td> <td>共</td> <td>2020.08.26 -08.27</td> <td>日本臨床救急医学会第23回総会 於: 国士舘大学(Web開催)</td> <td>共同発表/阪上哲也、木村信広、松浦治人、大西 保、木村昌紀、中尾彰太、松岡哲也。</td> </tr> <tr> <td>「通報者の心理を加味した通報訓練の必要性」</td> <td>共</td> <td>2020.08.26 -08.27</td> <td>日本臨床救急医学会第23回総会 於: 国士舘大学(Web開催)</td> <td>共同発表/北小屋 裕、木村昌紀、塩谷尚正。</td> </tr> <tr> <td>「実際の2者間会話における自発的な瞳孔拡張パターンの同期とその影響」</td> <td>共</td> <td>2020.11.07 -11.08</td> <td>日本社会心理学会第61回大会 於: 学習院大学(Web開催)</td> <td>共同発表/木村昌紀、于 珊珊、吉井章人、村瀬健太郎、森岡清訓、若松祐佳、新里美海。</td> </tr> <tr> <td colspan="5">その他の研究発表、演奏</td> </tr> <tr> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td colspan="5">その他の著作、訳書等</td> </tr> <tr> <td>「緊急時のコミュニケーションを心理学から紐解く—第3回 電話のコミュニケーション—」</td> <td>共</td> <td>2020.04.20</td> <td>東京法令出版 『プレホスピタル・ケア』156号</td> <td>共著/木村昌紀、塩谷尚正。 pp.74-76。</td> </tr> <tr> <td>「緊急時のコミュニケーションを心理学から紐解く—第4回 緊急時の心理とコミュニケーション(1)—」</td> <td>共</td> <td>2020.06.20</td> <td>東京法令出版 『プレホスピタル・ケア』157号</td> <td>共著/塩谷尚正、木村昌紀。 pp.76-77。</td> </tr> <tr> <td>「緊急時のコミュニケーションを心理学から紐解く—第5回 緊急時の心理とコミュニケーション(2)—」</td> <td>共</td> <td>2020.08.20</td> <td>東京法令出版 『プレホスピタル・ケア』158号</td> <td>共著/木村昌紀、塩谷尚正。 pp.86-87。</td> </tr> </tbody> </table>					著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など	著書・CD					『[新版] エピソードでわかる社会心理学—恋愛・友人・家族関係から学ぶ—』	共	2020.04.10	北樹出版	共著/谷口淳、西村太志、相馬敏彦、金政祐司。担当箇所「同じ言葉なのに伝えたいことが違う?」「鏡を見ているかのように、伝えあう」「近づくほどに見なくなる?もっと近くで見たくなる?」pp.42-45, 46-47, 50-51.	学術論文					「消防機関に対する市民の協力意図の規定因—TCCモデルによる検討—」(査読あり)	共	2020.09.25	日本リスク学会 『リスク学研究』30巻	共著/塩谷尚正、木村昌紀。 pp.37-44	「消防組織における通信指令員の専門的職務技能に関する検討」(査読あり)	共	2020.12.28	日本臨床救急医学会 『日本臨床救急医学会雑誌』23巻	共著/木村昌紀、塩谷尚正、北小屋 裕、大西 保、谷口 慶、匂坂 量、田中秀治。 pp.741-750	学会発表					「CPA口頭指導不能症例における通報者の心理的状況の検討」	共	2020.08.26 -08.27	日本臨床救急医学会第23回総会 於: 国士舘大学(Web開催)	共同発表/阪上哲也、木村信広、松浦治人、大西 保、木村昌紀、中尾彰太、松岡哲也。	「通報者の心理を加味した通報訓練の必要性」	共	2020.08.26 -08.27	日本臨床救急医学会第23回総会 於: 国士舘大学(Web開催)	共同発表/北小屋 裕、木村昌紀、塩谷尚正。	「実際の2者間会話における自発的な瞳孔拡張パターンの同期とその影響」	共	2020.11.07 -11.08	日本社会心理学会第61回大会 於: 学習院大学(Web開催)	共同発表/木村昌紀、于 珊珊、吉井章人、村瀬健太郎、森岡清訓、若松祐佳、新里美海。	その他の研究発表、演奏										その他の著作、訳書等					「緊急時のコミュニケーションを心理学から紐解く—第3回 電話のコミュニケーション—」	共	2020.04.20	東京法令出版 『プレホスピタル・ケア』156号	共著/木村昌紀、塩谷尚正。 pp.74-76。	「緊急時のコミュニケーションを心理学から紐解く—第4回 緊急時の心理とコミュニケーション(1)—」	共	2020.06.20	東京法令出版 『プレホスピタル・ケア』157号	共著/塩谷尚正、木村昌紀。 pp.76-77。	「緊急時のコミュニケーションを心理学から紐解く—第5回 緊急時の心理とコミュニケーション(2)—」	共	2020.08.20	東京法令出版 『プレホスピタル・ケア』158号	共著/木村昌紀、塩谷尚正。 pp.86-87。
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など																																																																																
著書・CD																																																																																				
『[新版] エピソードでわかる社会心理学—恋愛・友人・家族関係から学ぶ—』	共	2020.04.10	北樹出版	共著/谷口淳、西村太志、相馬敏彦、金政祐司。担当箇所「同じ言葉なのに伝えたいことが違う?」「鏡を見ているかのように、伝えあう」「近づくほどに見なくなる?もっと近くで見たくなる?」pp.42-45, 46-47, 50-51.																																																																																
学術論文																																																																																				
「消防機関に対する市民の協力意図の規定因—TCCモデルによる検討—」(査読あり)	共	2020.09.25	日本リスク学会 『リスク学研究』30巻	共著/塩谷尚正、木村昌紀。 pp.37-44																																																																																
「消防組織における通信指令員の専門的職務技能に関する検討」(査読あり)	共	2020.12.28	日本臨床救急医学会 『日本臨床救急医学会雑誌』23巻	共著/木村昌紀、塩谷尚正、北小屋 裕、大西 保、谷口 慶、匂坂 量、田中秀治。 pp.741-750																																																																																
学会発表																																																																																				
「CPA口頭指導不能症例における通報者の心理的状況の検討」	共	2020.08.26 -08.27	日本臨床救急医学会第23回総会 於: 国士舘大学(Web開催)	共同発表/阪上哲也、木村信広、松浦治人、大西 保、木村昌紀、中尾彰太、松岡哲也。																																																																																
「通報者の心理を加味した通報訓練の必要性」	共	2020.08.26 -08.27	日本臨床救急医学会第23回総会 於: 国士舘大学(Web開催)	共同発表/北小屋 裕、木村昌紀、塩谷尚正。																																																																																
「実際の2者間会話における自発的な瞳孔拡張パターンの同期とその影響」	共	2020.11.07 -11.08	日本社会心理学会第61回大会 於: 学習院大学(Web開催)	共同発表/木村昌紀、于 珊珊、吉井章人、村瀬健太郎、森岡清訓、若松祐佳、新里美海。																																																																																
その他の研究発表、演奏																																																																																				
その他の著作、訳書等																																																																																				
「緊急時のコミュニケーションを心理学から紐解く—第3回 電話のコミュニケーション—」	共	2020.04.20	東京法令出版 『プレホスピタル・ケア』156号	共著/木村昌紀、塩谷尚正。 pp.74-76。																																																																																
「緊急時のコミュニケーションを心理学から紐解く—第4回 緊急時の心理とコミュニケーション(1)—」	共	2020.06.20	東京法令出版 『プレホスピタル・ケア』157号	共著/塩谷尚正、木村昌紀。 pp.76-77。																																																																																
「緊急時のコミュニケーションを心理学から紐解く—第5回 緊急時の心理とコミュニケーション(2)—」	共	2020.08.20	東京法令出版 『プレホスピタル・ケア』158号	共著/木村昌紀、塩谷尚正。 pp.86-87。																																																																																

「緊急時のコミュニケーションを心理学から紐解く—最終回 よりよい119番通報のために—」	共	2020.10.20	東京法令出版 『プレホスピタル・ケア』 159号	共著/塩谷尚正、木村昌紀。 pp.62-63。		
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
日本人と中国人の異文化コミュニケーションに関する実験社会心理学的研究	日本学術振興会研究費補助金基盤研究(C)			代	500千円	2020年度
解読力を測定する日本人用課題遂行型テストの開発	日本学術振興会研究費補助金基盤研究(C)			分	350千円	2020年度
産官学連携の受給状況						
教育・学術研究助成のための寄附		富士通研究所 ソフトウェア研究所		代	500千円	2020年度
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要				
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間		学会役員名				
2019.06-現在		日本感情心理学会・「感情心理学研究」編集事務局長				
2019.04-現在		日本社会心理学会・学会活動委員				
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
堺市消防局 令和2年度 警防研修会「火災現場における活動隊員の心理」(計2回)	単	2021.03.15 -03.16	堺市消防局	内容/堺市消防局の消防吏員600名を対象にした研修会。主催/堺市消防局。		
学外機関委員等						
就任期間		機関名・委員名・役職名				
その他社会活動上特記すべき事項						
海外での活動						
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること						
期間	国名	概要				

学位			
学士(教育学), 修士(教育学), 博士(教育学)			
専門分野			
臨床心理学			
研究課題			
青年期の友人関係(発達の変遷とその問題), 遊戯療法の実践教育と事例研究, PCIT(親子相互交流療法)の実践と研究			
教育活動			
担当授業科目(大学)			
心理学入門ゼミ, 臨床心理学概論, 臨床心理学, 臨床子ども学, 臨床心理基礎実習, 臨床心理実習, 心理実践実習, 臨床心理地域実践実習, 演習 I, 演習 II, 卒業研究			
担当授業科目(大学院)			
臨床心理面接特論 II, 臨床心理学特別研究 I, 臨床心理学特別研究 II, 臨床心理査定演習 I(心理的アセスメントに関する理論と実践), 臨床心理査定演習 II			
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要
「臨床心理学概論」「心理学入門ゼミ」の工夫	2020.04-2020.08	同科目受講生	コロナ対応のため、全面的にオンライン・オンデマンド型の講義プログラムを作成した。受講生が動画を視聴し自力で理解できるように視覚的資料作成したり、動画視聴も取り入れながら、講義内容を理解できるように工夫して教材を作成しMoodle上に掲示した。
大学院生(博士後期課程)の研究指導	2020.04-2021.03	博士後期課程在籍生	博士後期課程の院生に対して、研究論文指導や臨床実践に関する相談等、個別に面談を行い指導やフォローを行った。(1回あたり90~120分、月1~2回程度)コロナ下ということもあり、学生自身が孤立しないように定期的にコミュニケーションを取るよう、オンラインも積極的に取り入れて面談を行った。
大学院生(博士前期課程)の面談指導	2020.04-2021.03	博士前期課程在籍生	博士前期課程のゼミ生に対して、個別に定期的な面談指導を行った(月1回程度)。体調面のケアや修学上の問題等について話し合い、コロナ下における大学院での学びをフォローするため、オンライン面談を行った。
学生主事として休学中の学生への対応	2020.04-2021.03	休学希望(休学中)の2~4年生	メンタルヘルスの不調を訴えて休学したり復学を検討する学生に対して、1時間程度のオンラインによる面談を複数回実施し、修学等の相談にのった。
PCIT実践と院生指導	2020.06-11	心理実践実習 III履修者	心理相談室でのPCIT事例をメインセラピストとして担当し、SVである國吉教授と共に、コセラピストの院生・修生および陪席院生の教育指導を行った。
学部ゼミ生を対象としたグループワークの実施	2020.07	「演習 I」履修者	オンライン授業のため学生同士の交流が測りにくい状況の中、オンライン(Zoom)を通してグループワークを行い、小グループに分かれてのグループワークを行い、ゼミ生同士の交流を図った。
大学院生の交流会開催	2020.08	博士前期・後期課程のゼミ院生	コロナの影響で対面によるコミュニケーションをとる機会が減っている学生同士の交流の場として、オンラインの親睦会を開催した。総勢5名の大学院生が参加し和やかに交流を行った。
「演習 I」グループ研究の指導	2020.09-2021.01	「演習 I」履修者	3年生対象のゼミで、グループ単位での研究を行った(香りのリラックス効果、親子関係と自尊感情、親子関係と攻撃性、自己肯定感と結婚観など)。グループ研究の成果はレポートにまとめられ、一部は教員がデータを再分析し、論文文化を行い成果を公表した。

「臨床子ども学」授業内容の工夫	2020.09.-2021.01	同科目受講生	コロナ対応のため、全面的にオンライン・オンデマンド型の講義プログラムを作成した。受講生が動画を視聴し自力で理解できるように視覚的資料作成したり、動画視聴も取り入れながら、講義内容を理解できるように工夫して教材を作成しMoodle上に掲示した。			
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
「日本のプレイセラピストを対象とした、心理臨床実践に関する実証的調査」	共	2020.11.20-26	日本心理臨床学会第39回大会(Web大会)	共同発表/須藤春佳、小林哲郎、國吉知子、石谷真一、鶴田英也。		
その他の研究発表、演奏						
日本ユング心理学研究所 グループスーパービジョン(講師:河合俊雄)での事例発表	単	2020.11.07	オンライン(Zoom)での発表	30代女性の事例		
神戸女学院大学人間科学部 専門部会にて口頭発表	単	2020.12.21	オンライン(Zoom)での発表	表題「日本でのプレイセラピー実践に関する現状と課題 ―プレイセラピストを対象とした実証的研究から―」		
日本ユング心理学研究所 箱庭グループスーパービジョン(講師:川戸圓)での事例発表	単	2021.02.13	オンライン(Zoom)での発表	表題「箱庭制作2010～2020」		
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要				
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間	学会役員名					
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
学外機関委員等						
就任期間	機関名・委員名・役職名					
その他社会活動上特記すべき事項						
2020.04-現在 心療内科、民間の心理相談機関での心理臨床活動						
海外での活動						
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること						
期間	国名	概要				

氏名／所属／職名 鶴田 英也 TSURUTA Hidenari / 心理・行動科学科 / 准教授

学位					
学士(文学), 修士(教育学)					
専門分野					
臨床心理学					
研究課題					
バウムのコスモロジーをめぐる研究, イメージの心理臨床, 心理療法のプロセス					
教育活動					
担当授業科目(大学)					
臨床心理学概論, 臨床心理学, イメージの心理臨床学, 演習 IA, 演習 IB, 演習 IIA, 演習 IIB, 卒業研究 A, 卒業研究 B					
担当授業科目(大学院)					
臨床心理基礎実習, 臨床心理実習 I(心理実践実習 II), 臨床心理実習 II, 心理実践実習 I, 臨床心理地域実践実習 III(心理実践実習 VI), 臨床心理地域実践実習(心の健康教育に関する理論と実践), 臨床心理面接特論 I(心理支援に関する理論と実践), 臨床心理査定演習 I(心理的アセスメントに関する理論と実践), 臨床心理査定演習 II					
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要	
統計ソフトHAD勉強会		2020.08.27	4年ゼミ生	卒業研究のため, 自宅のPCでエクセルで操作できる統計ソフトHADの勉強会を行った。	
研究活動					
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など	
著書・CD					
学術論文					
『「根づき」の心理学』(査読あり)	単	2020.07.31	日本箱庭療法学会 『箱庭療法学研究』第33 巻第1号	pp.65-74	
「中山論文へのコメント」	単	2021.03.01	帝塚山学院大学大学院 心理教育相談センター紀 要第17号	pp.60-63	
学会発表					
その他の研究発表、演奏					
心理相談研究	単	2021.03.31	神戸女学院大学大学院 人間科学研究科	巻頭言	
その他の著作、訳書等					
研究助成金の受給状況					
研究タイトル		助成金タイトル、支給元		代分の別	支給額
産官学連携の受給状況					
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要		
社会貢献活動					
学会役員					
就任期間		学会役員名			
公開講座					
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要	
学外機関委員等					
就任期間		機関名・委員名・役職名			
2020.04-2021.03		大学院連合メンタルヘルスセンター・理事			
2020.04-2021.03		公認心理師養成機関連盟・正会員			
2020.04-2021.03		日本臨床心理士養成大学院協議会・代議員			

その他社会活動上特記すべき事項		
海外での活動		
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること		
期間	国名	概要

氏名／所属／職名 若佐 美奈子 WAKASA Minako / 心理・行動科学科 / 准教授

学位																																																																							
学士(人間科学), 修士(人間科学), 博士(教育学)																																																																							
専門分野																																																																							
臨床心理学, 精神分析学, 発達心理学, 臨床実践指導学																																																																							
研究課題																																																																							
精神分析的な心理療法の臨床実践と研究, 自閉症スペクトラム障害をもつ子どもの親の援助, 医療領域における精神分析の応用, 臨床心理スーパーヴィジョンの在り方																																																																							
教育活動																																																																							
担当授業科目(大学)																																																																							
人間科学合同演習 I, 臨床心理基礎実習, 臨床心理基礎実習, 臨床心理実習 I(心理実践実習 II), 臨床心理実習 II, 臨床心理地域実践実習 I(心理実践実習 IV), 臨床心理地域実践実習 II(心理実践実習 V), 演習 I, 演習 II, 卒業研究																																																																							
担当授業科目(大学院)																																																																							
臨床心理学特別研究 I																																																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>その他教育活動上特記すべき事項</th> <th>年月</th> <th>対象者</th> <th colspan="2">概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大学院授業「臨床心理地域実践実習」における実習先訪問</td> <td>2020.04-2021.03</td> <td>大学院生、実習指導者</td> <td colspan="2">公認心理師養成における学外実習の初年度であるため、実習指導者との連絡調整を密に行い、また実習生をフォローするため、5週に1回の頻度で、延べ21回、該当施設を訪問した。</td> </tr> <tr> <td>大学院授業「臨床心理地域実践実習」における事後指導</td> <td>2020.04-2021.03</td> <td>大学院生</td> <td colspan="2">学外実習の事後指導をグループで継続的に行った。グループ指導の他にも、レポート添削や個別面談なども必要に応じて行った。実習生の不安やリアリテイショックを受け止めつつ、臨床家としての姿勢や他職種との協働などの、実際的かつ実践的な姿勢を滋養するよう努めた。</td> </tr> <tr> <td>大学院授業「臨床心理実践実習」報告会における指導</td> <td>2021.02.28</td> <td>大学院生</td> <td colspan="2">学外実習での成果を、修士2回生が教員および修士1回生の前で発表する報告会である。その形式や内容について、指導を行った。また発表会の場においても適宜コメントした。</td> </tr> <tr> <td>大学院授業「臨床心理地域実践実習」における事前指導・オリエンテーション</td> <td>2020.04 2021.02-03</td> <td>大学院生</td> <td colspan="2">学外実習の各領域(医療、福祉、教育、司法、産業)の特徴や社会的役割などについて学ばせ、実習先への挨拶・訪問を引率した。</td> </tr> </tbody> </table>					その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要		大学院授業「臨床心理地域実践実習」における実習先訪問	2020.04-2021.03	大学院生、実習指導者	公認心理師養成における学外実習の初年度であるため、実習指導者との連絡調整を密に行い、また実習生をフォローするため、5週に1回の頻度で、延べ21回、該当施設を訪問した。		大学院授業「臨床心理地域実践実習」における事後指導	2020.04-2021.03	大学院生	学外実習の事後指導をグループで継続的に行った。グループ指導の他にも、レポート添削や個別面談なども必要に応じて行った。実習生の不安やリアリテイショックを受け止めつつ、臨床家としての姿勢や他職種との協働などの、実際的かつ実践的な姿勢を滋養するよう努めた。		大学院授業「臨床心理実践実習」報告会における指導	2021.02.28	大学院生	学外実習での成果を、修士2回生が教員および修士1回生の前で発表する報告会である。その形式や内容について、指導を行った。また発表会の場においても適宜コメントした。		大学院授業「臨床心理地域実践実習」における事前指導・オリエンテーション	2020.04 2021.02-03	大学院生	学外実習の各領域(医療、福祉、教育、司法、産業)の特徴や社会的役割などについて学ばせ、実習先への挨拶・訪問を引率した。																																											
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要																																																																				
大学院授業「臨床心理地域実践実習」における実習先訪問	2020.04-2021.03	大学院生、実習指導者	公認心理師養成における学外実習の初年度であるため、実習指導者との連絡調整を密に行い、また実習生をフォローするため、5週に1回の頻度で、延べ21回、該当施設を訪問した。																																																																				
大学院授業「臨床心理地域実践実習」における事後指導	2020.04-2021.03	大学院生	学外実習の事後指導をグループで継続的に行った。グループ指導の他にも、レポート添削や個別面談なども必要に応じて行った。実習生の不安やリアリテイショックを受け止めつつ、臨床家としての姿勢や他職種との協働などの、実際的かつ実践的な姿勢を滋養するよう努めた。																																																																				
大学院授業「臨床心理実践実習」報告会における指導	2021.02.28	大学院生	学外実習での成果を、修士2回生が教員および修士1回生の前で発表する報告会である。その形式や内容について、指導を行った。また発表会の場においても適宜コメントした。																																																																				
大学院授業「臨床心理地域実践実習」における事前指導・オリエンテーション	2020.04 2021.02-03	大学院生	学外実習の各領域(医療、福祉、教育、司法、産業)の特徴や社会的役割などについて学ばせ、実習先への挨拶・訪問を引率した。																																																																				
研究活動																																																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称</th> <th>単共の別</th> <th>発行又は発表の年月</th> <th>発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称</th> <th>共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="5">著書・CD</td> </tr> <tr> <td colspan="5">学術論文</td> </tr> <tr> <td>精神分析的視点を多様な臨床ケア場面の困難な事例に活かす</td> <td>単</td> <td>2020.12.20</td> <td>神戸女学院大学論集第67巻第2号</td> <td>pp.95-112。</td> </tr> <tr> <td colspan="5">学会発表</td> </tr> <tr> <td colspan="5">その他の研究発表、演奏</td> </tr> <tr> <td colspan="5">その他の著作、訳書等</td> </tr> <tr> <td colspan="5">研究助成金の受給状況</td> </tr> <tr> <td colspan="2">研究タイトル</td> <td colspan="2">助成金タイトル、支給元</td> <td>代分の別</td> <td>支給額</td> <td>支給年度</td> </tr> <tr> <td colspan="5">産官学連携の受給状況</td> </tr> <tr> <td colspan="5"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>その他研究活動上特記すべき事項</th> <th>年月</th> <th colspan="3">概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Mentalization-based treatment Basic Training in Japan 修了</td> <td>2021.02.11-13</td> <td colspan="3">Anna Freud National Centre for Children and Families (Zoom開催)</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> </tbody> </table>					著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など	著書・CD					学術論文					精神分析的視点を多様な臨床ケア場面の困難な事例に活かす	単	2020.12.20	神戸女学院大学論集第67巻第2号	pp.95-112。	学会発表					その他の研究発表、演奏					その他の著作、訳書等					研究助成金の受給状況					研究タイトル		助成金タイトル、支給元		代分の別	支給額	支給年度	産官学連携の受給状況					<table border="1"> <thead> <tr> <th>その他研究活動上特記すべき事項</th> <th>年月</th> <th colspan="3">概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Mentalization-based treatment Basic Training in Japan 修了</td> <td>2021.02.11-13</td> <td colspan="3">Anna Freud National Centre for Children and Families (Zoom開催)</td> </tr> </tbody> </table>					その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要			Mentalization-based treatment Basic Training in Japan 修了	2021.02.11-13	Anna Freud National Centre for Children and Families (Zoom開催)		
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など																																																																			
著書・CD																																																																							
学術論文																																																																							
精神分析的視点を多様な臨床ケア場面の困難な事例に活かす	単	2020.12.20	神戸女学院大学論集第67巻第2号	pp.95-112。																																																																			
学会発表																																																																							
その他の研究発表、演奏																																																																							
その他の著作、訳書等																																																																							
研究助成金の受給状況																																																																							
研究タイトル		助成金タイトル、支給元		代分の別	支給額	支給年度																																																																	
産官学連携の受給状況																																																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>その他研究活動上特記すべき事項</th> <th>年月</th> <th colspan="3">概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Mentalization-based treatment Basic Training in Japan 修了</td> <td>2021.02.11-13</td> <td colspan="3">Anna Freud National Centre for Children and Families (Zoom開催)</td> </tr> </tbody> </table>					その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要			Mentalization-based treatment Basic Training in Japan 修了	2021.02.11-13	Anna Freud National Centre for Children and Families (Zoom開催)																																																											
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要																																																																					
Mentalization-based treatment Basic Training in Japan 修了	2021.02.11-13	Anna Freud National Centre for Children and Families (Zoom開催)																																																																					

社会貢献活動				
学会役員				
就任期間		学会役員名		
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要
C-1 職業架橋型コース講義 「力動的視点を非精神分析的ケア場面に適用する」	単	2020.07.12	東京大学医学部附属病院 (Zoom開催)	内容/「トラウマに配慮して援助できる」「当事者と共同創造できる」「これらの実現のため組織の治療文化を変革できる」ことを目標とした職業・地域架橋型—価値に基づく支援者育成」(2018-2022年)のTic-pocプログラムにおけるC-1コースにおいて、精神分析的アプローチを医療ケアに応用する方法についての講義を行った。 主催/東京大学 文部科学省課題解決型高度医療人材養成プログラム。
非分析的臨床場面での精神分析的視点	単	2021.03.26	NPO法人 女性心理臨床ラボ (Zoom開催)	精神分析的アプローチを医療・教育・福祉等、他領域での臨床場面に応用する方法についての講義およびグループワークを行った。
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
2020.04-2021.03		追手門学院大学大学院スーパーヴァイザー		
2020.04-2021.03		神戸松蔭女子学院大学大学院スーパーヴァイザー		
その他社会活動上特記すべき事項				
2020.04-現在 西天満心理療法オフィスにて、臨床活動				
2020.04-現在 渡辺カウンセリングルームにて、臨床活動				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		

氏名／所属／職名

矢野 円郁 YANO Madoka / 心理・行動科学科 / 准教授

学位						
学士(文学), 修士(心理学), 博士(心理学)						
専門分野						
認知心理学						
研究課題						
ジェンダー意識の発達, 子どもの貧困と発達の問題						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
心理行動科学実験実習, 心理学実験, 知覚・認知心理学, 認知心理学, 心理学入門ゼミ, 演習 I, 演習 II, 卒業研究						
担当授業科目(大学院)						
人間行動学演習 II, 人間行動学特別研究 II						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
『ジェンダーと英語教育』	共	2020.06.10	大学教育出版	担当章については単著。pp.155-165。		
学術論文						
学会発表						
「女性研究者の割合の増加を阻止する要因」	共	2020.09.08 -11.02	日本心理学会第84回大会, 東洋大学, Web開催	共同発表/矢野円郁、高岡素子。		
「結婚相手の不満の自覚と夫婦関係満足度の関係」	共	2020.09.08 -11.02	日本心理学会第84回大会, 東洋大学, Web開催	共同発表/森菜津子、矢野円郁。		
「性差観は女性に化粧を義務づけ男性化粧を否定する」	共	2020.09.08 -11.02	日本心理学会第84回大会, 東洋大学, Web開催	共同発表/山下海、矢野円郁。		
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要			
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間		学会役員名				
2014.05-現在		日本交通心理学会 国際交流委員会・委員				
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
学外機関委員等						
就任期間		機関名・委員名・役職名				
2014.08-現在		JAF兵庫支部交通安全実行委員会・常任委員				
2020.04-2021.03		堺市建設局指定管理者候補者選定委員会・委員				
その他社会活動上特記すべき事項						

海外での活動		
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること		
期間	国名	概要

氏名／所属／職名

出口 弘 DEGUCHI Hiroshi / 環境・バイオサイエンス学科 / 教授

学位				
工学士, 工学修士, 工学博士				
専門分野				
計算機工学				
研究課題				
授業支援システム, マルチメディア教材開発				
教育活動				
担当授業科目(大学)				
数学入門, IT基礎演習, 解析学基礎, 情報科学入門, IT応用演習, 入門ゼミ, 演習 II, 卒業研究				
担当授業科目(大学院)				
人間科学合同演習 I, 人間科学合同演習 II				
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要
オンラインITオリエンテーションの実施		2020.04-05	新入生	コロナ禍で対面実施できなかったITオリエンテーションをオンラインで実施した。
Sc185(2)授業用Web教材改訂		2020.09-	全学	HTML5対応
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など
著書・CD				
学術論文				
学会発表				
その他の研究発表、演奏				
その他の著作、訳書等				
研究助成金の受給状況				
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別
				支給額
				支給年度
産官学連携の受給状況				
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要		
社会貢献活動				
学会役員				
就任期間	学会役員名			
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要
学外機関委員等				
就任期間	機関名・委員名・役職名			
その他社会活動上特記すべき事項				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		

氏名/所属/職名

張野 宏也 HARINO Hiroya / 環境・バイオサイエンス学科 / 教授

学位					
工学士, 工学修士, 博士(農学)					
専門分野					
環境化学					
研究課題					
化学物質の環境中での動態, 環境汚染物質の微生物への影響評価, 環境汚染物質の処理					
教育活動					
担当授業科目(大学)					
環境科学基礎実習(講義を含む), 環境科学, 環境科学概論, 入門ゼミ, 演習 I, 演習 II, 卒業研究					
担当授業科目(大学院)					
分析化学特論					
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要	
研究活動					
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など	
著書・CD					
学術論文					
「津門川の水質調査」(査読なし)	共	2020.12	神戸女学院大学論集第67巻第2号	共著/岩永和美、上田真弓、横岩加奈、八東絵美、pp33-48、2020	
「大阪港および田辺湾における有機スズ化合物汚染の減衰」(査読あり)	単	2020.10.26	環境化学 30巻	pp.151-164、2020	
"Distribution of antifouling biocides in a coastal area of Tanabe Bay, Japan"(査読あり)	共	2021.02.15	Journal of the Marine Biological Association of the United Kingdom Volume101 Biological Association of the Journal of Biological Association of the the Marine United Kingdom	共著/Shigeru Yamato, pp.49-59、2021	
学会発表					
その他の研究発表、演奏					
その他の著作、訳書等					
研究助成金の受給状況					
研究タイトル	助成金タイトル、支給元		代分の別	支給額	支給年度
船底防汚物質の環境動態および生物影響に関する研究	日本学術振興会研究費補助金基盤研究(C)		分	0千円	2020年度
産官学連携の受給状況					
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要		
社会貢献活動					
学会役員					
就任期間		学会役員名			
2020.04-2020.03		日本分析化学会近畿支部幹事			
2020.04-2020.03		日本水産学会シンポジウム企画委員			
公開講座					
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要	
神戸シルバーカレッジ 地球環境「身の回りの化学物質と上手につきあう方法」	単	2020.11.05	神戸シルバーカレッジ		

学外機関委員等		
就任期間		機関名・委員名・役職名
2020.04-2021.03		吹田市環境影響評価審査会 委員
2020.04-2021.03		兵庫県排出基準未設定化学物質評価検討委員 委員
2020.04-2021.03		武庫川市民学会 監事
2020.04-2021.03		武庫川流域圏ネットワーク 幹事
その他社会活動上特記すべき事項		
海外での活動		
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること		
期間	国名	概要

氏名/所属/職名

三宅 志穂 MIYAKE Shiho / 環境・バイオサイエンス学科 / 教授

学位						
教育学士, 修士(学術), 博士(学術)						
専門分野						
環境社会学, 科学教育						
研究課題						
環境理解を促進する地域コミュニティの形成と発展プロセス, 持続可能な社会構築に向けた科学リテラシー教育の展開						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
環境教育実践論, 外国書講読, 演習 I, 演習 II, 卒業研究						
担当授業科目(大学院)						
人間科学合同演習 I, 人間科学合同演習 II						
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要			
アカデミックアドバイザーとしての修学アドバイス	2020.04-2020.05	1年生, 2年生の担当学生	Zoomを使ったオンライン・リアルタイム授業を実施した。			
アカデミックアドバイザーとしての修学アドバイス	2020.04-2020.05	3年生, 4年生の担当学生	Zoomを使ったオンライン・リアルタイム授業を実施した。			
オンライン・リアルタイム授業の提供	2020.04-2020.07	外国書購読受講者	Zoomを使ったオンライン・リアルタイム授業を実施した。			
オンライン・リアルタイム授業の提供	2020.04-2020.07	環境教育実践論の受講者	Zoomを使ったオンライン・リアルタイム授業を実施した。毎回, 発言を促すことと, 最終回には作品発表をさせた上で, 学生相互の意見交換ができる場を提供した。			
オンライン・リアルタイム授業の提供	2020.04-2020.07	演習 Iの受講者	Zoomを使ったオンライン・リアルタイム授業を実施した。			
オンライン・リアルタイム授業の提供	2020.04-2020.07	演習 IIの受講者	Zoomを使ったオンライン・リアルタイム授業を実施した。			
オンライン・リアルタイム授業の提供	2020.04-2020.07	卒業研究の受講者	Zoomを使ったオンライン・リアルタイム授業を実施した。			
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
学術論文						
SDGs時代におけるTransformativeな人を育てる理科教育の視点	単	2020.08.22	日本理科教育学会全国大会発表論文集第18号	pp.60-61。		
動物園展示に反映される環境倫理トピックに関する一考察	共	2020.08.27	日本科学教育学会年会論文集44	共著/三宅志穂、高岡素子。pp.109-110。		
動物園におけるSNSコミュニケーションの事例的検討	共	2020.08.27	日本科学教育学会年会論文集44	共著/高岡素子、三宅志穂。pp.111-112。		
新型コロナウイルスの影響下における動物園・水族館における教育リソースに関する基礎的研究	共	2020.08.27	日本科学教育学会年会論文集44	共著/大貫麻美、三好美織、三宅志穂。pp.117-118。		
学会発表						
“Exploring Non-Science Undergraduate Students’ Thoughts on End of Life Issues: A Pilot Study for the Development of a First-Year Students’ Life Education Program”	共	2021.02.01-05	IOSTE Symposium 2020, Kyungpook National University, Daegu, KOREA (オンライン)	共同発表/三宅志穂、大貫麻美。		
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
環境先進国の自然系博物館・動物園から探る生物多様性教育の効果的展開を実現する要件	日本学術振興会研究費補助金基盤研究(B)			代	1,900千円	2020年度

未来を生きる女子の生命観と自己決定力を育む生命科学教育研究～私立学校を事例として	日本学術振興会研究費補助金基盤研究(B)	分	200千円	2020年度
環境先進国の自然系博物館・動物園から探る生物多様性教育の効果的展開を実現する要件	日本学術振興会研究費補助金基盤研究(B)	代	860千円	2020年度
産官学連携の受給状況				
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要		
社会貢献活動				
学会役員				
就任期間	学会役員名			
2020.04-2021.03	日本科学教育学会・代議員			
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要
学外機関委員等				
就任期間	機関名・委員名・役職名			
その他社会活動上特記すべき事項				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		
2020.09.02-現在	カナダ	University of British ColumbiaにおいてVisiting Professorとして研究活動を遂行中		

備考： 2020.09-2021.08 海外留学

氏名／所属／職名

中川 徹夫 NAKAGAWA Tetsuo / 環境・バイオサイエンス学科 / 教授

学位			
農学士, 理学修士, 博士(学術)			
専門分野			
理科教育, 化学教育, 物理化学, 溶液論			
研究課題			
マイクロスケール実験に関する教材開発・改良と授業実践, 分子性溶液内の溶質-溶媒相互作用, 物理学および化学に関するリメディアル教育			
教育活動			
担当授業科目(大学)			
理科教育法 I, 理科教育法 II, 化学入門, 文系のための化学入門, 物理学概論, 化学概論, 物理学実習(講義を含む), 教育実習 I, 教職実践演習(中・高), 入門ゼミ, 演習 I			
担当授業科目(大学院)			
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要
教職課程に関する履修指導・相談	2020.04-2021.03	教職課程履修者および履修予定者	教職センター委員として、教職センターや教務課と連携しながら、教職課程に関する履修指導・相談を随時実施した。今年度は、新型コロナウイルス感染防止のため、主としてMoodleコースを用いた遠隔指導を行った。教職課程オリエンテーションの教科別(理科)資料を作成し、Universal Passport やMoodleコースにアップロードした。
1年生アカデミックアドバイザー	2020.04-2021.03	環境・バイオサイエンス学科1年生	アカデミックアドバイザーとして、環境・バイオサイエンス学科1年生に、学期当初に履修カルテに基づき遠隔指導を行った。
2年生アカデミックアドバイザー	2020.04-2021.03	環境・バイオサイエンス学科2年生	アカデミックアドバイザーとして、環境・バイオサイエンス学科1年生に、学期当初に履修カルテに基づき遠隔指導を行った。
遠隔授業への対応	2020.05-2021.01	全学生	毎回、Moodleコースにアップロードされたパワーポイント原稿の詳細な解説資料を、「授業の流れ」として別途作成した。演習問題や課題の提出方法やフォーラムによる討議の方法に関しても詳細に説明し、受講者の便宜を図った。
化学入門 文系のための化学入門	2020.05-08	主に全学1年生	すべて遠隔で実施した。授業資料を作成し、Moodleコースにアップロードした。随時、授業内容に関連した問題演習を取り入れ、学習者の理解の定着を図った。なお、テキストとして、これまでの講義原稿をまとめて執筆した自書「化学の基礎」(化学同人)を用いた。
物理学概論	2020.05-08	主に環境・バイオサイエンス学科2年生	すべて遠隔で実施した。授業資料を作成し、Moodleコースにアップロードした。随時問題演習を導入し、学習者の理解の定着を図った。
理科教育法 I	2020.05-08	環境・バイオサイエンス学科3年生	すべて遠隔で実施した。授業資料を作成し、Moodleコースにアップロードした。Moodleのフォーラム機能を利用して、理科教育に関する討議も行った。
入門ゼミ	2020.05-08	環境・バイオサイエンス学科1年生	すべて遠隔で実施した。授業資料を作成し、Moodleコースにアップロードした。毎時間、授業内容に関する課題を与えて提出させ、受講者の授業への取り組みの様子を確認した。
演習 I	2020.05-2021.01	環境・バイオサイエンス学科3年生	前期はすべて遠隔、後期は遠隔と対面の双方で実施した。授業資料を作成し、Moodleコースにアップロードした。Moodleのフォーラム機能を利用して、研究の進め方や理科教育に関連した話題に関する討議も行った。

理科教育法 II	2020.05-2021.01	環境・バイオサイエンス学科3年生	遠隔と対面の双方で実施した。授業資料を作成し、Moodleコースにアップロードした。板書およびパワーポイントを使用した模擬授業を実施し、次年度の教育実習に備えた。Moodleのフォーラム機能を利用して、理科教育に関する討議も行った。	
教育実習 I・II	2020.05-2021.01	環境・バイオサイエンス学科4年生	中学校・高等学校理科教員免許を取得するための教育実習に関する指導を実施した(事前事後指導を含む)。具体的には、事前指導、事後指導、実習ノートの点検とコメント、評価等である。	
「神戸女学院大学教職センター研究紀要」の編集・発行	2020.05-2021.03	教員・職員	本学教職センター委員会の電子ジャーナル「神戸女学院大学教職センター研究紀要」の第4巻を発行した。原稿募集、編集および発行の一連の作業はすべて中川単独で行い、3月11日にMoodleにアップロードした。公開を希望する論文に関しては、神戸女学院大学機関リポジトリに登録した。	
化学概論	2020.09-2021.01	主に環境・バイオサイエンス学科1年生	すべて遠隔で実施した。授業資料を作成し、Moodleコースにアップロードした。随時問題演習を導入し、学習者の理解の定着を図った。分子軌道法を用いた2原子分子の電子配置の表記がワードでは困難なため、テンプレートを作成するなど、指導上の工夫を行った。	
物理学実習(講義を含む)	2020.09-2021.01	主に環境・バイオサイエンス学科2年生	遠隔と対面の双方で実施した。授業資料を作成し、Moodleコースにアップロードした。実験・実習を多く取り入れ、物理学に対する興味・関心を高めるように工夫した。遠隔では実験・実習に関する解説が、対面では実験・実習が中心となるよう工夫した。	
教職実践演習	2020.09-2021.01	環境・バイオサイエンス学科4年生	9回対面、1回遠隔で実施した。模擬授業やグループ討議を実施した。模擬授業の学習指導案・板書計画・コメントシートをMoodleコースにアップロードした。模擬授業コメントシートについては、授業者ごとに手渡した。	
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など
著書・CD				
学術論文				
「高等学校「化学基礎」における中和反応」による水溶液の体積増加に関する理論的考察(1)―推算方法の誘導と等モル濃度・等体積の塩酸と水酸化ナトリウム水溶液の混合への適用―	単	2020.12.20	神戸女学院大学研究所『神戸女学院大学論集』第67巻第2号	単著/中川徹夫。pp.65-76。
高等学校における生徒主体型学習による「化学反応の量的関係」のマイクロスケール実験の開発 I	共	2021.03.11	神戸女学院大学教職センター『神戸女学院大学教職センター研究紀要』第4巻	共著/平井俊男、中川徹夫。pp. 17-25。
高等学校における生徒主体型学習による「化学反応の量的関係」のマイクロスケール実験の開発 II	共	2021.03.11	神戸女学院大学教職センター『神戸女学院大学教職センター研究紀要』第4巻	共著/平井俊男、青田鏡広、豊島瑠菜、西川輝、中山頼子、中川徹夫。pp.27-34。
高等学校生物におけるマイクロスケール実験の実践―酵素反応への適用―	共	2021.03.11	神戸女学院大学教職センター『神戸女学院大学教職センター研究紀要』第4巻	共著/大西伸弥、中川徹夫。pp.35-44。
学会発表				
「マイクロスケール実験用の白板紙製容器の改良」	単	2020.12.12	日本理科教育学会第59回関東支部大会、要旨のみ提出(現地開催なし)	

「ペットボトルのキャップと白板紙からできる低価格で手作りのマイクロスケール実験用ウェルプレート」	単	2021.03.19-22	日本化学会第101春季年会, Zoom(現地開催なし)			
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
生徒主体型学習に有用なマイクロスケール実験教材の開発と改良	日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)			代	800千円	2020年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要			
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間		学会役員名				
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
学外機関委員等						
就任期間		機関名・委員名・役職名				
その他社会活動上特記すべき事項						
2020.04-現在 マイクロスケール実験に関する指導助言(小学校・中学校・高等学校理科教員対象、随時)						
2020.04-現在 化学、とりわけ物理化学に関する指導助言(中学校・高等学校理科教員対象、随時)						
2020.04-現在 科研費の研究協力者に対する情報提供(科研費の研究協力者に対して、学会や研究発表会に関する情報を、電子メールで配信)						
2020.04 マイクロスケール実験容器作成用展開図(日本語版)の改良(オープンキャンパス模擬授業や訪問授業等で、生徒や教員に配布予定)						
2020.05 マイクロスケール実験容器作成用展開図(英語版)の提案(国際会議等で、国内外の中学校、高等学校理科教員に配布予定)						
2020.10.22 神戸高校SSH特別講義「ペットボトルのキャップを使用したマイクロスケール実験で、酢酸とアンモニアの電離平衡の移動を調べよう!」、兵庫県立神戸高等学校						
海外での活動						
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること						
期間	国名	概要				

氏名／所属／職名

野寄 玲児 NOZAKI Reiji / 環境・バイオサイエンス学科 / 教授

学位				
農学士, 農学修士, 農学博士				
専門分野				
植物生態学				
研究課題				
東播磨における禿げ山の植生学的研究, 日本の植生帯の研究, プナ科樹木の生態				
教育活動				
担当授業科目(大学)				
自然観察入門, 地球生物圏の科学, 生態学実習 I(講義を含む), 生態学実習 II(講義を含む), 環境科学基礎実習(講義を含む), 植物生態学, 地域活性化総合実習, 演習 I, 演習 II, 卒業研究				
担当授業科目(大学院)				
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要
学生が選ぶベストティーチャー		2020.05		
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など
著書・CD				
学術論文				
学会発表				
その他の研究発表、演奏				
その他の著作、訳書等				
研究助成金の受給状況				
研究タイトル	助成金タイトル、支給元		代分の別	支給額
産官学連携の受給状況				
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要		
社会貢献活動				
学会役員				
就任期間	学会役員名			
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要
講演とフィールドワーク「岡田山キャンパスの森をフィールドにした森林の遷移」	単	2020.09.05	神戸女学院大学	兵庫県高等学校教育研究会生物部会 令和2年第1回神戸・阪神支部合同研修会。
オンライン講演「SDGsの問題点と課題」	単	2021.02.22	神戸女学院大学	2020年度大学職員SD研修会。
学外機関委員等				
就任期間	機関名・委員名・役職名			
その他社会活動上特記すべき事項				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		

氏名/所属/職名

塩見 尚史 SHIOMI Naofumi / 環境・バイオサイエンス学科 / 教授

学位																																							
工学士, 工学修士, 博士(工学)																																							
専門分野																																							
応用生命科学																																							
研究課題																																							
微生物を利用したバイオレメディエーション, メタボリックシンドロームの機構とその予防, 細胞の分化とその利用, 細胞の老化機構の解析と若返り物質の探索																																							
教育活動																																							
担当授業科目(大学)																																							
クローバーゼミ, 生命科学概論, 応用微生物学, バイオサイエンス基礎実習(講義を含む), 微生物学実習(講義を含む), 食品環境学, バイオテクノロジー概論, 演習 I, 演習 II, 卒業研究																																							
担当授業科目(大学院)																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>その他教育活動上特記すべき事項</th> <th>年月</th> <th>対象者</th> <th colspan="2">概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バイオサイエンス基礎実習遠隔用教材の作成</td> <td>2020.04-2021.01</td> <td>1年生</td> <td colspan="2">オンデマンドで実習を行うための実習のビデオ編集・オンラインテキスト・理解度テストを作成した。</td> </tr> <tr> <td>微生物学実習遠隔用教材の作成</td> <td>2020.04-2021.01</td> <td>2年生</td> <td colspan="2">オンデマンドで実習を行うための実習のビデオ編集・オンラインテキスト・理解度テストを作成した。</td> </tr> <tr> <td>バイオテクノロジー概論</td> <td>2020.04-08</td> <td>3年生</td> <td colspan="2">オンデマンドで実習を行うためのオンライン講義用の理解度テストを作成した。</td> </tr> <tr> <td>生命科学概論</td> <td>2020.04-08</td> <td>1年生</td> <td colspan="2">オンデマンドで実習を行うためのオンライン講義用のテキスト、オンデマンド用のビデオ、理解度テストを作成した。</td> </tr> <tr> <td>食品環境学</td> <td>2020.04-08</td> <td>2年生</td> <td colspan="2">オンデマンドで実習を行うためのオンライン講義用の理解度テストを作成した。</td> </tr> <tr> <td>演習 I</td> <td>2020.04-08</td> <td>3年生</td> <td colspan="2">オンデマンドで演習を行うためのオンライン演習用のテキスト、オンデマンド用のビデオ、英語のトレーニングテキストを作成した。</td> </tr> </tbody> </table>					その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要		バイオサイエンス基礎実習遠隔用教材の作成	2020.04-2021.01	1年生	オンデマンドで実習を行うための実習のビデオ編集・オンラインテキスト・理解度テストを作成した。		微生物学実習遠隔用教材の作成	2020.04-2021.01	2年生	オンデマンドで実習を行うための実習のビデオ編集・オンラインテキスト・理解度テストを作成した。		バイオテクノロジー概論	2020.04-08	3年生	オンデマンドで実習を行うためのオンライン講義用の理解度テストを作成した。		生命科学概論	2020.04-08	1年生	オンデマンドで実習を行うためのオンライン講義用のテキスト、オンデマンド用のビデオ、理解度テストを作成した。		食品環境学	2020.04-08	2年生	オンデマンドで実習を行うためのオンライン講義用の理解度テストを作成した。		演習 I	2020.04-08	3年生	オンデマンドで演習を行うためのオンライン演習用のテキスト、オンデマンド用のビデオ、英語のトレーニングテキストを作成した。	
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要																																				
バイオサイエンス基礎実習遠隔用教材の作成	2020.04-2021.01	1年生	オンデマンドで実習を行うための実習のビデオ編集・オンラインテキスト・理解度テストを作成した。																																				
微生物学実習遠隔用教材の作成	2020.04-2021.01	2年生	オンデマンドで実習を行うための実習のビデオ編集・オンラインテキスト・理解度テストを作成した。																																				
バイオテクノロジー概論	2020.04-08	3年生	オンデマンドで実習を行うためのオンライン講義用の理解度テストを作成した。																																				
生命科学概論	2020.04-08	1年生	オンデマンドで実習を行うためのオンライン講義用のテキスト、オンデマンド用のビデオ、理解度テストを作成した。																																				
食品環境学	2020.04-08	2年生	オンデマンドで実習を行うためのオンライン講義用の理解度テストを作成した。																																				
演習 I	2020.04-08	3年生	オンデマンドで演習を行うためのオンライン演習用のテキスト、オンデマンド用のビデオ、英語のトレーニングテキストを作成した。																																				
研究活動																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称</th> <th>単共の別</th> <th>発行又は発表の年月</th> <th>発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称</th> <th>共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>著書・CD 『生命科学が解き明かす食と健康』</td> <td>共</td> <td>2020.04.20</td> <td>大学教育出版</td> <td>共著/塩見尚史、塩見晃史。</td> </tr> <tr> <td>学術論文</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>学会発表 「マウス細胞の寒冷刺激耐性機構とベージュ脂肪細胞への分化」</td> <td>共</td> <td>2021.03.18-21</td> <td>日本農芸化学会2021年度大会</td> <td>共同発表/塩見尚史、富士原由貴。</td> </tr> <tr> <td>その他の研究発表、演奏</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の著作、訳書等</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など	著書・CD 『生命科学が解き明かす食と健康』	共	2020.04.20	大学教育出版	共著/塩見尚史、塩見晃史。	学術論文					学会発表 「マウス細胞の寒冷刺激耐性機構とベージュ脂肪細胞への分化」	共	2021.03.18-21	日本農芸化学会2021年度大会	共同発表/塩見尚史、富士原由貴。	その他の研究発表、演奏					その他の著作、訳書等									
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など																																			
著書・CD 『生命科学が解き明かす食と健康』	共	2020.04.20	大学教育出版	共著/塩見尚史、塩見晃史。																																			
学術論文																																							
学会発表 「マウス細胞の寒冷刺激耐性機構とベージュ脂肪細胞への分化」	共	2021.03.18-21	日本農芸化学会2021年度大会	共同発表/塩見尚史、富士原由貴。																																			
その他の研究発表、演奏																																							
その他の著作、訳書等																																							
研究助成金の受給状況																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>研究タイトル</th> <th>助成金タイトル、支給元</th> <th>代分の別</th> <th>支給額</th> <th>支給年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>低温刺激に対する耐性のメカニズムとブライト脂肪細胞への分化</td> <td>人間科学部教育研究助成金</td> <td>代</td> <td>800千円</td> <td>2020年度</td> </tr> </tbody> </table>					研究タイトル	助成金タイトル、支給元	代分の別	支給額	支給年度	低温刺激に対する耐性のメカニズムとブライト脂肪細胞への分化	人間科学部教育研究助成金	代	800千円	2020年度																									
研究タイトル	助成金タイトル、支給元	代分の別	支給額	支給年度																																			
低温刺激に対する耐性のメカニズムとブライト脂肪細胞への分化	人間科学部教育研究助成金	代	800千円	2020年度																																			
産官学連携の受給状況																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>その他研究活動上特記すべき事項</th> <th>年月</th> <th>概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要																																
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要																																					

社会貢献活動				
学会役員				
就任期間		学会役員名		
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共 の別	年月	場所	概要
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
2020.04-2021.03		MedOne Guest Editor		
2020.04-2021.03		InTech Book Editor		
その他社会活動上特記すべき事項				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		

氏名/所属/職名

高岡 素子 TAKAOKA Motoko / 環境・バイオサイエンス学科 / 教授

学位					
農学士, 農学修士, 博士(学術)					
専門分野					
食品科学					
研究課題					
教室環境がアレルギーと喘息に対する影響, アミノ酸に対する身体の応答性について, 抗不安作用をもつ食品の探索, 発酵食品の機能性, 紅茶, 緑茶の機能性, 鶏肉の調理特性					
教育活動					
担当授業科目(大学)					
プロジェクト: 神戸女学院を創る, クローバーゼミ, バイオサイエンス基礎実習(講義を含む), 栄養生理学, 食品学, 食品学基礎実習(講義を含む), 演習 I, 演習 II, 卒業研究					
担当授業科目(大学院)					
人間科学合同演習 I, 人間科学合同演習 II, 食品基礎科学特論, 健康科学演習 I, 健康科学特別研究 I					
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要	
担当科目について遠隔授業のための資料作成		2020.04-2021.03	履修学生	教科書に沿った内容をパワーポイントファイルで作成し, 資料に音声をつけて配信。	
担当科目について遠隔授業のための資料作成		2020.04-2021.03	履修学生	教科書に沿った内容をパワーポイントファイルで作成し, 資料に音声をつけて配信。Moodleを活用し, 資料の配信や小テスト, レポートのコメントなどに使用した。	
研究活動					
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者, 共同発表者, 共演者の名前 曲名, 担当頁など	
著書・CD					
学術論文					
「べにふうき紅茶の機能性成分に対する抽出温度の影響」	共	2020.03	ヒューマンサイエンス24号	共著/高岡素子, 平井里佳, 清竹遥花, 中野亜耶, 鈴木杏子。pp.1-8。	
月経前症候群と性周期における性ホルモンとの関係	共	2020.03	女性学評論35号	共著/高岡素子, 京藤智子。pp.21-37。	
学会発表					
動物園におけるSNSコミュニケーションの事例的検討	共	2020.08.25-27	第44回科学教育学会	共同発表/高岡素子, 三宅志保	
動物園展示に反映される環境倫理トピックに関する一考察	共	2020.08.25-27	第44回科学教育学会	共同発表/三宅志保, 高岡素子, 大貫麻美	
女性研究者の割合の増加を阻止する要因	共	2020.09.02-11.10	日本心理学会第84回大会	共同発表/矢野円郁, 高岡素子	
その他の研究発表, 演奏					
その他の著作, 訳書等					
研究助成金の受給状況					
研究タイトル	助成金タイトル, 支給元		代分の別	支給額	支給年度
食品基礎科学を応用した新規咀嚼機能評価法の開発とオーラルフレイルへの波及効果	日本学術振興会研究費補助金基盤研究(C)		分	250千円	2020年度
環境先進国の自然系博物館・動物園から探る生物多様性教育の効果的展開を実現する要件	日本学術振興会研究費補助金基盤研究(B)		分	100千円	2020年度
ソリューションプラズマを用いた天然由来高分子の低分子量化に関する研究開発	科学技術振興機構 研究成果最適展開支援プログラム 産学共同(育成型)		分	940千円	2020年度
産官学連携の受給状況					
ビーツを使った製品開発	ささ営農株式会社		代	0	2020年度
発酵コラーゲンペプチドの脂肪蓄積抑制に関するメカニズム解明	新田ゼラチン株式会社		代	0	2020年度

その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要		
「香り及び/又は味の濃さを調節した味噌製品を生産する方法」	2020.04.22	特許出願		
社会貢献活動				
学会役員				
就任期間	学会役員名			
2020.04-2021.03	日本調理科学会近畿支部会・委員			
2020.04-2021.03	発酵と酵素の機能食品研究会・理事			
2020.04-2021.03	神戸大学食資源教育研究センター・共同推進委員			
2020.04-2021.03	日本穀物科学研究会・理事			
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共 の別	年月	場所	概要
学外機関委員等				
就任期間	機関名・委員名・役職名			
その他社会活動上特記すべき事項				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		

氏名／所属／職名 寺嶋 正明 TERASHIMA Masaaki / 環境・バイオサイエンス学科 / 教授

学位					
工学士, 工学修士, 工学博士					
専門分野					
食品分子機能科学					
研究課題					
食品成分の抗酸化性評価法に関する研究					
教育活動					
担当授業科目(大学)					
バイオサイエンス基礎実習(講義を含む), 食品分子機能科学, 生物反応速度論, 食品機能解析実習(講義を含む), 細胞生化学, 演習 I, 演習 II, 卒業研究					
担当授業科目(大学院)					
食品分子機能学特論					
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要	
研究活動					
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など	
著書・CD					
食品製造に役立つ食品工学事典	共	2020.12.10	恒星社厚生閣	共著/担当部分31.食品成分の反応。 pp.122-127	
学術論文					
学会発表					
「活性酸素種によるミオグロビンのニトロ化および抗酸化性物質による抑制効果」	共	2020.08.07 -19	日本食品工学会第21回 (2020年度)年次大会 (インターネット開催)	共同発表/鷹野宏美、正田晃子、大石有紗、住田祐里、西村朱音、寺嶋正明。	
その他の研究発表、演奏					
その他の著作、訳書等					
研究助成金の受給状況					
研究タイトル		助成金タイトル、支給元		代分の別	支給額
産官学連携の受給状況					
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要		
社会貢献活動					
学会役員					
2020.04-2021.03		日本食品工学会・国際交流委員			
2020.04-2021.03		化学工学会 バイオ部会・役員			
公開講座					
講座名、講演タイトル		単共の別	年月	場所	概要
学外機関委員等					
就任期間		機関名・委員名・役職名			
2020.04-2021.03		大学基準協会 大学評価分科会・委員			
その他社会活動上特記すべき事項					
海外での活動					
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること					
期間	国名	概要			

氏名／所属／職名

横田 弘文 YOKOTA Hirofumi / 環境・バイオサイエンス学科 / 教授

学位						
農学学士, 農学修士, 博士(農学)						
専門分野						
生態毒性学						
研究課題						
化学物質の環境生物に対する毒性影響, 野生メダカの保護・育成に関する研究						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
クローバーゼミ, 環境科学基礎実習(講義を含む), 環境科学実習(講義を含む), 生態毒性学概論, 生態毒性学, 演習 I, 演習 II, 卒業研究						
担当授業科目(大学院)						
環境科学特論 I, 環境科学演習 I(E), 環境科学演習 II(E), 環境科学特別研究 I, 環境科学特別研究 II, 人間科学合同演習 I, 人間科学合同演習 II						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
その他の研究発表、演奏						
環境中の医薬品成分による魚類への影響	単	2020.11.19	令和2年度漁場環境保全関係研究開発推進会議 有害物質研究会			
兵庫県南部に生息する野生メダカの遺伝子型分布および遺伝子かく乱について	共	2020.12.25	第2回ひょうごユースecoフォーラム	共同発表/中嶋綾香、奥田薫子、島田愛希、古谷友里恵、江口さやか、横田弘文。		
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
淡路島全域に生息する野生メダカの遺伝子型分布調査	人間科学部教育・研究助成			代	599千円	2020年度
試験困難物質二塩化酸化ジルコニウムの生態影響評価	神戸女学院大学研究所 研究助成			代	300千円	2020年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要			
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間		学会役員名				
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
学外機関委員等						
就任期間		機関名・委員名・役職名				
2020.04-2021.03		化審法審査支援等検討会委員				
2020.04-2021.03		西宮市環境審議会委員長				
その他社会活動上特記すべき事項						

海外での活動		
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること		
期間	国名	概要

氏名／所属／職名

小坂 美保 OSAKA Miho / 体育研究室 / 准教授

学位			
学士(教育学), 修士(教育学)			
専門分野			
スポーツ社会学, 体育学, 体育科教育学			
研究課題			
身体の近代化に関する研究			
教育活動			
担当授業科目(大学)			
クローバーゼミ, 健康スポーツ科学, 生涯スポーツコース(健やかさ再考[講義]), 生涯スポーツコース(スポーツと社会[講義]), 生涯スポーツコース(フィットネス)			
担当授業科目(大学院)			
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要
P103a健康スポーツ科学	2020.04-09	A～Eクラス(5クラス)	<p>〈教育内容・方法の工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠隔授業への対応として、全クラスの担当教員(専任および非常勤講師)と協力して、オンデマンド型授業の資料・課題づくりを行った。特に、学生の健康の維持、精神的な不安への対応、生活習慣の見直し、運動習慣を身につけることを意識した内容とした。また、方法の工夫として、学生の理解が深まるような資料づくり、内容設定、必要な動画サイトの紹介などを行った。課題へのフィードバックを大切に、各クラスごとに生活チェックの平均値や前回地との比較、質問への回答、アドバイスをを行った。 <p>〈学生へのケア〉</p> <p>オンライン授業で不安を抱えている学生や体調不良を訴える学生について、メール等で状況を確認したり相談を受けるなどの対応を行った。また、専門家(大学保健室、カウンセリングルーム)の判断を仰いだ方がよい場合があり、大学保健室やカウンセリングルームに相談し、学生への情報提供を行うようにした。</p> <p>〈教員へのケア〉</p> <p>P103a15クラスについて、授業内容および課題を統一し、それらの作成およびMoodleへの掲載を専任教員で行い、非常勤講師のオンデマンド授業への負担と不安を和らげるようにした。また、情報共有を積極的に計り、安心して授業運営ができるようにした。</p>
P214-20(1)生涯スポーツコース(健やかさ再考)	2020.04-09	受講生	<p>〈教育内容・方法の工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠隔授業への対応として、オンデマンド型の授業形態をとった。健康に関する授業内容を扱うので、コロナ禍での健康の在り方についても触れるようにした。また、授業日の前日に資料と課題をMoodleに掲載するようにして、学生が余裕をもって課題に取り組めるようにした。資料配置型となつてしまったが、対面授業時よりも資料への情報を多く掲載する工夫を行った。 ・5種類のパッチテストを教材として用い(受講生へ体育研究室室から送付)、各自の身体の状況について講義を聞いて課題に取り組むだけでなく、学生が自身の身体の状況について客観的に考察できるようにした。 <p>〈学生のケア〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配慮の必要な学生や読み替えの学生、健康状態に不安を抱える学生については、課題等について個別対応を行うなど行った。

P103b健康スポーツ科学	2020.09-2021.01	A～Eクラス(5クラス)	<p>〈教育内容・方法の工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育内容については、健康に関すること、運動習慣に関することに加え、女性の身体特有の問題を取り扱うようにした(学生の身体的な状況から取り入れた方がよいと判断した)。 ・授業方法としては、学生間の交流を図ることと、顔を見ての授業の必要性から、Zoomを用いた同時双方向型とオンデマンド型を併用する授業形態とした。Zoom回では、必ずグループワークを取り入れ、学生同士が交流を図る時間を確保した。 ・これらの内容や方法は、P103b15クラスすべてで実施するように環境整備を行った。 <p>〈学生へのケア〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特にZoom回においては、カメラのオンオフについて、受信環境への配慮を行うようにした。また、他科目で登校している学生が体育館で遠隔授業を受講できる環境整備を行った。 <p>〈教員へのケア〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後期の授業開始前、MoodleおよびZoomの利用方法に関する打ち合わせ会を実施し、授業が円滑に行われるようにした。
P214-22(2)生涯スポーツコース(スポーツと社会)	2020.09-2021.01	受講生	<p>〈教育内容・方法の工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠隔授業への対応として、オンデマンド型での実施を行った。授業資料については、資料配置型ではなく、パワーポイントを用いた映像・音声入りの資料を作成した。 ・教育内容として、学生からの疑問や取り上げてほしい内容について授業に組み込むようにした。また、女性アスリートや女性スポーツを必ず取り上げるようにした。 ・方法については、授業前日に資料・課題をMoodleに掲載し、学生が余裕をもって課題に取り組めるようにした。
P214-38(2)生涯スポーツコース(フィットネス)	2020.09-2021.01	受講生	<p>〈教育内容・方法の工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠隔授業への対応として、Zoomを用いた同時双方向型で実技授業を行った。 ・内容については、自宅でも実践可能な有酸素系の運動を紹介し、一緒に行いながら動きの確認や運動強度について紹介していった。 <p>〈学生へのケア〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の対面授業科目で登校している学生について、体育館で受講できるように環境整備を行った。体育館での受講学生が6～8人おり、それぞれのPCを持参しての受講は難しいと判断し、プロジェクターを設置し、ZoomにつないだPCの画像をスクリーンに映す形での受講環境を整備した。また、自宅受講している学生との公平性を保つことと、感染拡大予防のため、ハイブリッド型は取らなかった。
ID110(2)クローバーゼミ(Hクラス)	2020.09-2021.01	受講生	<p>〈教育内容・方法の工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育方法について、グループ発表へ向けての作業をできるだけ授業時間内で実施できるようにマネジメントを行った。授業評価において、授業時間外での作業について学生から意見があったので、その内容を反映した。 ・授業形態は、Zoomを用いた同時双方向型であったので、カメラのオンオフについては強制することはなかった。

研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など
著書・CD				
学術論文				
学会発表				
日本統治下における甲子園の授業と意義-台湾の嘉義農林の甲子園出場を手がかりに-	単	2021.03.27	スポーツ人類学会第22回大会	
その他の研究発表、演奏				
その他の著作、訳書等				
研究助成金の受給状況				
研究タイトル			助成金タイトル、支給元	代分の別 支給額 支給年度
産官学連携の受給状況				
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要		
社会貢献活動				
学会役員				
就任期間	学会役員名			
2020.04-2021.03	日本スポーツ社会学会・広報委員			
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要
兵庫県スポーツ協会リーダー講習会	共	2020.11.15	兵庫県民会館	内容/指導計画について。主催/兵庫県スポーツ協会。
学外機関委員等				
就任期間	機関名・委員名・役職名			
2020.04-2021.03	西宮市スポーツ推進審議会・副委員長			
2020.04-2021.03	全国体育学習研究協議会・広報委員長			
2020.04-2021.03	福祉レクリエーション・ネットワーク大阪・事務局長			
2020.04-2021.03	平野スポーツクラブ(仮称)設立準備委員会・委員			
その他社会活動上特記すべき事項				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		

学位			
学士(体育学), 修士(スポーツ科学)			
専門分野			
体育学, ダンス(ダンス・ムーブメント・セラピー), アダプテッド・スポーツ			
研究課題			
インクルーシブダンスにおける実践研究～地域交流事業としての評価検討の試み～, インクルーシブな活動におけるダンスプログラムの展開, 生徒主体型学習に有効な身体表現(ダンス)の教材開発			
教育活動			
担当授業科目(大学)			
健康スポーツ科学, 生涯スポーツコース(アダプテッド・スポーツ科学[講義])			
担当授業科目(大学院)			
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要
健康スポーツ科学	2020.04-2021.03	健康スポーツ科学履修者	<p>コロナ渦における心身への様々な変化に柔軟に対応できるよう「知識・理論編」と「実践編」の2本立てに授業テーマを設定し、オンデマンド型を用いた授業方法にて展開した。また「健康セルフチェック」を毎週実施し記録することを通して、食生活・運動習慣・ストレスに関する自身の心身への変化の気づきを得る機会を設けた。そこには授業内容ははじめ健康に関する質問等を記入できる「自由記述欄」を設けた。</p> <p>授業「知識・理論編」では「健康なからだづくり」「女性特有のからだに関すること」「熱中症」「BMI」「運動強度」「オリンピック・パラリンピック」等を取り上げた。また、「実践編」においては、自宅で取り組める「体力」の要素に着目した柔軟性・持久性・敏捷性・部位別筋力トレーニングのほか、「体幹トレーニング」「ラジオ体操」等も取り入れ、運動の意義と効果について理解を深めた。</p> <p>毎授業後、レポート課題におけるフィールドバックを実施した。また「健康生活セルフチェック」における共有可能な様々な不安や悩みについては、適切な資料と合わせ、対処法等を共有した。個人的な不安や悩みに関しては、保健室やカウンセリングルームの協力を得ながら、丁寧に学生と向き合い対応するよう努めた。</p> <p>後期においては「身体について知ろう」「身体運動について理解しよう」「身体運動の実践」という3つのテーマを設定し、Zoomを用いた同時双方向型も取り入れながら授業を展開した。「身体について知ろう」については「女性と健康」という参考書をもとに「ライフスタイルの変化」「栄養」「女性のからだ」等、知識と理論を学び、「身体運動について理解しよう」については、Mediasiteを用いた動画紹介を通して「タバタトレーニング」「負荷トレーニング」等について理解を深めた。「身体運動の実践」においては、Zoomを用いて可能な範囲で運動に取り組み、「睡眠」や「運動」等テーマを設けてグループワークを行い、クラスのコミュニケーションを図った。</p>

アダプテッド・スポーツ科学	2020.09-2021.03	アダプテッド・スポーツ履修者	主なテーマとして「アダプテッド・スポーツ科学の歴史」「スポーツや運動の意義と効果」や「身体が持つ潜在的な可能性」「パラリンピック」等を設定し、オンデマンド型を用いた。また、「多様なチェッカーを用いた自己理解とセルフケア」として、安眠チェッカーやリラックス度チェッカー等を用いた内容も実施した。その他、映像鑑賞や、参考書、チェッカーを用いたレポート課題を通し、多様な学びと取り組みとなるよう試みた。			
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
「CreativeとImprovisationを主としたダンスの実践～共に歩むメンバーと～」	共	2020.08.29-08.30	日本ダンスセラピー協会 第29回学術研究大会	共同発表/大窄沙織。		
「インクルーシブダンスの実践研究～地域交流事業としての評価の試み～」	単	2020.12.05	第25回 日本アダプテッド 体育スポーツ学会			
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要				
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間	学会役員名					
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
学外機関委員等						
就任期間	機関名・委員名・役職名					
2016.04-現在	大阪女子体育連盟理事兼事務局長					
2021.03	第10回ダンス・ガラOSAKA実行委員会					
その他社会活動上特記すべき事項						
2005.04-現在 障がい児・者を主としたダンスグループにおけるダンス指導						
海外での活動						
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること						
期間	国名	概要				

学位						
B.A.Ed., B.A., M.A., M.L.I.S., Ph.D.						
専門分野						
Applied Linguistics						
研究課題						
L2 speaking development, language testing & assessment, Rasch measurement, vocabulary acquisition, TBLT, CALL, library and information science						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
Communication in English, Communication in English(II)						
担当授業科目(大学院)						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
Led the GE100b/GE101b instructor meeting.		2020.09.23	GE100b/GE101b instructors	Meeting leader, provided detailed summary of key points discussed		
Created electronic versions of course materials for online teaching of GE100b.		2020.09.23	GE100b instructors and students	Midterm and Final Tests (in Moodle)		
Created electronic version of course materials for online teaching of GE101b.		2020.09.23	GE101b instructors and students	<i>Presentation Skills Coursepack</i> (with co-author Kevin Ballou)		
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
学術論文						
The development of interactive English speaking abilities in a Japanese university context	単	2020.08	博士論文 Temple University	(432 pages)		
学会発表						
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
"An Eventful Year at BGSU"	代	2020.12.18	<i>Kobe College Bulletin</i> (Vol.190)	p.55		
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要			
Ph.D. (Education/Applied Linguistics)		2020.08.31	Temple University			
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間		学会役員名				
2020.04-2021.03		Proofreader, <i>JALT Journal</i>				
2020.06-07		Proposal reviewer, TESOL International Convention & English Language Exposition				
2020.09		Proposal reviewer, MITESOL Conference				
2021.02		Reviewer, <i>Language Testing</i>				
2021.03		Proposal reviewer, JALT International Conference on Language Teaching and Learning				
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		

学外機関委員等		
就任期間		機関名・委員名・役職名
その他社会活動上特記すべき事項		
海外での活動		
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること		
期間	国名	概要
2020.04.01- 2020.08.14	U.S.A.	Visiting Research Scholar at Bowling Green State University

備考：2019.08-2020.08 海外留学

氏名／所属／職名

田岡 千明 TAOKA Chiaki / 共通英語教育研究センター / 専任講師

学位																																																																										
学士(文学), 修士(英文学), M.A., Ph.D.																																																																										
専門分野																																																																										
認知言語学, 英語教育																																																																										
研究課題																																																																										
英語検定試験対策・指導法の研究, モチベーション研究																																																																										
教育活動																																																																										
担当授業科目(大学)																																																																										
Reading and Writing English, English in Practice(I), English Honors (I), Pre-English Honors: Reading and Writing, English Workshop, Academic English for TOEFL and IELTS, Advanced TOEIC Preparation																																																																										
担当授業科目(大学院)																																																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>その他教育活動上特記すべき事項</th> <th>年月</th> <th>対象者</th> <th colspan="2">概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>GE科目授業担当者対象Zoomミーティング開催</td> <td>2020.04.23</td> <td>GE共通科目担当者</td> <td colspan="2">MoodleとZoomの基本的な使用方法、オンラインでの授業方法についての説明と質疑応答を行った(2時間)。</td> </tr> <tr> <td>GE科目授業担当者対象Zoomミーティング開催</td> <td>2020.04.30</td> <td>GE共通科目担当者</td> <td colspan="2">MoodleとZoomの応用的な方法、オンラインでのテスト作成などについて説明と質疑応答を行った(3時間)。</td> </tr> <tr> <td>GE科目授業担当者対象Zoomミーティング開催</td> <td>2020.05.03</td> <td>GE共通科目担当者のうち希望者</td> <td colspan="2">Moodle・Zoom・遠隔授業についての質疑応答を行った。</td> </tr> <tr> <td>GE科目授業担当者対象Zoomミーティング開催</td> <td>2020.05.05</td> <td>GE共通科目担当者</td> <td colspan="2">遠隔授業についての前期開始直前最終事項確認のためのミーティングを行った。</td> </tr> <tr> <td>GE151(1)各種テストや資料のMoodle上での準備</td> <td>2020.04-2020.07</td> <td>GE151(1)受講生・担当教員</td> <td colspan="2">コーディネーターとして統一テストや資料を準備して各Moodleクラスに配置した。</td> </tr> <tr> <td>GE231(1)各種テストや資料のMoodle上での準備</td> <td>2020.04-2020.07</td> <td>GE231(1)受講生・担当教員</td> <td colspan="2">コーディネーターとして統一テストや資料を準備して各Moodleクラスに配置した。</td> </tr> <tr> <td>GE131(2)各種テストや資料のMoodle上での準備</td> <td>2020.09-2021.01</td> <td>GE131(2)受講生・担当教員</td> <td colspan="2">コーディネーターとして統一テストや資料を準備して各Moodleクラスに配置した。</td> </tr> <tr> <td>留学のための英語資格検定説明文書</td> <td>2020.04-2021.07</td> <td>全学科・全学年</td> <td colspan="2">毎年の説明会に代わり、TOEFLとIELTSの違いや準備の仕方について文書をまとめ、IPCを通じて公開した。</td> </tr> <tr> <td>留学に必要な英語検定試験情報のMoodle掲載</td> <td>2020.04-2021.03</td> <td>全学科・全学年</td> <td colspan="2">共通英語教育研究センターのMoodleコース上にTOEFLやIELTSの受験情報や役立つサイトの情報をまとめたトピックを作成した。</td> </tr> <tr> <td>IELTS対策講座(IPC主催)の運営調整</td> <td>2020.04-2021.02</td> <td>ある一定の条件を満たした希望者</td> <td colspan="2">週2回x10週にわたるIELTSスコアアップを目的とした講座について、外部英語教育機関とオンラインカリキュラムと遠隔授業運営の調整、学生へのアンケート準備などを行った。</td> </tr> <tr> <td>音楽学部英語教育についてのミーティング</td> <td>2020.12-2021.02</td> <td>音楽学部GE科目担当者</td> <td colspan="2">3度にわたり2021年度音楽学部の英語教育について、教育内容・シラバス・教材について話し合いをもった。</td> </tr> <tr> <td>新任のGE科目担当者対象Zoomミーティング</td> <td>2021.03.01</td> <td>GE科目担当新任非常勤講師(日本人)</td> <td colspan="2">Moodleの基本的な使い方、担当科目についての説明と質疑応答を行った(2時間)。</td> </tr> <tr> <td>2021年度GE科目担当者ミーティング</td> <td>2021.03.17</td> <td>2021年度GE科目担当教員</td> <td colspan="2">2021年度遠隔授業についての説明・質疑応答と2020年度を振り返っての意見交換と情報交換の場をもうけた(2時間)。</td> </tr> </tbody> </table>					その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要		GE科目授業担当者対象Zoomミーティング開催	2020.04.23	GE共通科目担当者	MoodleとZoomの基本的な使用方法、オンラインでの授業方法についての説明と質疑応答を行った(2時間)。		GE科目授業担当者対象Zoomミーティング開催	2020.04.30	GE共通科目担当者	MoodleとZoomの応用的な方法、オンラインでのテスト作成などについて説明と質疑応答を行った(3時間)。		GE科目授業担当者対象Zoomミーティング開催	2020.05.03	GE共通科目担当者のうち希望者	Moodle・Zoom・遠隔授業についての質疑応答を行った。		GE科目授業担当者対象Zoomミーティング開催	2020.05.05	GE共通科目担当者	遠隔授業についての前期開始直前最終事項確認のためのミーティングを行った。		GE151(1)各種テストや資料のMoodle上での準備	2020.04-2020.07	GE151(1)受講生・担当教員	コーディネーターとして統一テストや資料を準備して各Moodleクラスに配置した。		GE231(1)各種テストや資料のMoodle上での準備	2020.04-2020.07	GE231(1)受講生・担当教員	コーディネーターとして統一テストや資料を準備して各Moodleクラスに配置した。		GE131(2)各種テストや資料のMoodle上での準備	2020.09-2021.01	GE131(2)受講生・担当教員	コーディネーターとして統一テストや資料を準備して各Moodleクラスに配置した。		留学のための英語資格検定説明文書	2020.04-2021.07	全学科・全学年	毎年の説明会に代わり、TOEFLとIELTSの違いや準備の仕方について文書をまとめ、IPCを通じて公開した。		留学に必要な英語検定試験情報のMoodle掲載	2020.04-2021.03	全学科・全学年	共通英語教育研究センターのMoodleコース上にTOEFLやIELTSの受験情報や役立つサイトの情報をまとめたトピックを作成した。		IELTS対策講座(IPC主催)の運営調整	2020.04-2021.02	ある一定の条件を満たした希望者	週2回x10週にわたるIELTSスコアアップを目的とした講座について、外部英語教育機関とオンラインカリキュラムと遠隔授業運営の調整、学生へのアンケート準備などを行った。		音楽学部英語教育についてのミーティング	2020.12-2021.02	音楽学部GE科目担当者	3度にわたり2021年度音楽学部の英語教育について、教育内容・シラバス・教材について話し合いをもった。		新任のGE科目担当者対象Zoomミーティング	2021.03.01	GE科目担当新任非常勤講師(日本人)	Moodleの基本的な使い方、担当科目についての説明と質疑応答を行った(2時間)。		2021年度GE科目担当者ミーティング	2021.03.17	2021年度GE科目担当教員	2021年度遠隔授業についての説明・質疑応答と2020年度を振り返っての意見交換と情報交換の場をもうけた(2時間)。	
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要																																																																							
GE科目授業担当者対象Zoomミーティング開催	2020.04.23	GE共通科目担当者	MoodleとZoomの基本的な使用方法、オンラインでの授業方法についての説明と質疑応答を行った(2時間)。																																																																							
GE科目授業担当者対象Zoomミーティング開催	2020.04.30	GE共通科目担当者	MoodleとZoomの応用的な方法、オンラインでのテスト作成などについて説明と質疑応答を行った(3時間)。																																																																							
GE科目授業担当者対象Zoomミーティング開催	2020.05.03	GE共通科目担当者のうち希望者	Moodle・Zoom・遠隔授業についての質疑応答を行った。																																																																							
GE科目授業担当者対象Zoomミーティング開催	2020.05.05	GE共通科目担当者	遠隔授業についての前期開始直前最終事項確認のためのミーティングを行った。																																																																							
GE151(1)各種テストや資料のMoodle上での準備	2020.04-2020.07	GE151(1)受講生・担当教員	コーディネーターとして統一テストや資料を準備して各Moodleクラスに配置した。																																																																							
GE231(1)各種テストや資料のMoodle上での準備	2020.04-2020.07	GE231(1)受講生・担当教員	コーディネーターとして統一テストや資料を準備して各Moodleクラスに配置した。																																																																							
GE131(2)各種テストや資料のMoodle上での準備	2020.09-2021.01	GE131(2)受講生・担当教員	コーディネーターとして統一テストや資料を準備して各Moodleクラスに配置した。																																																																							
留学のための英語資格検定説明文書	2020.04-2021.07	全学科・全学年	毎年の説明会に代わり、TOEFLとIELTSの違いや準備の仕方について文書をまとめ、IPCを通じて公開した。																																																																							
留学に必要な英語検定試験情報のMoodle掲載	2020.04-2021.03	全学科・全学年	共通英語教育研究センターのMoodleコース上にTOEFLやIELTSの受験情報や役立つサイトの情報をまとめたトピックを作成した。																																																																							
IELTS対策講座(IPC主催)の運営調整	2020.04-2021.02	ある一定の条件を満たした希望者	週2回x10週にわたるIELTSスコアアップを目的とした講座について、外部英語教育機関とオンラインカリキュラムと遠隔授業運営の調整、学生へのアンケート準備などを行った。																																																																							
音楽学部英語教育についてのミーティング	2020.12-2021.02	音楽学部GE科目担当者	3度にわたり2021年度音楽学部の英語教育について、教育内容・シラバス・教材について話し合いをもった。																																																																							
新任のGE科目担当者対象Zoomミーティング	2021.03.01	GE科目担当新任非常勤講師(日本人)	Moodleの基本的な使い方、担当科目についての説明と質疑応答を行った(2時間)。																																																																							
2021年度GE科目担当者ミーティング	2021.03.17	2021年度GE科目担当教員	2021年度遠隔授業についての説明・質疑応答と2020年度を振り返っての意見交換と情報交換の場をもうけた(2時間)。																																																																							
研究活動																																																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称</th> <th>単共の別</th> <th>発行又は発表の年月</th> <th>発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称</th> <th>共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>著書・CD</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>『30日集中 TOEFL® テスト 必須語彙1200+分野別語彙800』</td> <td>共</td> <td>2020.11.28</td> <td>オープンゲート</td> <td>共著/常田純子、上田敏子。</td> </tr> <tr> <td>学術論文</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など	著書・CD					『30日集中 TOEFL® テスト 必須語彙1200+分野別語彙800』	共	2020.11.28	オープンゲート	共著/常田純子、上田敏子。	学術論文																																																						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など																																																																						
著書・CD																																																																										
『30日集中 TOEFL® テスト 必須語彙1200+分野別語彙800』	共	2020.11.28	オープンゲート	共著/常田純子、上田敏子。																																																																						
学術論文																																																																										

学会発表				
その他の研究発表、演奏				
その他の著作、訳書等				
研究助成金の受給状況				
研究タイトル	助成金タイトル、支給元	代別の別	支給額	支給年度
産官学連携の受給状況				
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要		
社会貢献活動				
学会役員				
就任期間	学会役員名			
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要
「関西学院大学TOEFL ITPテスト ポイント解説セミナー」	単	2020.06.20	オンライン(Zoom)による実施	内容/関西学院大学大学生希望者を対象に、TOEFL ITPテスト問題を用いて学習方法を充実させ英語力を向上させることによるスコアアップ達成法について解説と指導を行った。主催/関西学院大学 国際教育・協力センター。
「広島大学TOEFL iBTスキルアップセミナー」	単	2020.09.01	オンライン(Zoom)による実施	内容/受験予定・経験者向けに、テストに関する基本情報、スコアアップのためのより効果的な学習方法についての解説と指導を行った。主催/国際教育交換協議会(CIEE) 日本代表部、広島大学。
「関西学院大学TOEFL ITPテスト ポイント解説セミナー」	単	2020.10.03	オンライン(Zoom)による実施	内容/関西学院大学大学生希望者を対象に、TOEFL ITPテスト問題を用いて学習方法を充実させ英語力を向上させることによるスコアアップ達成法について解説と指導を行った。主催/関西学院大学 国際教育・協力センター。
「TOEFL iBTテストスキルアップセミナー(大学コンソーシアム京都)」	単	2020.10.10	オンライン(Zoom)による実施	内容/受験予定・経験者向けに、テストに関する基本情報、スコアアップのためのより効果的な学習方法についての解説と指導を行った。主催/CIEE、大学コンソーシアム京都。
学外機関委員等				
就任期間	機関名・委員名・役職名			
2016.08-現在	米国Educational Testing Service 公認トレーナー (TOEFL iBTテスト)			
2017.09-現在	米国Educational Testing Service 公認トレーナー (TOEFL ITPテスト)			
その他社会活動上特記すべき事項				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		

2020年度
神戸女学院大学 専任教員 教育・研究業績報告集

2021年11月発行

編集・発行 神戸女学院大学 学長室 (FDセンター)
〒662-8505 西宮市岡田山4番1号
TEL (0798) 51-8582